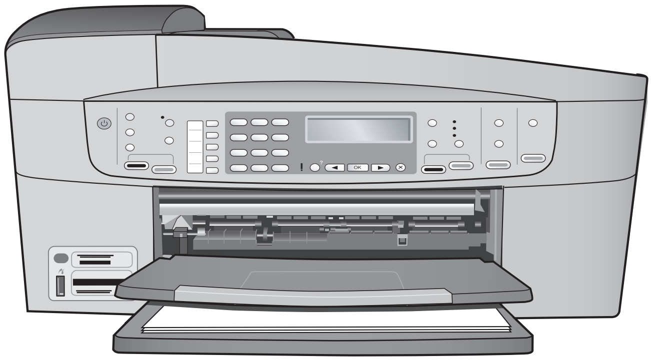
HP Officejet 6300 All-in-One series

ユーザガイド



HP Officejet 6300 All-in-One series

ユーザー ガイド

出版番号: Q8061-90138

2006 年 2 月

注意

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

Hewlett-Packard Company は、本製品の設置やパフォーマンス、あるいは本ドキュメントおよび本ドキュメントに記載されているプログラムの使用に関係する、あるいは起因する付帯的なあるいは結果的な損害について責任を負わないものとします。

注: 規制情報は 技術情報 に記載されています。

多くの地域において、次のもののコピーを作成することは法律で禁じられています。疑問がおありの場合は、まず法律の専門家に確認してください。

- 政府が発行する書類や文書 :
  - パスポート
  - 入国管理関係の書類
  - 徴兵関係の書類
  - 身分証明バッジ、カード、身分証明章
- 政府発行の証紙 :
  - 郵便切手
  - 食糧切符
- 政府機関宛ての小切手や手形
- 紙幣、トラベラーズチェック、郵便為替
- 定期預金証書
- 著作権で保護されている成果物

安全に関する情報

警告　火災または感電を避けるため、本製品を水気や湿気のある場所に置かないでください。

本製品を使用する際は常に基本的な安全上の予防措置を講じるようにしてください。発火や感電によるけがのリスクの引き下げにつながります。

警告　感電の危険性があります

1. 『セットアップガイド』に記載の手順をよく読み、理解しておいてください。
2. 本体を電源に接続する際は、接地されているコンセントのみを使用してください。コンセントが接地されているかどうか不明の場合は、資格のある電気技術者にお尋ねください。
3. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。
4. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。
5. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。
6. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。
7. 電源コードを踏んだり、つまずいたりして電源コードが損傷しないように、本製品は安全な場所に設置してください。
8. 本製品が正常に動作しない場合については、オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングのページを参照してください。
9. お客様ご自身で分解修理しないでください。修理については資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。
10. 風通しのよいところでご使用ください。
11. HP 提供の電源アダプタ以外は使用しないでください。

警告　主電源の供給が停止したときは動作しません。

目次

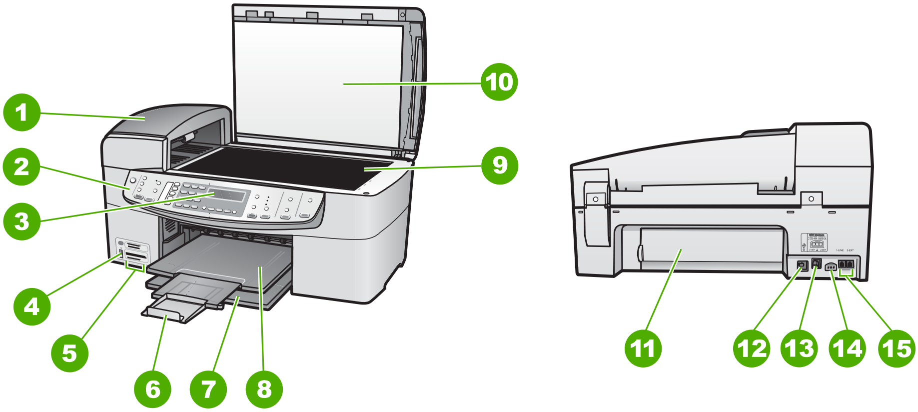
1 HP All-in-One の概要

HP All-in-One に備わった機能の多くは、コンピュータを使わなくても直接利用することができます。HP All-in-One から、コピーを作成したり、ファクスを送信するなどの操作をすばやく簡単に行うことができます。

このセクションでは、HP All-in-One ハードウェア機能とコントロール パネル機能について説明します。

- HP All-in-One 各部の説明
- コントロール パネルの機能
- メニューの概要
- 文字と記号
- ソフトウェアの使用

HP All-in-One 各部の説明



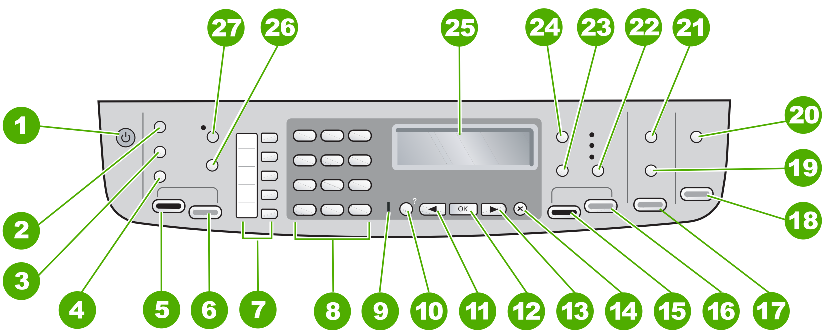
番号	説明
1	自動ドキュメント フィーダ
2	コントロール パネル
3	コントロール パネル ディスプレイ (ディスプレイ)
4	カメラまたはその他のストレージ デバイス用、前面 USB ポート
5	メモリ カード スロット

(続き)

番号	説明
6	延長排紙トレイ (補助トレイ)
7	給紙トレイ
8	排紙トレイ
9	ガラス板
10	カバーの保護シート
11	後部アクセスドア
12	後部 USB ポート
13	Ethernet ポート
14	電源コネクタ
15	1-LINE (ファクス) および 2-EXT (電話) ポート

コントロール パネルの機能

次の図と表を使って、HP All-in-One のコントロール パネルの機能について説明します。



番号	名称および説明
1	**On**: HP All-in-One のオン/オフを切り替えます。 HP All-in-One がオンの場合は、On ボタンが点灯します。 ジョブの実行中はランプが点滅します。 HP All-in-One の電源をオフにしていても、本体には必要最小限の電力が供給されています。 HP All-in-One への電力の供給を完全に遮断するには、本体の電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。

番号	名称および説明
2	ファクス 領域の **メニュー**: ファクス メニューで、オプションを選択できます。
3	**リダイヤル/ポーズ**: 最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
4	**短縮ダイヤル**: 短縮ダイヤルを選択します。
5	**ファクス スタート - モノクロ**: モノクロ ファクスの送信を開始します。
6	**ファクス スタート - カラー**: カラー ファクスの送信を開始します。
7	ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン: 最初の 5 つの短縮ダイヤル番号にアクセスします。
8	キーパッド: ファクス番号や値、文字を入力します。
9	注意ランプ: 注意ランプが点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
10	**セットアップ**: レポートの作成、ファクスやその他のメンテナンス設定の変更、[**ヘルプ メニュー**] へのアクセスを行うためのセットアップ メニューを表示します。 [**ヘルプ メニュー**] で選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。
11	左矢印: 数値を下げます。
12	**OK**: ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
13	右矢印: 数値を上げます。
14	**キャンセル**: ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
15	**コピー スタート - モノクロ**: モノクロ コピーを開始します。
16	**コピー スタート - カラー**: カラー コピーを開始します。
17	**フォト プリント**: フォト機能を選択します。 メモリ カードやストレージ デバイスから写真を印刷するときやコンピュータに写真を保存するときはこのボタンを使用します。
18	**スキャン スタート**: スキャン ジョブを開始し、**スキャンの送信先** ボタンで選択したスキャン先に画像を送信します。
19	**フォト シート**: メモリ カード スロットにメモリ カードが挿入されていると、フォト シートを印刷します。 フォトシートには、メモリカード内のすべての写真のサムネイル ビューが表示されます。 フォト シート上で印刷したい写真を選択し、そのフォト シートをスキャンすることで写真を印刷できます。

番号	名称および説明
20	スキャンの送信先: [スキャンの送信先] メニューで、スキャン送信先を選択します。
21	フォト 領域の メニュー: [フォトメニュー] で、オプションを選択します。
22	品質: コピー品質として、高画質、きれい、または はやい を選択します。
23	縮小/拡大: 印刷するコピーのサイズを変更します。
24	コピー 領域の メニュー: [コピーメニュー] で、オプションを選択します。
25	ディスプレイ: メニューとメッセージを表示します。
26	このボタンの機能は、HP All-in-One が販売された国/地域によって異なります。 ボタン名は次のいずれかです。 ファクス解像度: 送信するファクスの解像度を調整します。 迷惑ファクスを拒否: [迷惑ファクスを拒否の設定] メニューで、迷惑ファクスを管理します。 この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
27	自動応答: このボタンが点灯している場合、HP All-in-One は自動的に着信に応答します。 ランプが点灯していない場合は、着信に応答しません。

メニューの概要

以下のトピックは、HP All-in-One のディスプレイに表示されるトップレベル メニューの一覧です。

- セットアップ メニュー
- ヘルプ メニュー
- ファクス メニュー
- コピー メニュー
- スキャンの送信先メニュー
- フォト メニュー
- フォト シート メニュー

セットアップ メニュー

コントロール パネルの セットアップ ボタンを押すと、以下のオプションを使用できます。

1. [ヘルプ メニュー]
2. [レポートの印刷]

3. [短縮ダイヤルの設定]
4. [ファクスの基本設定]
5. [ファクスの詳細設定]
6. [ツール]
7. [基本設定]
8. [ネットワーク設定]
9. [**Bluetooth**]

注記 [**Bluetooth**] は、Bluetooth® ワイヤレス テクノロジ (HP bt450) プリンタ/PC アダプタが接続されている場合にのみメニュー項目として表示されます。

ヘルプ メニュー

[ヘルプ メニュー] メニューを使用すると、主なヘルプ トピックにすばやくアクセスすることができます。セットアップ メニューで セットアップ ボタンを押すと使用できます。次のオプションを選択できます。トピックを選択すると、コンピュータ画面にトピックが表示されます。

1. [操作方法]
2. [エラー メッセージ]
3. [プリント カートリッジ]
4. [原稿と用紙のセット]
5. [一般的なトラブルシューティング]
6. [ネットワーク トラブルシューティング]
7. [ファクス機能を使用]
8. [スキャン機能を使用]
9. [サポートにアクセス]
0. [製品の概要]

ファクス メニュー

コントロール パネルの メニュー ボタンを押すと、以下のオプションを使用できます。

[番号を入力]

[解像度]
[薄く/濃く]
[ファクス方法]
[新しいデフォルトの設定]

コピー メニュー

コントロール パネルの コピー 領域にある メニュー ボタンを押すと、以下のオプションを使用できます。

[コピー枚数]
[コピー用紙サイズ]
[用紙の種類]
[薄く/濃く]
[強調]
[新しいデフォルトの設定]

スキャンの送信先メニュー

スキャンの送信先 ボタンを押すと、コンピュータにインストールされたソフトウェア アプリケーションのリストがメニューに表示されます。 スキャンされた画像を開いて編集するときに使用するアプリケーションを選択します。オプションはコンピュータにインストールされているソフトウェア アプリケーションによって異なり、次の例のようなアプリケーションが含まれます。

[メモリ デバイス] オプションは、スロットのいずれかにメモリカードが接続されているか、または前面 USB ポートにストレージ デバイスが接続されている場合のみ表示されます。 これにより、デジタル コピーをメモリカードまたはストレージ デバイスでスキャンできるようになります。

HP Photosmart premier
Microsoft PowerPoint
Adobe Photoshop
HP Photosmart 共有
[メモリ デバイス]

フォト メニュー

メモリカードを入れコントロール パネルの フォト 領域にある メニュー ボタンを押すと、以下のオプションを使用できます。

[写真の転送]*
[写真の選択]
[コピー枚数]
[レイアウト]
[用紙サイズ]
[用紙の種類]
[スマート フォーカス]
[デジタル フラッシュ]
[日付スタンプ]
[新しいデフォルトの設定]

* 写真転送メニューは、デバイスがネットワーク接続されている場合のみです。

フォト シート メニュー

コントロール パネルの フォト 領域にある フォト シート ボタンを押すと、以下のオプションを使用できます。

[フォトシートの印刷]
[フォトシートのスキャン]

フォト シートを使用すると、次のようなことが可能です。

- メモリ カードやストレージ デバイスの写真をインデックス シート形式で表示できます。
- メモリ カードやストレージ デバイスから選択した写真を簡単に印刷できます。

文字と記号

短縮ダイヤル番号やファクスの見出し情報を設定するときは、コントロール パネルのキーパッドを使って、文字や記号を入力することができます。

ファクス番号や電話番号をダイヤルするときも、キーパッドから記号を入力することができます。HP All-in-One は、番号をダイヤルするときに、記号に応じた動作をします。たとえば、ファクス番号の途中にダッシュがある場合は、HP All-in-One がダイヤルするときに、そこで一定の間隔を置きます。この間隔は、ファクス番号をダイヤルする前に、外線番号を入力する必要がある場合などに役に立ちます。

- コントロール パネルのキーパッドを使った文字の入力
- ファクス番号をダイヤルするときに使用できる記号

コントロール パネルのキーパッドを使った文字の入力

コントロール パネルのキーパッドから文字と記号を入力できます。

文字を入力するには

1. 名前の文字に対応するキーパッドの数字を押します。下のボタンに示すように、a、b、c の文字は数字 2 に対応しています。

   2 abc

   ヒント　ボタンを繰り返し押すと、そのボタンで入力可能な文字が順に表示されます。言語および国と地域の設定によっては、キーパッドに表示されるもの以外の文字も使用できる場合があります。

2. 正しい文字が表示された後、そのまま少し待つと、カーソルが自動的に右に進んで文字が確定します。または ▶ を押して手動で確定します。名前の次の文字に対応する数字を押します。正しい文字が出てくるまで、繰り返し数字ボタンを押してください。単語の最初の文字は自動的に大文字になります。

スペース、ポーズ、記号を入力するには

➔ スペースを挿入するには、**スペース** を押します。

ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ** を押します。番号の途中にダッシュが挿入されます。

[@] などの記号を入力するには、**記号** ボタンを繰り返し押して、記号のリストをスクロールします。アスタリスク ([*])、ダッシュ ([-])、アンパサンド ([&])、ピリオド ([.])、スラッシュ ([/])、括弧 [( )]、アポストロフィ (['])、イコール ([=])、ナンバー ([#])、アット ([@])、下線 ([__])、プラス ([+])、感嘆符 ([!])、セミコロン ([;])、疑問符 ([?])、コンマ ([,])、コロン ([:])、パーセント ([%])、概算 ([~]) があります。

文字、数字、記号を消去するには

➔ 間違えた場合は、◀ を押して消去し、正しく入力し直してください。

文字の入力が終わったら、**OK** を押して入力内容を確定します。

ファクス番号をダイヤルするときに使用できる記号

* などの記号を入力するには、**記号** ボタンを繰り返し押して、記号一覧をスクロールします。次の表は、ファクスまたは電話番号、ファクスのヘッダー情報、短縮ダイヤルで使用できる記号です。

使用できる記号	説明	以下の場合に使用可能
*	ダイヤルに必要な場合に、アスタリスク記号を表示します。	ファクスのヘッダー名、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号、ダイヤルモニタ機能の番号
-	自動的にダイヤルするとき、HP All-in-One は番号に一定の間隔を挿入します。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
( )	市外局番などが読み取りやすくなるように、番号に左あるいは右かっこを入れます。これらの記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
W	W を入れると、自動的ダイヤルの際に、HP All-in-One はダイヤル トーンを待ってからダイヤルします。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
R	R は、自動ダイヤル中に電話の切替ボタンと同じように動作します。	短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号
+	プラス記号を表示します。この記号はダイヤルには影響しません。	ファクスのヘッダー名、ファクス ヘッダー番号、短縮ダイヤル名、短縮ダイヤル番号、ファクスまたは電話番号

ソフトウェアの使用

HP Photosmart Software (Windows) または HP Photosmart Mac Software (Mac) を使用すれば、コントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

HP All-in-One をセットアップすると、ソフトウェアがコンピュータにインストールされます。詳細については、本体に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

注記 Windows ユーザー: HP Photosmart Software の最小インストールを選択した場合、フルインストール版 HP Photosmart Premier では

なく HP Photosmart Essential ソフトウェアがインストールされます。HP Photosmart Essential のインストールは、コンピュータのメモリ リソースに制限がある場合にお勧めします。HP Photosmart Essential には、写真編集機能として HP Photosmart Premier のフル インストール版に含まれる標準機能ではなく、基本機能のみが搭載されています。

本ガイドとオンスクリーン ヘルプのソフトウェア関連の項目では、特に断りのない限り、HP Photosmart Software の両方のバージョンについて説明しています。

ソフトウェアへのアクセスは、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、Windows コンピュータの場合、HP Photosmart Software のエントリ ポイントは、**[HP ソリューション センター]** です。Mac の場合、HP Photosmart Mac Software のエントリ ポイントは、HP Photosmart Studio 画面です。いずれにしても、エントリ ポイントは、ソフトウェアおよびサービスの起動となります

Windows コンピュータで HP Photosmart Software を起動するには

1. 次のいずれかの操作を行います。
   – Windows デスクトップで、**[HP ソリューション センター]** アイコンをダブルクリックします。
   – Windows タスクバーの右端のシステム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンをダブルクリックします。
   – タスクバーで、**[スタート]** をクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントし、次に、**[HP]** を選択して、**[HP ソリューション センター]** をクリックします。
2. 複数の HP プリンタがインストールされている場合、HP All-in-One タブを選択してください。

注記　Windows コンピュータの場合、**[HP ソリューション センター]** で使用できる機能はインストールしたプリンタによって異なります。**[HP ソリューション センター]** は、選択したプリンタに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンが **[HP ソリューション センター]** に表示されないこともあります。

ヒント　コンピュータ上の **[HP ソリューション センター]** にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェアを完全にアンインストールします。その後、再度インストールします。詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

Mac で HP Photosmart Mac Software を起動するには

1. Dock の HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。
   写真を管理、編集、および共有できる HP Photosmart Studio 画面が表示されます。

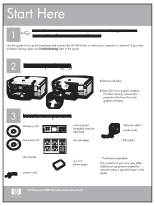
   注記　Mac の場合、HP Photosmart Mac ソフトウェアで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
3. **[デバイスの選択]** で、HP All-in-One のアイコンをクリックします。
   ここで、スキャンやコピーの作成、プリント カートリッジのインク残量の確認など保守作業を実行することができます。

2 詳細

印刷物およびオンスクリーン ヘルプなど、さまざまなリソースから、HP All-in-One の設定と使用方法に関する情報が得られます。

情報の種類



セットアップ ガイド

『セットアップ ガイド』では、HP All-in-One のセットアップやソフトウェアのインストール方法について説明します。『セットアップ ガイド』に記載された手順を順序どおりに行ってください。

注記　HP All-in-One の機能をフルに活用するには、本『ユーザー ガイド』で説明する追加セットアップおよび詳細設定を行う必要があります。 詳細については、HP All-in-One のセットアップの完了を参照してください。

セットアップ中に問題が生じた場合、『セットアップ ガイド』の最後のセクションにあるトラブルシューティング、または本『ユーザー ガイド』のトラブルシューティング情報を参照してください。



ユーザー ガイド（本書）

『ユーザー ガイド』では、トラブルシューティングのヒントや手順を追った説明など、HP All-in-One を使用する方法が説明されています。 また、『セットアップ ガイド』の説明を補足するためのセットアップ手順も追加されています。



HP Photosmart Software のツアー (Windows)

HP Photosmart Software のツアーは、HP All-in-One に含まれるソフトウェアの概要を対話形式で、しかも楽しみながら理解できるように構成されています。 HP All-in-One と共にインストールしたソフトウェアを使って、写真を編集、整理、印刷する方法がわかります。



オンスクリーン ヘルプ

オンスクリーン ヘルプは、HP All-in-One と共にインストールしたソフトウェアでしかご利用になれない機能をはじめ、本『ユーザー ガイド』には記載されていない HP All-in-One の機能について詳しく説明します。



[HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ] (Windows)

- **ヘルプを最大限に活用** のトピックでは、HP Photosmart Software または HP All-in-One の使用手順を探すためにオンスクリーン ヘルプを使用する方法について説明します。 また、このトピックでは、お使いのソフトウェアとデバイスで実施できる一般的な作業の動画を表示する方法も説明します。
- **手順を 1 ステップずつ** のトピックでは、HP All-in-One で HP Photosmart Software を使用するための情報が得られます。
- **何ができるかな** のトピックでは、HP Photosmart Software と HP All-in-One でできる実用的でクリエイティブなプロジェクトについての情報が得られます。
- さらにサポートが必要な場合や 最新の HP ソフトウェア アップデートを確認したい場合は、**トラブルシューティングとサポート** のトピックを参照してください。

[HP Photosmart Mac ヘルプ] (Mac)

- **操作手順** のトピックでは、一般的な作業を実施する方法を説明する動画にアクセスできます。
- **はじめに** のトピックでは画像のインポート、変更、共有に関する情報が得られます。
- **ヘルプの使用** のトピックではオンスクリーン ヘルプに収録された情報の収集方法について説明します。

詳細については、オンスクリーン ヘルプを使うを参照してください。

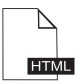


使用しているデバイスのオンスクリーン ヘルプ

オンスクリーン ヘルプは使用しているデバイスから直接利用でき、選択したトピックについての追加情報が得られます。

コントロール パネルからオンスクリーン ヘルプにアクセスするには

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [ヘルプメニュー]を選択し、適切なヘルプ トピックが表示されるまで ▶ を押し、それから **OK** ボタンを押します。 コンピュータ画面にそのヘルプ トピックが表示されます。



Readme

Readme ファイルには、その他の出版物には含まれていない最新情報が収録されています。

	Readme ファイルにアクセスするには、ソフトウェアをインストールします。
www.hp.com/support	インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイトからヘルプやサポートを入手することができます この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、サプライ品、および注文に関する情報が用意されています。

オンスクリーン ヘルプを使う

本『ユーザー ガイド』では使用可能な機能の一部を説明しており、それらの機能によって HP All-in-One の使用を開始できます。HP All-in-One が対応するすべての機能については、デバイス付属のオンスクリーン ヘルプをよくお読みください。

注記 このオンスクリーン ヘルプのトラブルシューティング関連のトピックでは、HP All-in-One の使用中に発生する問題の対処方法についても説明します。

オンスクリーン ヘルプの表示および使用方法は、Windows または Mac のどちらでヘルプをご覧になるかによって、多少異なります。両方のヘルプの使用方法については、以下のセクションで説明します。

Windows コンピュータでヘルプを使用する

このセクションでは Windows コンピュータでオンスクリーン ヘルプを使用する方法について説明します。ヘルプの移動、検索、キーワードなどの機能を使用して、目的の情報を見つける方法が記載されています。

Windows コンピュータで [HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ] にアクセスするには

1. **[HP ソリューション センター]** で、HP All-in-One のタブをクリックします。
2. **[プリンタ サポート]** 領域で、**[オンスクリーン ガイド]** または **[トラブルシューティング]** をクリックします。
   – **[オンスクリーン ガイド]** をクリックすると、ポップアップ メニューが表示されます。ここで、ヘルプ全体のウェルカム ページを開くか、HP All-in-One 用のヘルプを表示するかどうかを選択できます。
   – **[トラブルシューティング]** をクリックすると、**[トラブルシューティングとサポート]** ページが開きます。

   下の図で、ヘルプでのトピックの調べ方について説明します。



1	目次、キーワード、検索タブ
2	表示領域
3	ヘルプ ツールバー

目次、キーワード、検索タブ

[HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ] 内のトピックを表示するには、**[目次]**、**[キーワード]**、**[検索]** タブを使用します。

- **[内容]**
  [目次] タブは、本の目次と同じように、ヘルプ内のトピックをツリー形式で一覧表示します。写真の印刷方法など、ある特定の機能に関する情報をまとめて見たいときに便利です。
  – HP All-in-One のコントロール パネルから行える作業と機能については、一覧の一番下にある **[6300 series ヘルプ]** を開いてください。
  – HP All-in-One のトラブルシューティングについては、**[トラブルシューティングとサポート]** ブックを開き、次に **[6300 series トラブルシューティング]** ブックを開いてください。
  – **[目次]** タブにあるその他のブックでは、HP Photosmart ソフトウェアを使用し HP All-in-One で各種作業を行う方法について説明します。



サブトピックを持つセクションは、ブック アイコンで判別できます。ブック内のサブトピック一覧を表示するには、ブック アイコンの横の **+** 記号をクリックします(サブトピックが既に開かれている場合は **+** 記号が **-** に変わっています)。トピック内の情報を表示するには、**[目次]** タブでブック名またはトピック名をクリックします。選択したトピックが右側の表示領域に表示されます。

- **[索引]**
  [キーワード] タブは、**[HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ]** のトピックに関連するキーワードをアルファベット順に一覧表示します。



別の項目を表示するには、一覧の右側にあるスクロール バーを使用するか、一覧の上にあるテキスト ボックスにキーワードを入力します。文字を入力するたびに、キーワード画面は入力した文字から始まる項目に自動的に移動します。

調べたい情報に関連するキーワードが見つかったら、そのキーワードをダブルクリックします。

  – キーワードに関連するトピックが 1 つしかない場合は、そのトピックが右側の表示領域に表示されます。
  – 該当するトピックが複数ある場合は、**[該当するトピック]** ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックス内の任意のトピックをダブルクリックすると、そのトピックが表示領域に表示されます。

- **[検索]**
  [検索] タブでは、ヘルプ全体から特定の語句 (「フチ無し印刷」など)を検索することができます。

ヒント　入力する語句がよく使われる語句 (「フチ無し印刷」の「印刷」など) の場合は、検索対象の語句を 2 重引用符 (") で囲います。これにより、必要な情報により近い検索結果を絞り込むことができます。この検索では、「フチ無し」または「印刷」のどちらかの単語を含むトピックを返すのではなく、「フチ無し印刷」という語句を含むトピックを返します。



検索条件を入力し、**[検索開始]**をクリックすると、入力した単語または語句を含むヘルプ トピックがすべて表示されます。検索結果は、3 つの列で構成されるテーブルに表示されます。それぞれの列には、**[タイトル]**、そのトピックが記載されたヘルプ内の **[場所]**、検索条件との関連性に応じて割り当てられた **[ランク]** という見出しがついています。

検索結果はデフォルトで **[ランク]** を基準にして並べ替えられ、検索条件と一致するものを最も多く含むトピックが一番上に表示されます。また、列の見出しをクリックして、検索結果をトピックの **[タイトル]** または **[場所]** で並べ替えることもできます。トピックの内容を表示するには、検索結果一覧で該当する列をダブルクリックします。選択したトピックが右側の表示領域に表示されます。

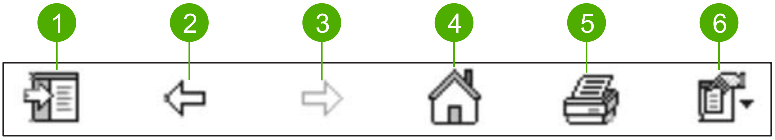
表示領域

ヘルプ画面右側の表示領域には、左のタブのいずれかで選択したヘルプ トピックが表示されます。ヘルプ トピックには、説明文、ステップ別手順、可能な場合はイラストなどが含まれます。

- トピックには、さらに詳しい説明が得られる、ヘルプ内の別のトピックへのリンクが含まれていることもあります。また、リンクから新規トピックが表示領域内に自動的に開いたりします。該当するトピックが複数ある場合もありますが、このようなときは、**[該当するトピック]** ダイアログ ボックスが表示されます。ダイアログ ボックス内の任意のトピックをダブルクリックすると、そのトピックが表示領域に表示されます。
- トピックによっては、そのページには表示されていない詳細情報や追加情報があることがあります。ページの右上に **[すべて表示]** または **[すべて非表示]** があるかどうかを確認してください。ある場合は、そのページには、表示されていない追加情報があることを意味します。非表示の情報は矢印と紺色の文字列で表されます。非表示の情報を見るには、紺色の文字列をクリックします。
- 一部のトピックには、特定の機能の使用方法を示す動画が含まれます。動画がある場合、「使用方法」の横にビデオ カメラ アイコンが表示されます。「使用方法」リンクをクリックすると、新しいウィンドウで動画が再生されます。

ヘルプ ツールバー

以下に示すヘルプ ツールバーには、ヘルプ内のトピック間を移動するボタンが含まれます。前後のトピックに移動したり、**[ホーム]** ボタンをクリックして、**[HP Photosmart ソフトウェア ヘルプ]** のメインページに戻ったりできます。



1	表示/非表示
2	戻る
3	進む
4	ホーム
5	印刷
6	オプション

[ヘルプ] ツールバーには、コンピュータの画面でのオンスクリーン ヘルプの表示方法を変更するためのボタンがあります。例えば、右側の表示領域にヘルプ トピックをもっと大きく表示したい場合は、**[タブの非表示]** ボタンをクリックして、**[目次]**、**[キーワード]** および **[検索]** タブを非表示にすることができます。

[印刷] ボタンを押すと、コンピュータの画面に表示されているページを印刷できます。左側に **[目次]** タブが見えるときに **[印刷]** をクリックすると、**[トピックの印刷]** ダイアログ ボックスが表示されます。表示領域に表示されているトピックだけを印刷するか、表示中のトピックとそれに関連するすべてのサブトピックを印刷するかを選択できます。この機能は、ヘルプ画面の右側に **[キーワード]** または **[検索]** タブが見える場合はご利用になれません。

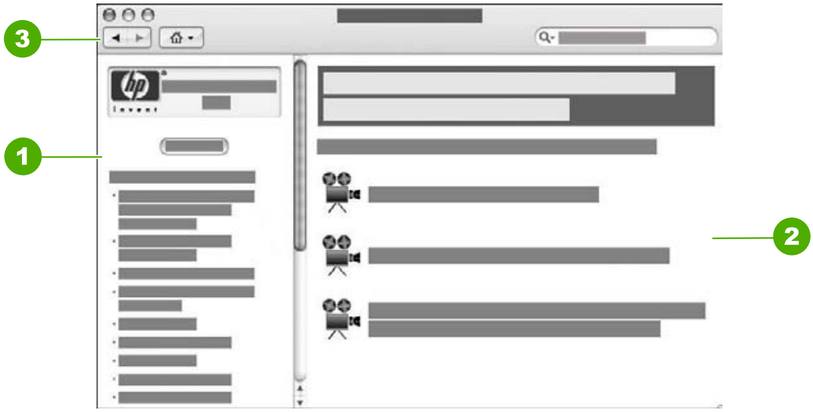
Mac でヘルプを使用する

このセクションでは Mac でオンスクリーン ヘルプを表示する方法について説明します。ヘルプ内を移動、検索して必要な情報を取得する方法が記載されています。

[HP Photosmart Mac ヘルプ] にアクセスするには

➔ HP Photosmart Studio で **[ヘルプ]** メニューを開き、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** を選択します。

[HP Photosmart Mac ヘルプ] が表示されます。下の図で、ヘルプでのトピックの調べ方について説明します。



1	目次枠
2	表示領域
3	ヘルプ ツールバー

目次枠

[HP Photosmart Mac ヘルプ] はヘルプ ビューアで開きます。このヘルプは 2 つの枠に分かれています。ヘルプを最初に開くときに、左側の枠に HP All-in-One およびソフトウェアに関連したヘルプのセクションのリストが表示されます。

- HP All-in-One のコントロール パネルから使用可能な作業および機能については、**[6300 series ヘルプ]** セクションをダブルクリックします。
- HP All-in-One のトラブルシューティング情報については、**[6300 series トラブルシューティング]** セクションをダブルクリックします。
- **[目次]** 枠にあるその他のセクションでは、HP Photosmart Mac Software を使用して各種作業を行う方法について説明します。

表示するヘルプのセクションを選択すると、**[目次]** 枠が本の目次のようにそのセクションのトピックを上から下まで表示するように変わります。写真の印刷方法など、ある特定の機能に関する情報をまとめて見たいときに便利です。

表示領域

右枠の表示領域には、**[目次]** 枠で選択したヘルプ トピックが表示されます。ヘルプ トピックには、説明文、ステップ別手順、可能な場合はイラストなどが含まれます。

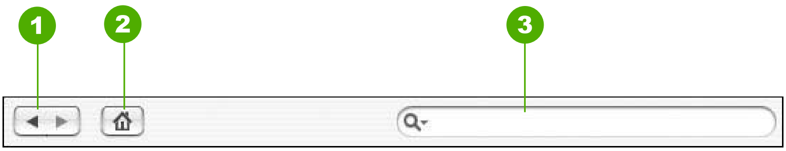
- **[HP Photosmart Mac ヘルプ]** のトピックの多くで、HP All-in-One のコントロール パネルから利用できる機能に加えて HP Photosmart Mac Software から利用できる機能の使用方法について説明しています。特定のトピックの内容をすべて表示するには、表示領域の右側にあるスクロ

ール バーを動かします。スクロールしないと重要な情報が画面に見えない場合があります。

- トピックには、さらに詳しい説明が得られる、ヘルプ内の別のトピックへのリンクまたは参照が含まれていることもあります。
  – ヘルプの同じセクションに関連トピックが表示されている場合、表示領域にそのトピックが自動的に開きます。
  – 関連トピックがヘルプの別のセクションにもある場合、現在のトピックには、開く必要があるセクションへの参照が表示されます。ヘルプの他のセクションを表示するには、左側にある **[目次]** 枠から **[メイン メニュー]** をクリックしてから、該当セクションをクリックします。関連するトピックは **[目次]** 枠に表示されるトピックのリストで見つけるか、次のセクションの説明に従って検索することができます。
- 一部のトピックには、特定の機能の使用方法を示す動画が含まれます。動画がある場合、「使用方法」の横にビデオ カメラ アイコンが表示されます。ビデオ カメラ アイコンをクリックすると、新しいウィンドウで動画が再生されます。

ヘルプ ツールバー

以下に示すヘルプ ツールバーには、ヘルプ内のトピック間を移動するボタンが含まれます。既に表示したトピックの中で移動したり、**[ホーム]** ボタンをクリックして、**[HP Photosmart Mac ヘルプ]** の他のセクションを表示したりできます。



1	戻る / 進む
2	ホーム
3	検索領域

ヘルプ ツールバーには、ヘルプ全体から特定の語句 (「フチ無し印刷」など) を検索できるテキスト ボックスがあります。

検索条件を入力し、キーボードの 戻る を押すと、入力した単語または語句を含むヘルプ トピックが すべて表示されます。検索結果は、複数の列で構成されるテーブルに表示されます。各行には、**[トピック]** のタイトルと **[関連]** (検索条件との関連性に基づいて割り当てられる) が表示されます。OS 10.2.8 または 10.3.x を使用している場合は、検索結果にトピックが含まれるヘルプ内の **[場所]** も表示されます。

検索結果はデフォルトで **[関連]** を基準にして並べ替えられ、検索条件と最も一致するトピックが一番上に表示されます。また、列の見出しをクリックして、**[トピック]** または **[場所]** (OS 10.2.8 または 10.3.x) を基準にして並べ替えることもできます。トピックの内容を表示するには、検索結果一覧で該当する列をダブルクリックします。選択したトピックが表示されます。

3 HP All-in-One のセットアップの完了

『セットアップ ガイド』に記載された手順が完了したら、次にこのセクションを参照して HP All-in-One のセットアップを完了させてください。このセクションには、初期設定などデバイスのセットアップに関する重要な情報が記載されています。

- 初期設定
- 接続情報
- ネットワークへの接続
- ファクス設定

初期設定

HP All-in-One の設定をお客様ご自身で変更することができます。たとえば、メッセージの表示に使用する言語、ディスプレイに表示される日付や時間など、一般的なデバイスの初期設定を行うことができます。また、デバイスの設定を、購入時の設定に戻すこともできます。この場合、新しく設定したデフォルト値はすべて消去されます。

- 言語と国/地域の設定
- 日付と時刻の設定
- 音量の調整

言語と国/地域の設定

言語と国/地域の設定内容により、HP All-in-One のディスプレイのメッセージに使用する言語が決まります。通常、言語と国/地域は HP All-in-One を初めてセットアップする際に設定します。ただし、この設定は以下の手順によりいつでも変更できます。

言語と国/地域を設定するには

1. セットアップ を押します。
2. 7 を押し、次に 1 を押します。
   これで、[基本設定] と [言語と国/地域の設定] が続けて選択されます。
3. ◀ または ▶ を押して言語をスクロールします。使用する言語が表示されたら、指定の番号を入力します。
4. 画面の指示に従い、[はい] の場合は 1、[いいえ] の場合は 2 を押します。
5. ◀ または ▶ を押して国/地域をスクロールします。選択する国/地域が表示されたら、指定の番号を入力します。
6. 画面の指示に従い、[はい] の場合は 1、[いいえ] の場合は 2 を押します。

日付と時刻の設定

コントロール パネルから日付と時刻を設定することができます。この日付と時刻の形式は、言語と国/地域の設定に基づいています。ファクスを送るときに、名前とファクス番号のほかに現在の日付と時刻もファクス ヘッダーの一部として送信されます。

注記　一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダーに日付スタンプの明記が義務付けられています。

HP All-in-One の電源が 72 時間以上切れていると、日付と時刻の再設定が必要になる場合があります。

日付と時刻を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **6** を押し、次に **3** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**日付と時刻**] が続けて選択されます。
3. キーパッドの数字を押して、年、月、日を入力します。言語と国/地域の設定によっては、入力する順序が異なることがあります。
4. 時と分を入力します。

音量の調整

HP All-in-One は、呼び出し音とスピーカの音量を 3 段階で調整できます。呼び出し音のボリュームとは、電話がかかってきたときに鳴る音の大きさです。スピーカのボリュームとは、ダイヤル トーンやファクス トーン、ボタンを押したときに鳴る音など、それ以外の音のレベルのことです。デフォルトの設定は [**小さい**] です。

コントロール パネルから音量を調整するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、もう一度 **4** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**呼出し音とプッシュ音の音量**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押し、[**小さい**]、[**大きい**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

接続情報

HP All-in-One は、単独のコピー、ファクス機、およびフォト プリンタとして使用できます。また、HP All-in-One をコンピュータまたは Bluetooth デバイスに接続して印刷およびその他のソフトウェア機能を実行することができます。 各種接続オプションについては、後続セクションで説明します。

- サポートされている接続の種類
- USB ケーブルを使用して接続

- Ethernet による接続
- HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ テクノロジを使った接続
- HP All-in-One の Bluetooth セキュリティを設定する
- Bluetooth® 接続を使ったコンピュータからの印刷
- プリンタの共有の使用

サポートされている接続の種類

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	1 台のコンピュータ。USB ケーブルで HP All-in-One 背面の USB 2.0 HS ポートに接続。	Webスキャン を除くすべての機能がサポートされます。*	詳しい手順については、『セットアップ ガイド』に従ってください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターで、5 台まで HP All-in-One にコンピュータを接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	『セットアップ ガイド』の指示に従います。詳細については、この『ユーザー ガイド』のネットワークへの接続を参照してください。
HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ	1 台の Bluetooth デバイスまたはコンピュータ。	PDA、カメラ付き携帯、または Bluetooth 対応コンピュータなどの Bluetooth デバイスから印刷します。	HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ テクノロジを使った接続の指示に従ってください。
プリンタの共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータは常に電源をオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータは HP All-	ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。	プリンタの共有の使用の指示に従ってください。

セットアップの完了

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
	in-One に対して印刷を実行できません。		

* 詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

USB ケーブルを使用して接続

USB ケーブルを使用して背面の USB ポートにコンピュータを接続する方法の詳細については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

Ethernet による接続

HP All-in-One は 10 Mbps と 100 Mbps の Ethernet ネットワーク接続をサポートしています。HP All-in-One の Ethernet (有線) ネットワーク接続については、最初にデバイス付属の『セットアップ ガイド』を参照します。詳細については、ネットワークへの接続を参照してください。

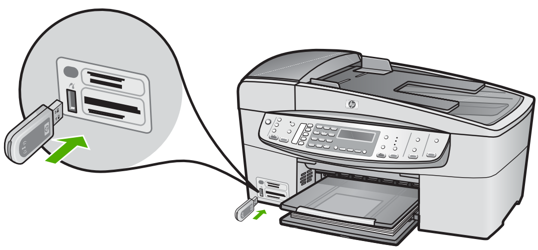
HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ テクノロジを使った接続

HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタを使うと、ほとんどの Bluetooth デバイスから、ケーブルで接続せずに HP All-in-One に直接画像を印刷できます。プリンタ前面の USB ポートに HP bt450 を差し込むだけで、PDA やカメラ付き携帯電話などの Bluetooth デバイスから印刷できます。

注記 Bluetooth テクノロジを使用して、コンピュータから HP All-in-One に印刷することもできます。

HP bt450 を HP All-in-One に接続するには

1. HP bt450 を前面の USB ポートに挿入します (下図を参照)。



2. Bluetooth デバイスには、互いに通信して接続を確立するときに、デバイス アドレスを交換するものがあります。また、Bluetooth デバイスによっ

セットアップの完了

では、接続時にプリンタの名前を表示するものがあります。HP All-in-One の名前としてデフォルト名を表示しない場合は、デバイス名を変更できます。
必要に応じて、以下の操作を行います。

HP All-in-One のデバイス アドレスを見つけるには

a. **セットアップ** を押します。
b. **9** を押し、次に **1** を押します。
これで、[**Bluetooth**] と [**デバイスのアドレス**] が続けて選択されます。[**デバイスのアドレス**] が表示されます。この情報は読取専用です。
c. アドレスをデバイスに入力するには、Bluetooth デバイスに同梱されている指示に従って操作してください。

HP All-in-One のデバイス名をデフォルトから変更するには

a. **セットアップ** を押します。
b. **9** を押し、次に **2** を押します。
これで、[**Bluetooth**] と [**デバイス名**] が続けて選択されます。

注記　お使いの HP All-in-One には、出荷時に [**"Officejet 6300 Series"**] という名前が設定されています。

c. キーパッドを使って新しい名前を入力します。
d. HP All-in-One の名前を入力したら、**OK** を押します。
HP All-in-One に接続して印刷するときに、入力した名前が Bluetooth デバイスに表示されます。

3. **OK** を押して、セットアップ メニューを終了します。

HP All-in-One の Bluetooth セキュリティを設定する

HP All-in-One の [**Bluetooth**] メニューからプリンタのセキュリティ設定を有効にできます。コントロール パネルにある **セットアップ** を押して、セットアップ メニューから [**Bluetooth**] を選択します。[**Bluetooth**] メニューでは、次のことができます。

- Bluetooth デバイスから HP All-in-One で印刷しようとすると、パスキー認証を要求します。
- 通信範囲内にある Bluetooth デバイスからの HP All-in-One の表示/非表示を切り替えます。

- パスキーの使用による Bluetooth デバイスの認証
- HP All-in-One を Bluetooth デバイスに対して非表示に設定
- HP All-in-One の Bluetooth 設定のリセット

パスキーの使用による Bluetooth デバイスの認証

HP All-in-One のセキュリティ レベルを [低] または [高] に設定できます。

- [低]: HP All-in-One はパスキーを要求しません。通信範囲内のすべての Bluetooth デバイスから印刷できます。

  注記 デフォルトのセキュリティ設定は [低] です。低レベル セキュリティでは、認証が要求されません。

- [高]: HP All-in-One は、Bluetooth デバイスが印刷ジョブを送信するのを許可する前に、パスキーを要求します。

注記 HP All-in-One では、出荷時にあらかじめすべてゼロのパスキー "0000" が定義されています。

パスキー認証を要求するように HP All-in-One を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **9** を押し、次に **3** を押します。
   これで、[**Bluetooth**] と [**パスキー**] が続けて選択されます。
3. キーパッドを使って新しいパスキーを入力します。

   注記 パスキーは 1～4 文字で数字のみで構成する必要があります。

4. パスキーを入力したら、**OK** を押します。
   [**Bluetooth**] メニューが表示されます。
5. **5** を押して [**セキュリティ レベル**] を選択します。
6. **OK** を押して [**高**] を選択します。
   セキュリティ レベルが高い場合、認証が必要です。
   これで、HP All-in-One にパスキー認証が設定されます。

HP All-in-One を Bluetooth デバイスに対して非表示に設定

HP All-in-One を [すべてに公開] Bluetooth デバイス (パブリック) またはすべてに [非表示] (プライベート) のどちらかに設定します。

- [すべてに公開]: 通信範囲内のどの Bluetooth デバイスからでもHP All-in-One で印刷できます。
- [非表示]: HP All-in-One のデバイス アドレスを記憶している Bluetooth デバイスだけが印刷できます。

注記 お使いの HP All-in-One には、出荷時にデフォルトのアクセス レベル [すべてに公開] が設定されています。

HP All-in-One を非表示に設定するには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. **9** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**Bluetooth**] と [**表示**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**非表示**] を選択し、**OK** を押します。
   HP All-in-One は、デバイス アドレスを記憶していない Bluetooth デバイスからは利用できません。

HP All-in-One の Bluetooth 設定のリセット

HP All-in-One の Bluetooth 設定をすべて出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。

注記　[**Bluetooth をリセット**] を選択するのは、HP All-in-One の Bluetooth 設定をすべて出荷時のデフォルトに戻す場合だけです。

Bluetooth 設定をリセットするには

1. HP All-in-One のコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. **9** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**Bluetooth**] と[**Bluetooth をリセット**] が続けて選択されます。

Bluetooth® 接続を使ったコンピュータからの印刷

Bluetooth 接続を使用すると、ケーブルを接続しなくても Bluetooth 対応コンピュータから画像をすばやく簡単に印刷することができます。Bluetooth 接続でも、USB 接続と同じ多くの印刷機能を利用できます。たとえば、プリンタの状態やプリント カートリッジの推定インク残量を確認することができます。

注記　Bluetooth で使用可能な唯一のソフトウェア機能は、印刷です。Bluetooth 接続で、スキャンとソフトウェアによるファクスの送受信を行うことはできません。ただし、単独でのコピーとファクス機能は使用できます。

印刷する前に、HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ アダプタを HP All-in-One に接続しておいてください。

Windows ユーザー

HP All-in-One に接続するには、Windows XP を実行し、Microsoft Bluetooth® プロトコル スタックまたは Widcomm Bluetooth® プロトコル スタックのどちらかをインストールしておく必要があります。コンピュータに

Microsoft スタックと Widcomm スタックの両方をインストールすることは可能ですが、HP All-in-One への接続に使用できるのはどちらか 1 つのみです。

- お使いのコンピュータに **Microsoft stack** Service Pack 2がインストールされていれば、Microsoft Bluetooth® プロトコル スタックもインストール済みです。 外部 Bluetooth® アダプタは Microsoft スタックにより自動的にインストールされます。 お使いの Bluetooth® アダプタが Microsoft スタックに対応しているのにアダプタが自動的にインストールされない場合は、Microsoft スタックが元々コンピュータに入っていないことが考えられます。 Bluetooth® アダプタの Microsoft スタックへの対応状況については、アダプタ付属のマニュアルをご確認ください。
- **Widcomm スタック** : Bluetooth® 内蔵の HP コンピュータをご使用の場合、または HP bt450 をすでにインストールしている場合は、Widcomm スタックもインストール済みです。HP コンピュータに HP bt450 を接続して使用している場合は、Widcomm スタックにより自動的にインストールされます。

Microsoft スタックによりインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

   注記 本ソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth® 接続のためのプリンタ ドライバを使用できるようにしておくためです。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。HP All-in-One に USB と Bluetooth® の両方で接続する場合は、USB 接続を先にインストールしてください。詳細については、『セットアップ ガイド』 を参照してください。USB 接続を使用しない場合は、**[接続タイプ]** 画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。また、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

2. HP bt450 を HP All-in-One 前面の USB ポートに接続します。
3. 外部 Bluetooth® アダプタを使用する場合は、コンピュータが起動しており、Bluetooth® アダプタをコンピュータの USB ポートに接続していることを確認します。 Service Pack 2 搭載 Windows XP がインストールされている場合は、Bluetooth® ドライバも自動的にインストールされています。 Bluetooth® プロファイルの選択画面が表示されたら、**[HCRP]** を選択します。
   コンピュータが Bluetooth® を内蔵している場合は、コンピュータが起動していることを確認します。
4. Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
5. **[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックします。

6. **[次へ]** をクリックし、次に **[Bluetooth プリンタ]** を選択します。
7. 画面に表示される指示に従って、インストールを行います。
8. 目的のプリンタで印刷を行います。

Widcomm スタックによりインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。

   注記 本ソフトウェアをインストールする目的は、Bluetooth® 接続のためのプリンタ ドライバを使用できるようにしておくためです。このソフトウェアがすでにインストールされている場合は、再インストールの必要はありません。HP All-in-One に USB と Bluetooth® の両方で接続する場合は、USB 接続を先にインストールしてください。詳細については、『セットアップ ガイド』 を参照してください。USB 接続を使用しない場合は、**[接続タイプ]** 画面で **[このコンピュータに直接接続]** を選択します。また、**[デバイスを今すぐ接続]** 画面で、**[デバイスをお使いのコンピュータに接続できない...]** の横のチェックボックスを選択します。

2. HP bt450 を HP All-in-One 前面の USB ポートに接続します。
3. デスクトップまたはタスクバーの **[My Bluetooth Places]** アイコンをクリックします。
4. **[範囲内のデバイスの検索]** をクリックします。
5. 使用可能なプリンタが検出されたら、HP All-in-One の名前をダブルクリックしてインストールを完了します。
6. 目的のプリンタで印刷を行います。

Mac ユーザー

HP All-in-One を Bluetooth® 内蔵の Mac に接続するか、外部 Bluetooth® アダプタを取り付けることができます。

Bluetooth® を使用してインストールおよび印刷を行うには

1. コンピュータに HP All-in-One ソフトウェアがインストールされていることを確認します。
2. HP bt450 を HP All-in-One 前面の USB ポートに接続します。
3. コントロール パネルの **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源を切り、もう一度ボタンを押して電源を入れます。
4. コンピュータに Bluetooth® アダプタを接続し、アダプタの電源を入れます。コンピュータにアダプタ付属のソフトウェアがインストールされていることを確認します。コンピュータに Bluetooth® が内蔵されている場合は、コンピュータの電源だけを入れてください。
5. **[アプリケーション：ユーティリティ]** フォルダから **[プリンタ設定ユーティリティ]** を開きます。

注記　このユーティリティは 10.3 以降の OS では **[プリンタ設定ユーティリティ]**、 10.2.x では **[プリント センター]** と呼ばれます。

6. ポップアップ メニューから **[Bluetooth]** を選択し、次に**[追加]** をクリックします。
   HP All-in-One の検索が開始します。
7. プリンター覧で、HP All-in-Oneを選択し、**[追加]** をクリックします。
   プリンター覧に HP All-in-One が追加されます。
8. 目的のプリンタで印刷を行います。

プリンタの共有の使用

コンピュータがネットワークに接続され、同じネットワーク上の別のコンピュータに HP All-in-One が USB ケーブルで接続されている場合、プリンタ共有機能を使用してそのプリンタに印刷することができます。

HP All-in-One に直接接続するコンピュータがプリンタの**ホスト**として機能し、このコンピュータがすべてのソフトウェア機能を実行します。**クライアント** と呼ばれるその他のコンピュータは、印刷機能にのみアクセスできます。他の機能は、ホスト コンピュータから実行するか、HP All-in-One のコントロール パネルから実行する必要があります。

Windows コンピュータでのプリンタ共有を有効にするには

➔ コンピュータに付属のユーザー ガイドまたは Windows オンスクリーン ヘルプを参照してください。

Mac でのプリンタ共有を有効にするには

1. クライアント コンピュータとホスト コンピュータの両方で、以下を実行します。
   a. Dock の **[システム環境設定]** をクリックするか、**[アップル]** メニューで **[システム環境設定]** を選択します。
      [システム環境設定] ダイアログが表示されます。
   b. **[インターネットとネットワーク]** 領域で、**[共有]** をクリックします。
   c. **[サービス]** タブで、**[プリンタ共有]** をクリックします。
2. ホスト コンピュータで、以下を実行します。
   a. Dock の **[システム環境設定]** をクリックするか、**[アップル]** メニューで **[システム環境設定]** を選択します。
      [システム環境設定] ダイアログが表示されます。
   b. **[ハードウェア]** 領域で、**[プリントとファクス]** をクリックします。

c. OS に従って、次のいずれかの操作を行います。
   • (OS 10.2.8 または 10.3.x) **[プリント]** タブで、**[プリンタをほかのコンピュータと共有する]** のチェック ボックスをクリックします。
   • (OS 10.4.x) **[共有]** をクリックし、**[プリンタをほかのコンピュータと共有]** のチェック ボックスをクリックしてから、共有するプリンタを選択します。

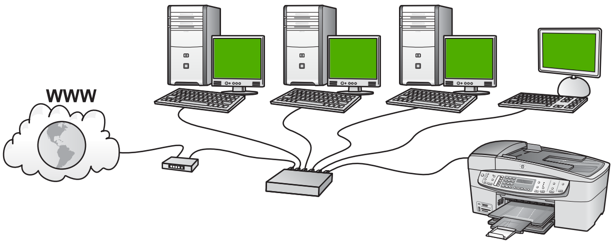
ネットワークへの接続

ここでは、HP All-in-Oneをネットワークに接続する方法とネットワーク接続の問題にトラブルシューティングを実施する方法について説明します。 ネットワーク用語の定義と、印刷またはネットワーク設定変更に関する情報については、HP All-in-One 付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

実行する項目	参照先
有線 (Ethernet) ネットワークに接続する	有線ネットワークの設定
ネットワーク接続環境で使用するために HP All-in-One ソフトウェアをインストールする	ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする
ネットワークの複数のコンピュータへの接続を追加する	ネットワーク上の複数のコンピュータに接続する
USB 接続からネットワーク接続へ HP All-in-One を切り替える 注記　ここで説明する手順は、USB 接続で設置した HP All-in-One を後から有線 (Ethernet) ネットワーク接続に変更する場合に参照します。	HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える
トラブルシューティング情報を取得する	ネットワーク設定に関するトラブルシューティング

有線ネットワークの設定

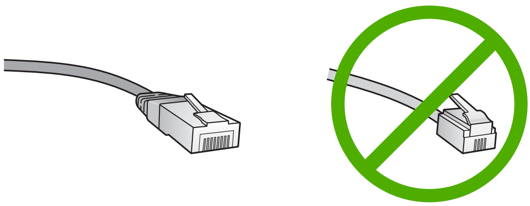
ここでは、HP All-in-One を Ethernet ルーター、スイッチ、またはワイヤレス ルーターに Ethernet ケーブルで接続してネットワーク接続用に HP All-in-One をインストールする方法について説明します。この方法は有線または Ethernet ネットワークとして知られています。



有線ネットワークに必要なもの

HP All-in-One をネットワークに接続するために必要なものがすべて揃っていることを確認します。

- ❑ Ethernet ポートを装備した Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス ルーターを含む稼働中の Ethernet ネットワーク
- ❑ CAT-5 Ethernet ケーブル



標準の Ethernet ケーブルは普通の電話ケーブルと似ていますが、互換性はありません。 この2種類のケーブルでは線の本数が異なり、また異なるコネクタが付いています。 Ethernet ケーブル コネクタ (すなわち RJ-45 コネクタ) は幅が広く厚みがあり、末端の接触部分は常に8箇所あります。 電話ケーブルのコネクタは接触部分が2箇所から6箇所の間です。

- ❑ Ethernet またはワイヤレス ルーターに接続したデスクトップまたはノートブック コンピュータ。

注記 HP All-in-One は 10 Mbps および 100 Mbps Eithernet ネットワークへ接続可能です。 ネットワーク インターフェース カード (NIC) の購入をお考えの場合、または既にご購入済みの場合、この両方の速度で動作することを確認してください。

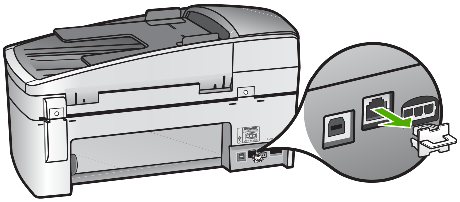
- ❑ ケーブルまたは DSL などのブロードバンド インターネット アクセスを推奨します。HP All-in-One から直接 HP Photosmart 共有 にアクセスする場合には、ブロードバンド インターネット アクセスが必要です。

HP All-in-One をネットワークに接続する

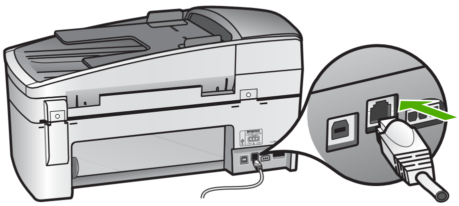
Ethernet ポートは、HP All-in-One の背面に装備されています。

HP All-in-One をネットワークに接続する

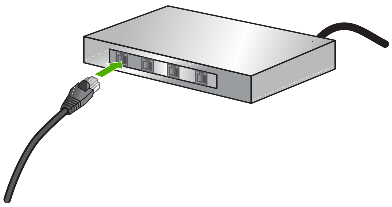
1. HP All-in-One の後部からイエローのプラグを抜きます。



2. HP All-in-One 背面の Ethernet ポートに Ethernet ケーブルを接続します。



3. Ethernet ケーブルのもう一方の端を Ethernet ルーター、スイッチまたはワイヤレス ルーターの空いているポートに接続します。



4. HP All-in-One をネットワークに接続した後は、次のセクションの説明に従ってソフトウェアをインストールします。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする

このセクションでは、HP All-in-One ソフトウェアをネットワークに接続された Windows または Mac コンピュータへインストールする方法について説明します。ソフトウェアをインストールするためには、前述のように HP All-in-One を接続していることを確認します。

注記 1 コンピュータが一連のネットワーク ドライブに接続するよう設定する場合、ソフトウェアをインストールする前に、コンピュータが現在それらのドライブに接続されていることを確認してください。

そうしないと、インストール ソフトウェアがネットワーク ドライブに割り当てられた予約済みドライブ名を使用する可能性があり、そのネットワーク ドライブ名へのアクセスが不可能になります。

注記 2 インストールに要する時間は、お使いの OS、空いているディスク スペース、プロセッサの速度などによって異なりますが、20 分から 45 分かかります。

Windows 用のHP All-in-One ソフトウェアをインストールするには

1. コンピュータで実行中のアプリケーションおよびファイヤーウォールまたはウィルス検出ソフトウェアをすべて終了します。
2. HP All-in-One に付属する Windows 用の CD をお使いのコンピュータ の CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示に従います。
3. ファイヤーウォールに関するダイアログ ボックスが表示されたら、次のように対応してください。
   – **[インストール停止の問題]** に関する画面が表示されたら、実行中のファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムにより HP ソフトウェアのインストールが妨害されている可能性があります。インストール中は、一時的にファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムを無効にしてください。 手順については、ファイヤーウォール付属のマニュアルを参照してください。 インストールが完了したら、ファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムをまた有効にしてください。

     注記 ファイヤーウォールまたはアンチスパイウェア プログラムを無効にした後に **[インストール停止の問題]** 画面が表示されても、インストールを引き続き実行してください。

   – **[ファイヤーウォールに関する注意]** は、Microsoft のインターネット接続用ファイヤーウォールまたは Windows ファイヤーウォールが有効であることを意味します。 **[次へ]** をクリックして、セットアップ プログラムで必要なポートをオープンし、インストールを続行できるようにします。 HP 提供のプログラムに対して **[Windows のセキュリティ警告]** が表示された場合、このプログラムのブロックを解除してください。
4. **[接続タイプ]** 画面で **[ネットワーク経由で接続する]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
   セットアップ プログラムがネットワーク上の HP All-in-One を探している間、**[検索中]** 画面が表示されます。
5. **[プリンタが見つかりました]** 画面で、そのプリンタについての詳細が正しいことを確認してください。
   ネットワーク上で複数のプリンタが検出されると、**[複数のプリンタが見つかりました]** 画面が表示されます。接続する HP All-in-One を選択してください。

HP All-in-One のデバイス設定を確認するには、ネットワーク設定ページを印刷します。

a. セットアップ を押します。
b. 8 を押して [ネットワーク設定] を選択します。
c. 1 を押します。
これで、[ネットワーク設定の印刷] が選択され、ネットワーク設定ページが印刷されます。

6. デバイスの説明が正しい場合、**[はい、このプリンタをインストールします]** を選択します。
7. コンピュータの再起動をメッセージに合わせて行い、インストール処理を終了します。
ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。
8. ファイヤーウォールやウィルス検出ソフトウェアを無効にしていた場合は、もう一度有効にしてください。
9. ネットワークへの接続を確認するには、お使いのコンピュータから HP All-in-One へセルフテスト レポートの印刷を行います。

Mac 用の HP All-in-One ソフトウェアをインストールするには

1. お使いの Mac で実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. HP All-in-One に付属する Macintosh 用の CD をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
3. HP All-in-One の **[HP installer]** アイコンをダブルクリックします。
4. **[認証]** ダイアログで、お使いの Mac やネットワークへのアクセスに使用される、管理者用パスワードを入力してください。
インストーラ ソフトウェアによって、HP All-in-One デバイスが検索されます。
5. **[HP インストーラ]** ダイアログで、言語と、接続する HP All-in-One を選択します。
6. 画面上の指示に従って、**[セットアップ　アシスタント]** を含む全てのインストール作業を完了してください。
ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One の準備は完了です。
7. ネットワークへの接続を確認するには、お使いの Mac から HP All-in-One へセルフテスト レポートの印刷を行います。

詳細については、次を参照してください。

- セルフテスト レポートの印刷
- ネットワーク設定に関するトラブルシューティング

ネットワーク上の複数のコンピュータに接続する

HP All-in-One と同じネットワーク上に別のコンピュータがある場合、各コンピュータに HP ソフトウェアをインストールしたら、このコンピュータでも

HP All-in-One を使用することができます。 HP All-in-One のネットワーク接続が一旦完了すれば、次回コンピュータを追加する際、再び設定を行う必要がなくなります。

詳細については、次を参照してください。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする

HP All-in-One を USB 接続からネットワーク接続に切り替える

USB 接続された HP All-in-One は、後から変更して Ethernet ネットワークに接続することができます。ワイヤレス ネットワークの設定方法をすでに理解している場合は、次の一般的な手順を用いてアップグレードしてください。

USB 接続を有線 (Ethernet) 接続に変更するには

1. HP All-in-One の背面から USB 接続ケーブルを取り外します。
2. HP All-in-One 背面の Ethernet ポートとルーター、スイッチ、またはワイヤレス ルーターの Ethernet ポートを Ethernet ケーブルで接続します。
3. インストール CD を実行し、**[デバイスの追加]** を選択し、次に **[ネットワークを介して接続]** を選択します。
4. (Windows のみ) インストールが完了したら、**[コントロール パネル]** の **[プリンタと FAX]** を開き、USB を使用してインストールしたプリンタを削除します。

詳細については、次を参照してください。

- HP All-in-One をネットワークに接続する
- ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールする

ファクス設定

『セットアップ ガイド』に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。『セットアップ ガイド』は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が HP All-in-One と同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、HP All-in-One を設定する方法を説明します。

ヒント **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアから **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) にアクセスできます。**[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスの設定を行います。

HP All-in-One でファクスをセットアップする

HP All-in-One のファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。
HP All-in-One のファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、HP All-in-One の "2-EXT" ポートに接続することはできません。電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記 シリアル タイプの電話方式を使用する国または地域の場合、HP All-in-One 付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。これにより、別の通信装置を壁側のモジュラー ジャックに接続して、HP All-in-One を差し込むことができます。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記 パラレル タイプの電話の場合、HP All-in-One に付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックに HP All-in-One を接続することをお勧めします。

パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

自宅またはオフィスに合った正しいファクス設定の選択

ファクスを正常に使用するには、同じ電話回線で HP All-in-One とともに何か機器やサービスを使用する場合、その種類を知っておく必要があります。既存のオフィス機器を HP All-in-One に直接接続しなければならない場合に重要です。 また、正常にファクスするには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

自宅またはオフィスに合った HP All-in-One のセットアップ方法を調べるには、まずこのセクションの質問を最後まで読んで答えてみてください。 そして、1 つ後のセクションにある表から、ご自分の答えに対するセットアップ方法を選択してください。

以下の質問は必ず順番に読んでお答えください。

1. 電話会社からデジタル加入者線 (DSL) を利用していますか。 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   - ❑ はい、DSL を利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース B : DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
2. 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システムを利用していますか。
   「はい」とお答えの方は ケース C : PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
3. 複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられる、電話会社の着信識別サービスを利用していますか。
   - ❑ はい、着信識別サービスを利用しています。
   - ❑ いいえ。

   「はい」とお答えの方は ケース D : 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する に進んでください。 ここから先の質問に答える必要はありません。
   「いいえ」とお答えの方は、続けて質問にお答えください。
   着信識別サービスを利用しているかどうか不明ですか。 多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。
   この着信識別サービスでは、電話番号ごとに異なる呼び出し音パターンを使用します。 シングル呼び出し音、ダブル呼び出し音、トリプル呼び出し音など、番号によって違う呼び出し音パターンを使用できます。 一

方の電話番号をシングル呼び出し音にして電話用に、もう一方の電話番号をダブル呼び出し音にしてファクス用に割り当てることができます。こうしておけば、電話が鳴ったときに電話かファクスかがわかります。

4. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話を一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、電話も受信します。
   - ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。
5. HP All-in-One と同じ電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用していますか。
   - ❑ はい、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用しています。
   - ❑ いいえ。

   コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しているかどうか不明ですか。 次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
   - ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している
   - ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している
   - ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している

   続けて質問にお答えください。
6. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと留守番電話を一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、留守番電話も利用します。
   - ❑ いいえ。

   続けて質問にお答えください。
7. 同じ電話番号で HP All-in-One ファクスと電話会社からのボイスメールサービスを一緒に利用しますか。
   - ❑ はい、ボイスメールサービスを利用します。
   - ❑ いいえ。

   質問にすべて答えたら、次のセクションに進み、適切なファクス セットアップを選択します。

適切なファクス セットアップの選択

これで、同じ電話回線で HP All-in-One と機器やサービスを一緒に利用する場合の質問はすべて終了です。自宅またはオフィスに合ったセットアップを選択できます。

表の 1 列目から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。ご使用の電話方式に合わせて、2 列目、3 列目から適切なセットアップを選択します。各方法については、この後手順を追って説明します。

前述の質問にすべて答えたが、どの機器やサービスも利用していなかった場合は、表の 1 列目から「いいえ」を選択してください。

注記　自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、HP All-in-One を通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
いいえ (すべての質問に「いいえ」と回答しました)。	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)	ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)
DSL サービス (質問 1 のみに「はい」と回答しました)。	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ
PBX または ISDN システム (質問 2 のみに「はい」と回答しました)。	ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ	ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ
着信識別サービス (質問 3 のみに「はい」と回答しました)。	ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する	ケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する
電話 (質問 4 のみに「はい」と回答しました)。	ケース E：電話とファクスを一緒に利用する	ケース E：電話とファクスを一緒に利用する
電話とボイスメールサービス (質問 4 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する	ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
コンピュータ ダイヤルアップ モデム	ケース G：同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデ	適用できません。

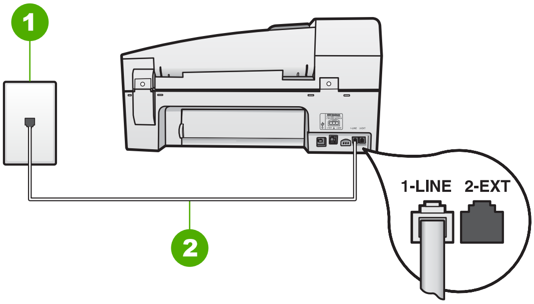
ファクスと一緒に利用する機器やサービス	パラレル方式に推奨するファクス セットアップ	シリアル方式に推奨するファクス セットアップ
(質問 5 のみに「はい」と回答しました)。	ムを一緒に利用する (電話の着信なし)	
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデム (質問 4 および 5 のみに「はい」と回答しました)。	ケース H：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する	適用できません。
電話と留守番電話 (質問 4 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース I：電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話 (質問 4 、 5 および 6 のみに「はい」と回答しました)。	ケース J：電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する	適用できません。
電話とコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイスメールサービス (質問 4 、 5 および 7 のみに「はい」と回答しました)。	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する	適用できません。

国または地域ごとのファクスのセットアップ方法の詳細については、以下に示すファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig

ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

単独のファクス回線の環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

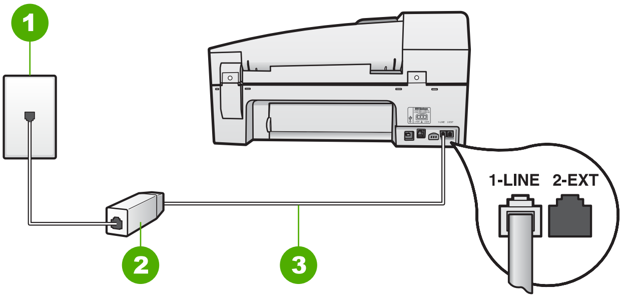
2. 自動応答 の設定をオンにします。
3. (オプション)[応答呼出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[応答呼出し回数] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B：DSL の環境で HP All-in-One をセットアップ

電話会社から DSL サービスを利用する場合は、次のように壁側のモジュラージャックと HP All-in-One の間に DSL フィルタを取り付けます。HP All-in-One が電話回線と正しくやり取りすることができるように、DSL フィルタで HP All-in-One を妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。

注記　DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、HP All-in-One でファクスを送受信できなくなります。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL フィルタおよびコード
3	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

DSL の環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタのコードを壁側のモジュラージャックに接続します。

   注記　着信識別サービス、留守番電話、ボイスメールなど、他のオフィス機器やサービスなどがこの電話回線に接続されている場合、セットアップの追加手順については、このセクションの該当するセクションを参照してください。

4. ファクス テストを実行します。

ケース C：PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートに HP All-in-One が接続されているこ

とを確認してください。また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

注記 ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

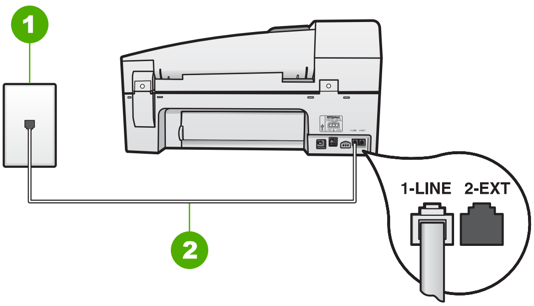
- PBX システムを使用している場合は、電話の保留音送出機能をオフにします。

  注記 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、HP All-in-One でファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いの HP All-in-One を正しく接続します。接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

ケース D : 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用する

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のように HP All-in-One を設定します。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

着信識別サービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 自動応答 の設定をオンにします。
3. [応答呼出し音のパターン] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

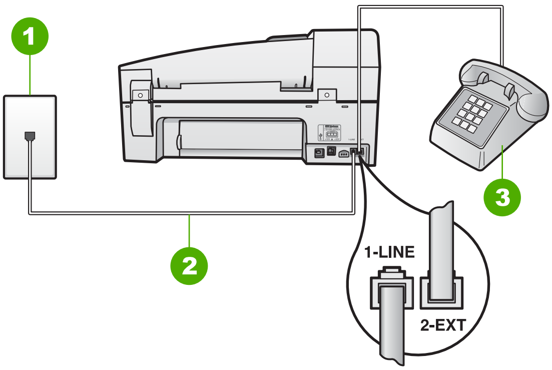
   注記　HP All-in-One の工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。[応答呼出し音のパターン] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、HP All-in-One が電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

4. (オプション)[応答呼出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One では、[応答呼出し音のパターン] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[応答呼出し回数] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

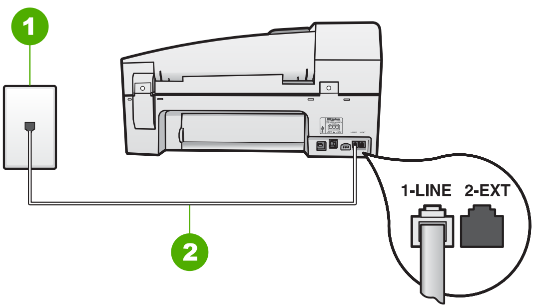
ケース E：電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のように HP All-in-One を設定します。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	電話機 (オプション)



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話とファクスの共有回線環境に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専

用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

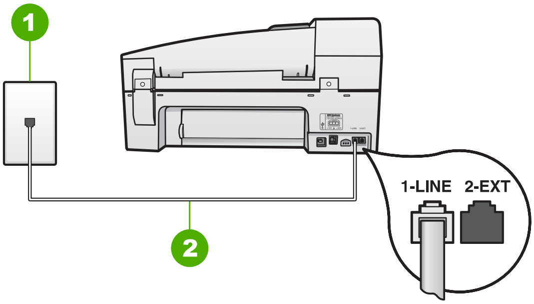
2. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   – 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   – ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、**自動応答** をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。
4. 電話システムによって、次のいずれかの操作を行います。
   – パラレル方式の電話システムを使用している場合、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
   – シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続された HP All-in-One ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース F：電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメールサービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を接続します。

注記　ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コードを使用する

ボイスメールサービスの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

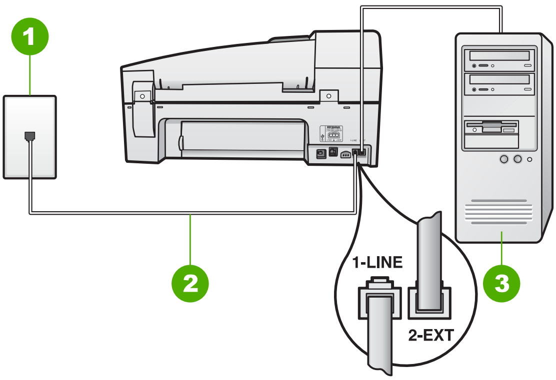
2. 自動応答 の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ケース G：同じ回線でファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムを接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

5. 自動応答 の設定をオンにします。
6. (オプション)[応答呼出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後に HP All-in-One が自動応答します。そして、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

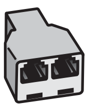
ケース H : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムも接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

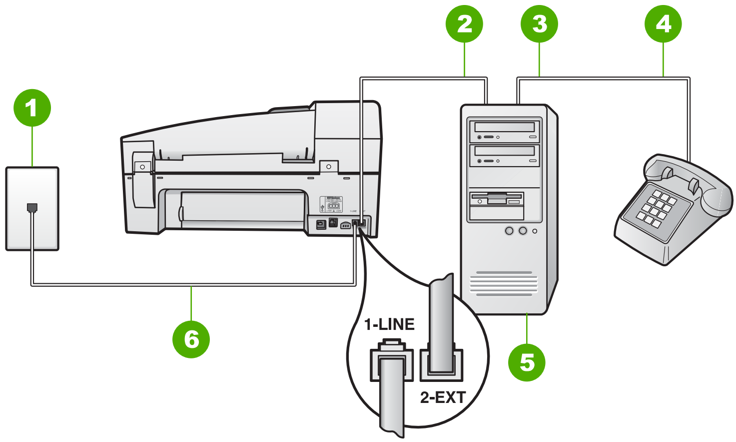
コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。



パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-Oneをセット アップしてください。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の"OUT"ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

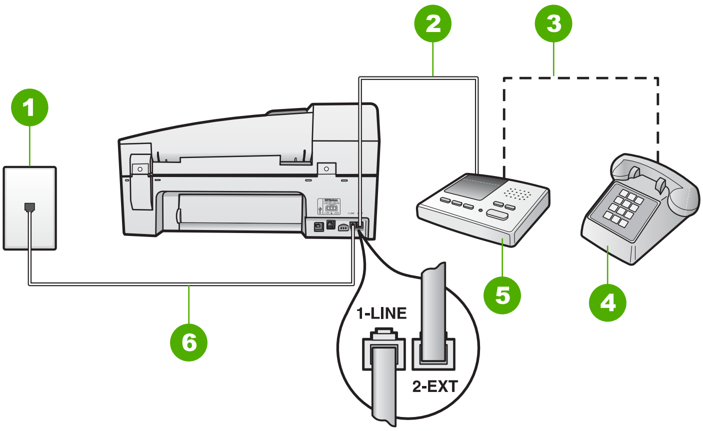
注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. ここで、HP All-in-One でのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   – 着信に **自動** で応答する設定の場合は、HP All-in-One がすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、HP All-in-One は、ファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、HP All-in-One が着信に応答する前に自分で応答する必要があります。HP All-in-One で着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   – ファクスを **手動** で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、HP All-in-One でファクスを受信できません。手動で着信に応答するように HP All-in-One を設定するには、**自動応答** をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

HP All-in-One が着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

ケース I : 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	留守番電話の "IN" ポート
3	留守番電話の "OUT" ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境で HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 HP All-in-One に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

3. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

注記　留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. HP All-in-One の [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

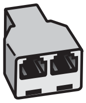
ケース J : 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ ダイヤルアップ モデムおよび留守番電話も接続する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

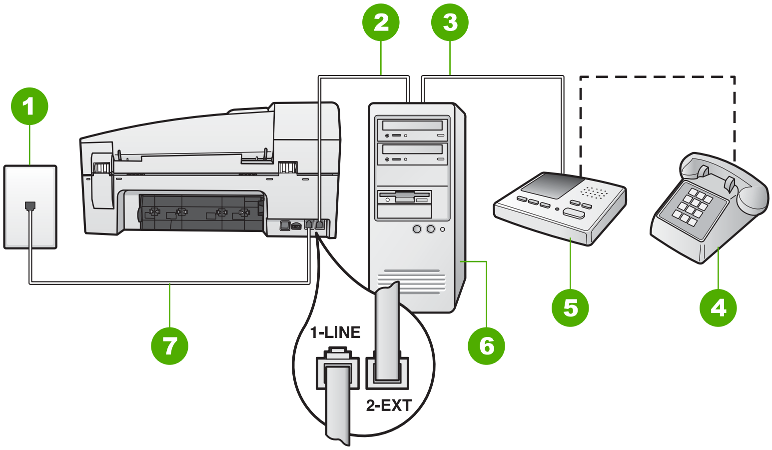
コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One を設定する方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。



パラレル スプリッターの例

- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-Oneをセット アップしてください。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

注記　HP All-in-One に留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、HP All-in-One でファクスを受信できないことがあります。

4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記　付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記　留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方を HP All-in-One に接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入および使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

7. 自動応答 の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. HP All-in-One の [応答呼出し回数] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、HP All-in-One は呼び出し音を監視し、ファクス トーンが鳴らないか聞いています。ファクス受信トーンを検出すると、HP All-in-One はファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、HP All-in-One は回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

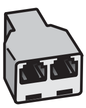
同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のように HP All-in-One を設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP All-in-One と共有しているので、モデムと HP All-in-One の両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、HP All-in-One をファクスには使用できません。

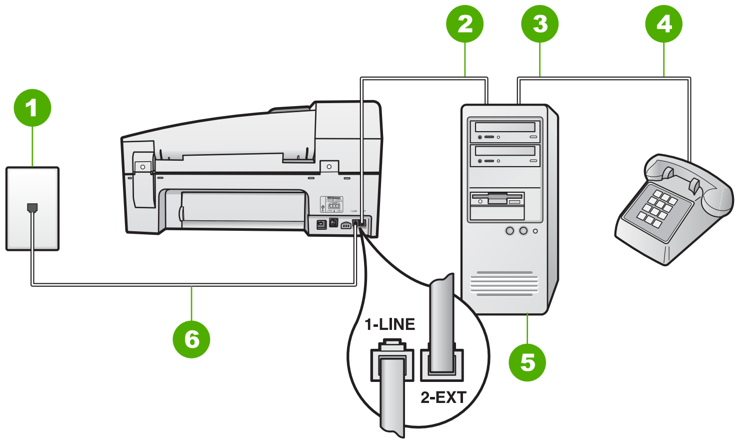
コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP All-in-One をセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

  パラレル スプリッターの例
- コンピュータの電話ポートが 2 つなら、下記の手順で HP All-in-Oneをセット アップしてください。

セットアップの完了



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	コンピュータの "IN" 電話ポート
3	コンピュータの "OUT" 電話ポート
4	電話
5	モデム搭載コンピュータ
6	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上に HP All-in-One をセットアップするには

1. HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラージャックから抜き、HP All-in-One の背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 付属のコードで電話コンセントと HP All-in-One を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

セットアップの完了

注記　モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP All-in-Oneでファクスを受信できなくなります。

6. 自動応答 の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。 そうしないと HP All-in-One でファクスを受信できなくなります。

ファクスを受信するように HP All-in-One の設定を変更

ファクスを正しく受信するためには、HP All-in-One の設定を一部変更する必要があります。特定のファックス オプションに対して選択すべき設定がわからない場合は、前述のファックス セットアップ情報を参照してください。

- 応答モードの設定
- 応答までの呼び出し回数を設定
- 着信識別応答呼出し音のパターンの変更

応答モードの設定

応答モードでは、HP All-in-One が電話の着信に自動で応答するかどうかについての設定を行います。

- HP All-in-One でファクスに**自動的に**応答するには、自動応答 をオンにします。HP All-in-One が、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファクスに**手動で**応答するには、自動応答 をオフにします。受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、HP All-in-One はファクスを受信しません。

応答モードを設定するには

➔ 自動応答 を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
自動応答 ランプが点灯している場合は、HP All-in-One が自動的に応答します。ランプが点灯していない場合は、HP All-in-One は着信への応答を行いません。

応答までの呼び出し回数を設定

自動応答 設定をオンにすると、HP All-in-One が自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[応答呼出し回数] 設定は、特に HP All-in-One と同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。HP All-in-One が応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。 HP All-in-One の応答するまでの呼び出し回数を、留守番電話が応答するまでの回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。 HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。 音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。

コントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**応答呼出し回数**] が続けて選択されます。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、◀ または ▶ を押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK** を押して設定します。

着信識別応答呼出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1 本の電話回線で複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、番号ごとに呼び出し音のパターンが異なります。HP All-in-One が特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線に HP All-in-One を接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。HP All-in-One は、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**全タイプ**] を使用してください。

コントロール パネルで応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. HP All-in-One がファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **5** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**応答呼出し音のパターン**] が続けて選択されます。
4. ▶ を押してオプションを選択し、**OK** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、HP All-in-One は着信に応答して、ファクスを受信します。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストして HP All-in-One の状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。このテストは、HP All-in-One のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードが HP All-in-One に接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出する
- アクティブな電話回線を検出する
- 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとして HP All-in-One から印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

コントロール パネルからファクス機能のセットアップをテストするには

1. 家庭やオフィスなど、お使いになる用途に合わせた指示に従って、HP All-in-One のファクス機能をセットアップします。
2. テストを行う前に、プリント カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **セットアップ** を押します。
4. **6** を押し、もう一度 **6** を押します。
   これで、[ツール] メニューと [ファクス テストを実行] が続けて選択されます。
   HP All-in-One のディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートを確認します。
   – テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
   – テストに失敗した場合は、レポートを参照して問題の解決方法を確認してください。
6. HP All-in-One からファクス レポートを取り出した後、**OK** を押します。
   必要ならば、見つかった問題を解決して、テストを再実行します。

ファクスヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。ここに記

されているとおり、コントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記　一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

コントロール パネルからデフォルトのファクスのヘッダーを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **4** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[**ファクスの基本設定**] と [**ファクスのヘッダー**] が続けて選択されます。
3. 個人または会社名を入力し、次に **OK** をクリックします。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、**OK** を押します。

4 原稿および用紙のセット

HP All-in-One には、A4 またはレター用紙、フォト用紙、OHP フィルム、封筒などのさまざまなサイズと種類の用紙をセットできます。デフォルトでは、HP All-in-One は、給紙トレイの用紙のサイズと種類を自動的に検出し、最高品質の印刷結果が得られるように設定を調整します。

フォト用紙、OHP フィルム、封筒、ラベルなどの特殊用紙を使用する場合、または [**自動**] 設定で高品質の印刷結果が得られない場合は、用紙のサイズと種類を手動で設定できます。

- 原稿のセット
- 印刷およびコピー用紙の選択
- 用紙のセット
- 紙詰まりの防止

原稿のセット

コピー、ファクス、スキャンする原稿は、自動ドキュメント フィーダまたはガラス板にセットします。自動ドキュメントフィーダにセットされた原稿は、HP All-in-One に自動的に給紙されます。

- 自動ドキュメント フィーダに原稿をセット
- ガラス板への原稿のセット

自動ドキュメント フィーダに原稿をセット

原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットすると、単一または複数ページのレター サイズ、A4 サイズの文書 (普通紙で最大 35 ページ)、またはリーガル サイズの文書 (普通紙で最大 20 ページ) をコピー、スキャン、ファクスすることができます。

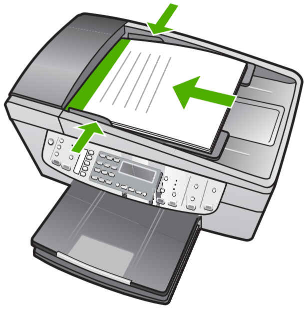
注意 自動ドキュメント フィーダには写真をセットしないでください。写真が破損する恐れがあります。

注記 [**ページに合わせる**] コピーなど、一部の機能は原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると動作しません。原稿はガラス板にセットしてください。

自動ドキュメント フィーダには、最大 35 枚の普通紙をセットできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、ディスプレイに HP All-in-One がセットした用紙を認識したことを示すメッセージが表示されます。



ヒント　原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。



2. 用紙の両端に当たって止まるまで、用紙ガイドをスライドさせます。

注記　HP All-in-One のカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

ガラス板への原稿のセット

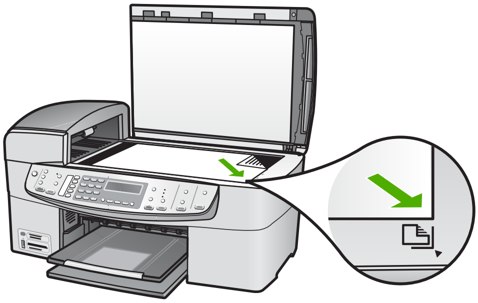
ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター用紙までの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。原稿にリーガル サイズまたは複数の用紙サイズのページがある場合は、自動ドキュメント フィーダにセットしてください。

注記　ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。

ガラス板に原稿をセットするには

1. すべての原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り出してから、HP All-in-One のカバーを持ち上げてください。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント　原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。



3. カバーを閉じます。

印刷およびコピー用紙の選択

HP All-in-One ではさまざまな種類とサイズの用紙を使用することができます。美しく印刷またはコピーできるように、次の推奨事項をお読みください。用紙の種類またはサイズを変更する場合は、必ず設定を変更してください。

- 推奨する印刷およびコピー用紙
- 使ってはいけない用紙

推奨する印刷およびコピー用紙

印刷をより美しく仕上げるには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を使用することをおすすめします。たとえば、写真を印刷するには、給紙トレイに HP プレミアム または HP プレミアム プラス フォト用紙をセットします。

HP 用紙とその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

注記　現時点では、HP Web サイトのこの部分は英語版のみです。

使ってはいけない用紙

薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、表面がつるつるの用紙、伸縮性のある用紙などを使用すると、紙詰まりが起こりやすくなります。表面がでこぼこした用紙やインクをはじく用紙を使用すると、印刷された画像がこすれたりにじんだり、あるいはかすれたりすることがあります。

すべての印刷およびコピー ジョブで使ってはいけない用紙

- 本『ユーザー ガイド』の技術仕様の章に記載されたサイズ以外のすべての用紙。
- 切り抜きやミシン目のある用紙 (HP インクジェット デバイスで使用できるように設計されている場合を除く)。
- リネンなど、肌触りの粗い紙。 均等に印刷されないこともあり、用紙の上にインクがにじむこともあります。
- HP All-in-One で使用するようデザインされていない、極端になめらかな用紙や光沢のある用紙、あるいは極端なコーティングがされている用紙。 HP All-in-One に紙詰まりが起きたり、インクが定着しないことがあります。
- 複写用紙 (2 枚重ねあるいは 3 枚重ねの複写用紙など)。 しわ、紙詰まり、インク汚れなどの原因になります。
- 留め具付きの封筒や窓付き封筒。 ローラーに引っかかって紙詰まりの原因となる場合があります。
- バナー用紙。

コピーで使ってはいけないその他の用紙

- 封筒。
- プレミアム OHP フィルムまたはプレミアム プラス インクジェット OHP フィルム以外の OHP フィルム。
- アイロンプリント紙。
- グリーティングカード用紙。

用紙のセット

このセクションでは、コピー、印刷、ファクスに使用するさまざまな種類およびサイズの用紙を HP All-in-One にセットする手順を説明します。

ヒント 破れ、しわ、波打ち、折れ曲がりを防ぐには、用紙をジッパー付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。正しく保管していないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙がそり返り、HP All-in-One で利用できなくなる場合があります。

- フルサイズ用紙のセット
- 10 x 15 cm (4 x 6 インチ) フォト用紙のセット
- インデックス カードのセット
- 封筒のセット
- その他の用紙のセット

フルサイズ用紙のセット

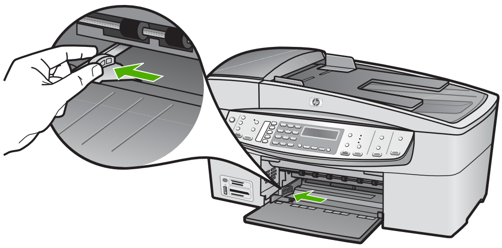
HP All-in-One の給紙トレイには、A4 サイズ、レター サイズ、リーガル サイズなど、さまざまな種類の用紙をセットできます。

フルサイズの用紙をセットするには

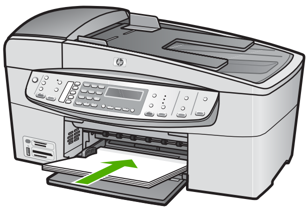
1. 排紙トレイを取り外します。



2. 横方向用紙ガイドを一番外側の位置までスライドさせます。



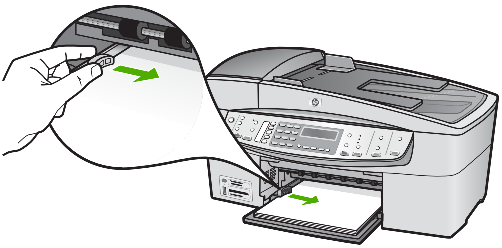
3. 平らな面で用紙の端を揃え、次の点を確認します。
   – 用紙に破れ、ほこり、しわ、端の折れや波打ちがないこと
   – セットするすべての用紙が同じサイズ、同じ種類であること
4. 印刷面を下にして、用紙の短辺を給紙トレイに挿入します。用紙の束の先端が止まるまで奥に差し込んでください。



注意　給紙トレイに用紙をセットするときは、HP All-in-One が停止し、静かになっていることを確認してください。HP All-in-One がプリント カートリッジをクリーニングしていたり、その他のタスクを実行していると、用紙が途中で止まり、正しく装着されない場合があります。用紙を手動で押し込むと、HP All-in-One から空白のページが排紙されます。

ヒント　レター ヘッドを使用する場合は、ページの上側から先に入れ、印刷面を下にしてください。フルサイズ用紙およびレター ヘッドのセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

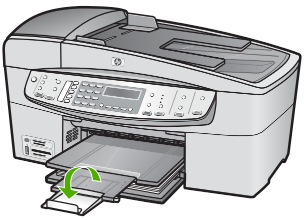
5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



6. 排紙トレイを元に戻します。



7. 延長排紙トレイを手前に跳ね上げます。



注記 リーガル サイズの用紙を使用する場合は、用紙補助トレイを閉じておいてください。

10 x 15 cm (4 x 6 インチ) フォト用紙のセット

10 x 15 cm のフォト用紙を HP All-in-One の給紙トレイにセットできます。より美しく仕上げるために、10 x 15 cmのプレミアム フォト用紙またはプレミアム プラス フォト用紙を使用してください。

ヒント 破れ、しわ、波打ち、折れ曲がりを防ぐには、用紙をジッパー付きの袋に入れ、平らな状態で保管してください。正しく保管して

いないと、温度や湿度の急激な変化によって用紙がそり返り、HP All-in-One で利用できなくなる場合があります。

印刷を美しく仕上げるためには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。

10 x 15 cm フォト用紙を給紙トレイにセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. フォト用紙の短辺を奥にし、印刷面を下にして給紙トレイの右端に挿入します。フォト用紙の先端が止まるまで奥に差し込んでください。
   タブが手前になるようにフォト用紙をセットします。

   ヒント　小さいフォト用紙のセットについては、給紙トレイの底面にあるフォト用紙セット用のガイドを参照してください。

4. 横方向用紙ガイドを、フォト用紙に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。用紙の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5. 排紙トレイを元に戻します。

インデックス カードのセット

HP All-in-One の給紙トレイにインデックス カードをセットし、メモやレシピーなどを印刷することもできます。

印刷を美しく仕上げるためには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。

給紙トレイにインデックス カードをセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 印刷面を下に、給紙トレイの右端に寄せてカードの束を装着します。カードの束を奥まで差し込んでください。
4. 横方向用紙ガイドを、カードに当たって止まるまでスライドさせます。

給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。カードの束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5. 排紙トレイを元に戻します。

封筒のセット

HP All-in-One の給紙トレイには、複数の封筒をセットすることができます。光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

注記　封筒に印刷するための書式設定については、お使いのワープロソフトのヘルプ ファイルを参照してください。より美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をお勧めします。

封筒をセットするには

1. 排紙トレイを取り外します。
2. 給紙トレイから用紙をすべて取り出します。
3. 給紙トレイの右端に封筒を入れ、封筒のふたを上に向け、ふた側を左側にしてセットします。封筒の束を奥まで差し込んでください。

   ヒント　封筒のセット方法については、給紙トレイの底面にある図を参照してください。

4. 横方向用紙ガイドを、封筒に当たって止まるまでスライドさせます。
   給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。封筒の束がきちんと給紙トレイの中に収まり、横方向用紙ガイドの上端より低いことを確認してください。



5. 排紙トレイを元に戻します。

その他の用紙のセット

以下の用紙を正しくセットするには、特別な注意が必要です。

注記 用紙の種類とサイズによっては、HP All-in-One の一部の機能が対応していない場合があります。ソフトウェア アプリケーションの **[印刷]** ダイアログ ボックスから、印刷を実行する場合にのみ使用できる用紙の種類やサイズもあり、この設定は、コピーとファクスの際には使用できません。ソフトウェア アプリケーションからの印刷のみに対応する用紙は、注記が付けられています。

HP プレミアム インクジェット OHP フィルム および HP プレミアム プラス インクジェット OHP フィルム

➔ (矢印と HP のロゴが表示されている) OHP フィルムの白いストリップが上になるように、ストリップ側から先に給紙トレイにフィルムを挿入します。

注記 HP All-in-One は用紙のサイズや種類を自動的に検出することはできません。より美しく仕上げるためには、OHP フィルに印刷またはコピーする前に、用紙の種類を OHP フィルムに設定してください。

HP アイロン プリント紙 (印刷のみ)

1. アイロン プリント紙を使用する前に用紙を平らにします。カールしたアイロンプリント紙はセットしないでください。

   ヒント アイロン プリント紙がカールするのを防ぐには、使う直前までアイロン プリント紙を購入時のパッケージに入れて封をしたままにしておきます。

2. 用紙の非印刷面に青い線があります。その線がある面を上にして、1 回に 1 枚ずつアイロン プリント紙を手動で給紙トレイに挿入します。

HP グリーティング カード、HP フォト グリーティング カード、HP テクスチャ グリーティング カード (印刷のみ)

➔ 印刷面を下にして、HP グリーティング カード用紙の束を給紙トレイに挿入します。カードの先端が止まるまで奥に入れてください。

ヒント 印刷する領域の先頭を先に、印刷面を下にして、給紙トレイに差し込んでください。

HP インクジェット ラベル (印刷のみ)

1. HP インクジェット プリンタで使用できるように設計されている A4 サイズまたはレター サイズのラベル紙 (HP インクジェット ラベル紙など) で、製造日から 2 年以内のものを使用してください。古いシートのラベ

ルは HP All-in-One から排出されるまでに剥がれ落ちて、紙詰まりの原因となることがあります。
2. 束を扇形に広げて、シートどうしがくっつかないようにします。
3. まずフルサイズの普通紙を給紙トレイにセットし、その上に印刷面を下にしたラベル シートの束をセットします。ラベルを 1 シートずつセットすることはしないでください。

印刷を美しく仕上げるためには、コピーまたは印刷する前に用紙の種類と用紙サイズを設定してください。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。 給紙トレイにセットした用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。 横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。詳細については、印刷およびコピー用紙の選択を参照してください。
- ガラス板に原稿をセットしたままにしないでください。 ガラス板の上に原稿があるときに原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると、自動ドキュメント フィーダの中で原稿が詰まることがあります。

5 コンピュータからの印刷

HP All-in-One は印刷が可能であれば、どのソフトウェアからでも使用できます。フチ無し印刷、ニュース レター、グリーティング カード、アイロン プリント紙、ポスターなどのさまざまな用途の印刷に対応しています。

- ソフトウェア アプリケーションからの印刷
- 印刷設定の変更
- 印刷ジョブの中止

ソフトウェア アプリケーションからの印刷

ほとんどの印刷設定は、印刷元のソフトウェア アプリケーションか HP ColorSmart テクノロジによって自動的に処理されます。印刷品質の変更、特定の種類の用紙やフィルムへの印刷、特殊機能の使用の場合にのみ、手動で設定を変更する必要があります。

ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Windows)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
4. 設定を変更する必要がある場合は、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、 **[プリファレンス]** などの名前になっています。
5. **[詳細設定]**、**[用紙/品質]**、**[効果]**、**[レイアウト]**、**[カラー]** タブで、印刷ジョブのための適切なオプションを選択します。
6. **[OK]** をクリックして、**[プロパティ]** ダイアログ ボックスを閉じます。
7. 印刷を開始するには、**[印刷]** または **[OK]** をクリックします。

ソフトウェア アプリケーションから印刷するには (Mac)

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[ページ設定]** をクリックします。
3. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。

4. ページ属性を指定します。
   – 用紙のサイズを選択します。
   – 用紙の方向を選択します。
   – 拡大/縮小の比率を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。
6. ご使用のソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[プリント]** を選択します。
   [プリント] ダイアログ ボックスが表示され、**[印刷部数と印刷ページ]** パネルが開きます。
7. 印刷するプロジェクトに合わせて、ポップアップ メニューでそれぞれのオプションの印刷設定を変更します。
8. 印刷を開始するには、**[印刷]** をクリックします。

印刷設定の変更

HP All-in-One の印刷設定をカスタマイズして、さまざまな印刷タスクを行うことができます。

Windows ユーザー

印刷設定を変更する前に、現在の印刷ジョブの設定のみを変更するのか、その設定をこれ以後のすべての印刷ジョブのデフォルトに設定するのか決める必要があります。印刷設定の表示方法は、変更をこれ以後のすべての印刷ジョブに適用するのか、現在の印刷ジョブにだけ適用するのかによって異なります。

今後すべての印刷ジョブに適用される設定の変更

1. **[HP ソリューション センター]**で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** を選択して、**[プリンタ設定]** をクリックします。
2. 印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

現在のジョブの印刷設定を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[印刷]** をクリックします。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. **[プロパティ]** ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
   ソフトウェアによって、このボタンは **[プロパティ]**、**[オプション]**、**[プリンタ設定]**、**[プリンタ]**、 **[プリファレンス]** などの名前になっています。
4. 印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. 印刷するには、**[印刷]** ダイアログ ボックスで **[印刷]** または **[OK]** をクリックします。

Mac ユーザー

印刷ジョブの設定を変更するには、**[ページ設定]** と **[プリント]** ダイアログ ボックスを使用します。 使用するダイアログ ボックスは、設定の変更によります。

用紙のサイズ、方向、倍率 (%) を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションの **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** を選択します。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. 用紙のサイズ、方向、倍率 (%) の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。

その他のすべての印刷設定を変更するには

1. お使いのソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックします。
2. HP All-in-One が使用するプリンタとして選択されていることを確認します。
3. 印刷設定を変更し、**[プリント]** をクリックしてジョブを印刷します。

印刷ジョブの中止

印刷ジョブを中止する場合は、HP All-in-One とコンピュータの両方から操作できますが、HP All-in-One から中止することをお勧めします。

HP All-in-One から印刷ジョブを中止するには

➔ コントロール パネルの **キャンセル** を押します。印刷ジョブが停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
印刷のキャンセルにはしばらく時間がかかることがあります。

6 ファクス機能の使用

HP All-in-One を使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。よく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信するには、短縮ダイヤル番号を設定できます。コントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さ/濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

注記 ファクス機能を使用する前に、HP All-in-One のファクス機能を正しく設定しておいてください。初期セットアップで、コントロール パネルまたは HP All-in-One 付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。

ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、コントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行して確かめることができます。このテストは、セットアップ メニューからアクセスできます。

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。コントロール パネルを使用すれば、HP All-in-One からモノクロまたはカラーでファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

基本的なファクスの送信

ここで説明するように、1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤ

ル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。

コントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記 複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 ([**-**]) が表示されるまで、**記号 (*)** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると**、HP All-in-One は入力した番号にドキュメントを送信します。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できないと**、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿が印刷面を下にしてガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

電話からのファクスの手動送信

電話のダイヤル ボタンのほうが HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドよりもダイヤルしやすい場合など、HP All-in-One と同一電話回線上の電話からファクスを送信することができます。このようなファクスの送信方法は、手動でのファクス送信と呼びます。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。ファクス機が応答した場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話から手動でファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。

   注記 ガラス板に原稿をセットした場合、この機能は使用できません。原稿はドキュメント フィーダ トレイにセットしてください。

2. HP All-in-One に接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファクスを送信するときは、HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 画面の指示に従い、**1** を押して [ファクス送信] を選択し、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** をもう一度押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機のスタートボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、コントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。ファクスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が HP All-in-One のスピーカーから聞こえます。これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ヒント コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、HP All-in-One からファクス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記　音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

コントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 ファクスを 1 枚のみ送信する場合は、ガラス板に印刷面を下にしてセットし、送信することもできます。

   注記　複数のページをファクスする場合は、送信する原稿をドキュメント フィーダ トレイにセットします。ガラス板から複数ページの原稿をファクス送信することはできません。

2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出する**と、ダイヤル トーンが聞こえます。
   – **装置が自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出できない**と、[**ガラス板からファクス送信?**] メッセージが表示されます。原稿がガラス板にセットされていることを確認し、**1** を押して [**はい**] を選択します。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、コントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント　コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して **短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタンを押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

ファクスの受信

HP All-in-One は、自動でも、手動でもファクスを受信できます。**自動応答** オプションをオフにした場合は、手動でファクスを受信する必要があります。**自動応答** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、HP All-in-One は [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出し回数の後、自動的に着信に応答し、ファクスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP All-in-One の 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、HP All-in-One に直接接続されていない電話

HP All-in-One でリーガル サイズの用紙が設定ていないときに、リーガル サイズのファクスを受信すると、HP All-in-One にセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。[自動縮小] 機能を無効に設定している場合、HP All-in-One はファクスを 2 ページに印刷します。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクス受信のセットアップ
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷

注記 写真を印刷できるようフォト プリント カートリッジをセットしている場合、ファクスを受信するときはモノクロ プリント カートリッジに交換するとよいでしょう。

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。これをファクスの手動受信と呼びます。このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- HP All-in-One の 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、HP All-in-One に直接接続されていない電話

注記 シリアル タイプの電話方式を使用する国または地域の場合、HP All-in-One 付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。これにより、別の通信装置を壁側のモジュラー ジャックに接続して、HP All-in-One を差し込むことができます。

ファクスを手動で受信するには

1. HP All-in-One の電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。
3. HP All-in-One が応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、[応答呼出し回数] を多めに設定します。 または、自動応答 の設定をオフにし、HP All-in-One が自動的に受信ファクスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で [スタート] を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. HP All-in-One のコントロール パネルにある **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   b. 画面の指示に従って、**2** を押し、[ファクス受信] を選択します。
   c. HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、通話を続けることもできます。 ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

HP All-in-One が遠くにありコントロール パネルに手が届かない場合は、数秒後に、電話で **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まらない場合は、さらに数秒間待って、再び **1 2 3** と押します。HP All-in-One のファクス受信が始まったら、受話器を置いてください。

バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、HP All-in-One が受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。 [**バックアップ ファクス受信**] が [**オン**] の場合、HP All-in-One は受信したファクスをすべてメモリに保存します。 こうしておけば、メモリに保存されている最近印刷したファクスを再印刷することができます。 注記 1　メモリが少なくなると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。メモリが印刷されていないファクスでいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。 注記 2　きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	HP All-in-One は、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファクスをメモリに保存します。 HP All-in-One はメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファクスはメモリにまったく保存されません (セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにした場合など)。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、HP All-in-One は着信ファクスに応答しなくなります。

注記　[**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態で HP All-in-One の電源をオフにすると、HP All-in-One のエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。このような場合、印刷していないファクスをもう一度送っても

らうように送信者に依頼してください。受信したファクス一覧を見るには、[ファクス ログ]を印刷します。HP All-in-One の電源がオフになっても[ファクス ログ]は削除されません。

コントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、もう一度 **5** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**バックアップ ファクス受信**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK** を押します。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、HP All-in-One は、デバイスにエラーがあるかないかに関係なく、受信したファクスをメモリに保存します。

注記 メモリがいっぱいになると、HP All-in-One は新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。保存されたファクスがどれも印刷されていない場合、HP All-in-One は、ファクスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファクス受信に応答しません。セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

コントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **5** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**メモリ内のファクスを再印刷**] が続けて選択されます。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

コントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

➔ **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
HP All-in-One の電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

注記　メモリに保存されているファクスを削除するには、[ツール] メニューから [ファクス ログの消去] を選択します。これを行うには、セットアップ を押し、6 を押して、次に 7 を押します。

レポートの印刷

ファクスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、HP All-in-One を設定できます。システム レポートを必要なときだけ手動で印刷することもできます。これらのレポートには、HP All-in-One に関する重要なシステム情報が記載されています。

デフォルトの設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、HP All-in-One でレポートが印刷されます。送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがディスプレイに表示されます。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。[送信] または [送受信] を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、[オフ] です。この設定では、ファクスの送受信ごとに確認レポートは印刷されずに、送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがディスプレイに表示されます。

コントロール パネルからファクス送受信の確認を有効にするには

1. セットアップ を押します。
2. 2 を押し、次に 2 を押します。
   これで、[レポートの印刷] と [ファクス送信レポートの画像] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、OK を押します。

ファクス

[オフ]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。これがデフォルト設定です。
[送信]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[受信]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[送受信]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

ヒント [送信] または [送受信] を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を [ファクス送信の確認] レポートに含めることができます。セットアップ を押し、**2** を押して、次にもう一度 **2** を押します。[ファクス送信レポートの画像] メニューから [オン] を選択します。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するように HP All-in-One を設定できます。

ファクス エラー レポートを自動的に印刷するように HP All-in-One を設定するには

1. セットアップ を押します。
2. **2** を押し、次に **3** を押します。
   これで、[レポートの印刷] と [ファクス エラー レポート] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK** を押します。

[送受信]	各種ファクス エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。これがデフォルト設定です。
[オフ]	ファクス エラー レポートは印刷されません。
[送信]	送信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。
[受信]	受信エラーが発生するたびにレポートが印刷されます。

ファクスの中止

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。

コントロール パネルからファクスの送受信を中止するには

➔ 送受信しているファクスを中止するには、コントロール パネルで **キャンセル** を押します。ファクスの送受信が停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
HP All-in-One は、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

➔ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

7　コピー機能の使用

HP All-in-One を使用すると、高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、OHP フィルムを含め、さまざまな種類の用紙に作成できます。原稿のサイズを特定の用紙サイズに合わせて拡大/縮小したり、コピーの濃淡を調整したり、特別なコピー機能を使用してフチ無しコピーなど、写真の高品質コピーを作成したりすることもできます。

ヒント　通常のコピー作業でコピーを早く仕上げるには、用紙のサイズを [**レター**] または [**A4**]、用紙の種類を [**普通紙**]、コピー品質を [**はやい**] に設定します。

- コピーの作成
- コピー設定の変更
- 10 x 15 cm (4 x 6 インチ)用紙への写真のフチ無しコピー
- コピーの中止

コピーの作成

コントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。ドキュメント フィーダ トレイに複数ページの原稿をセットします。

コントロール パネルからコピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
   ドキュメント フィーダ トレイを使用する場合は、文書の先頭が最初になるようにページを置きます。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   – モノクロ コピーを行うには、**コピー スタート - モノクロ** を押します。
   – カラー コピーを行うには、**コピー スタート - カラー** を押します。

   注記　カラー原稿の場合は、**コピー スタート - モノクロ** を押すとモノクロ コピーになり、**コピー スタート - カラー** を押すとフルカラー コピーになります。

コピー設定の変更

HP All-in-One のコピー設定をカスタマイズすれば、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

現在のジョブのコピー設定のみを変更するには

1. コピー 領域で、**メニュー** を何度か押して、適切なオプションを表示します。次のオプションを選択できます。
   – [**コピー枚数**]
   – [**コピー用紙サイズ**]
   – [**用紙の種類**]
   – [**薄く/濃く**]
   – [**強調**]
   – [**新しいデフォルトの設定**]
2. 目的の設定が表示されるまで、▶ を押します。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   – 設定を変更する場合は、**メニュー** を押します。
   これにより、現在の設定が選択され、次のオプションが表示されます。
   – コピー ジョブを開始する場合は、**コピー スタート - カラー** または **コピー スタート - モノクロ** を押します。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

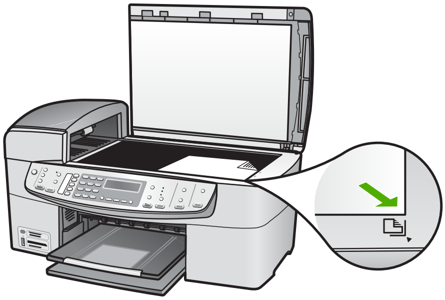
1. [**コピーメニュー**] の設定値は必要に応じて変更することができます。
2. コピー 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**新しいデフォルトの設定**] を表示します。
3. [**はい**] が表示されるまで ▶ を押し続け、**OK** を押します。

10 x 15 cm (4 x 6 インチ)用紙への写真のフチ無しコピー

高画質で写真をコピーするときは、給紙トレイにフォト用紙をセットします。次に、コピー設定を適切な用紙の種類および写真の強調に変更します。また、フォト プリント カートリッジを使用すると、さらに印刷品質を高めることができます。カラー プリント カートリッジとフォト プリント カートリッジをセットすることで、6 色インク システムが実現します。

コントロール パネルから写真をフチ無しコピーするには

1. 10 x 15 cm のフォト用紙を給紙トレイにセットします。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて写真をセットします。
   ガラス板の端に示されているガイドに従って、写真の長い辺をガラス板の底辺に合わせます。



3. コピー スタート - モノクロ または コピー スタート - カラー を押します。
   HP All-in-One で、写真原稿が 10 x 15 cm の用紙にフチ無しコピーされます。

   注記 インクが完全に乾いてから、写真のコピーのつまみを取り除いてください。

コピーの中止

コピーを中止するには

➔ コントロール パネルの キャンセル を押します。

コピー

8 スキャン機能の使用

スキャンとは、コンピュータで使用できるように、文字や写真を電子的な形式に変換するプロセスのことです。 HP All-in-One のガラス面に傷をつけないように注意すれば、写真、雑誌記事、書類など、さまざまなものをスキャンできます。

HP All-in-One のスキャン機能を使用すると、次のようなことが可能です。

- 記事からテキストをワード プロセッサにスキャンして記事の内容をレポートに取り込む。
- ロゴをスキャンし、パブリッシング ソフトウェアで使用して、名刺やカタログを印刷する。
- お気に入りの写真をスキャンして E メールに添付し、友人や家族に送信する。
- 自宅やオフィスのデータをアルバムのように記録する。
- 大切な写真を電子スクラップブックとして保存する。

画像のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、HP All-in-One からでも行うことができます。このセクションでは、HP All-in-One のコントロール パネルによるスキャン方法についてのみ説明します。

スキャン機能を使用するには、HP All-in-One とコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行する前にコンピュータに HP Photosmart Software (Windows) または HP Photosmart Mac Software (Mac) をインストールし、実行しておく必要もあります。

- Windows コンピュータで、Windows システム トレイ (画面右下の時刻の横) の **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンを探して、ソフトウェアが動作していることを確認します。

  注記 Windows システム トレイにある **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンを閉じると、HP All-in-One からスキャン機能の一部が失われ、[接続なし] エラー メッセージが表示されます。このエラー メッセージが表示された場合は、コンピュータを再起動するか、または HP Photosmart ソフトウェアを起動すると、機能を完全に回復させることができます。

- Macintosh の場合、 ソフトウェアは常に動作しています。

ヒント HP Photosmart Software (Windows) または HP Photosmart Mac Software (Mac) を使用して、パノラマ画像などの画像をスキャン

します。このソフトウェアを使用すると、スキャンされた画像を編集および印刷するだけでなく、共有することもできます。詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コンピュータにスキャンするには

1. ガラス板の右下隅に合わせて原稿の印刷面を下にして、またはドキュメント フィーダ トレイに原稿の印刷面を上にして置きます。
2. **スキャンの送信先** を押します。
   – HP All-in-One が USB ケーブルでコンピュータに直接接続されている場合は、ディスプレイにソフトウェア アプリケーションを含む送信先一覧が表示されます。ステップ 4 に進んでください。
   – HP All-in-One がネットワーク接続されている場合は、ディスプレイに [スキャン メニュー] が表示されます。次のステップに進んでください。
3. HP All-in-One がネットワーク上の 1 つまたは複数のコンピュータに接続されている場合は、次の操作を行います。
   a. **OK** を押して [コンピュータの選択] を選択します。
   HP All-in-One に接続されているコンピュータの一覧がディスプレイに表示されます。

   注記 USB 接続されているコンピュータ、およびネットワーク接続されているコンピュータが [コンピュータの選択] メニューに一覧表示されます。

   b. **OK** を押してデフォルトのコンピュータを選択するか、▶ を押して別のコンピュータを選択し、**OK** を押します。
   [スキャンの送信先] メニューがディスプレイに表示され、選択したコンピュータのアプリケーション一覧が表示されます。
4. **OK** を押してスキャン画像を受信するデフォルトのアプリケーションを選択するか、▶ を押して別のアプリケーションを選択し、**OK** を押します。
   スキャンのプレビュー画像がコンピュータに表示され、そこで画像を編集することができます。
5. プレビュー画像に必要な編集を加え、作業が終了したら **[受け付ける]** をクリックします。
   スキャン画像が HP All-in-One から選択したアプリケーションに送信されます。

スキャンの中止

スキャンを中止するには

➔ コントロール パネルの **キャンセル** を押します。

9 写真およびビデオ機能の使用

HP All-in-One はメモリ カードやストレージ デバイスにアクセスし、これらに保存されている写真を印刷、保存、管理、共有することができます。
HP All-in-One にメモリカードを差し込んだり、前面の USB ポートにストレージ デバイス (USB キーチェーン ドライブなど) やデジタル カメラを接続することで、HP All-in-One はこれらに記録されているデータを読み取ります。 PictBridge モード対応デジタル カメラをプリンタ前面の USB ポートに接続して、カメラから直接写真を印刷することもできます。

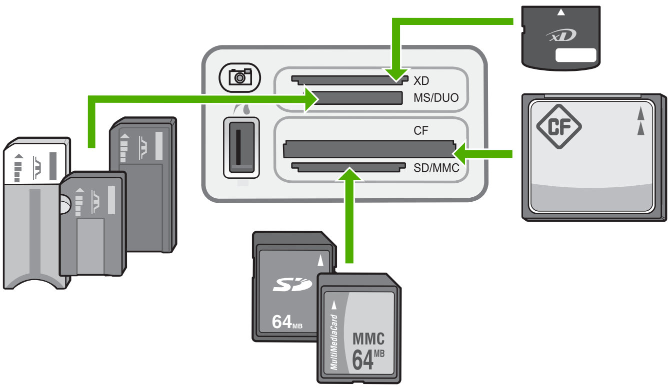
- メモリ カードの挿入
- デジタル カメラの接続
- ストレージ デバイスの接続
- 印刷用に写真とビデオを選択
- 選択した写真とビデオの印刷
- フォト シートを使用した写真の印刷

メモリ カードの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、そのメモリ カードを HP All-in-One に挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

注意 アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。また、複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。メモリカード内のファイルが損傷します。

HP All-in-One では、以下のメモリカードをサポートしています。各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。



- **一番上のスロット**: xD-Picture カード
- **上から 2 段目のスロット**: Memory Stick、Magic Gate Memory Stick、Memory Stick Duo (専用アダプタが必要です)、Memory Stick Pro
- **上から 3 段目のスロット**: CompactFlash (I、II)
- **一番下のスロット**: Secure Digital、MultiMediaCard (MMC)、 Secure MultiMedia Card

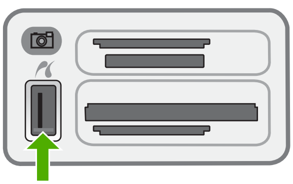
メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが上、接点が HP All-in-One 側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

デジタル カメラの接続

HP All-in-One は PictBridge モードをサポートしています。このモードでは、PictBridge 対応のデジタル カメラを前面の USB ポートに接続すると、カメラのメモリ カードに記録されている写真を印刷することができます。 お使いのカメラの PictBridge の対応状況については、カメラに付属のマニュアルをご覧ください。

前面の USB ポートはメモリ カード スロットの横にあります。



お使いのカメラが PictBridge モードに設定されていなかったり、PictBridge をサポートしなくても、カメラをストレージ デバイス モードで使用すれば、カメラに記録されている写真にアクセスできます。

PictBridge モードのカメラを HP All-in-One に正しく接続したら、写真を印刷することができます。 HP All-in-One にセットされている用紙のサイズが、カメラの設定と一致していることを確認します。 カメラの用紙サイズ設定がデフォルトに設定されている場合、HP All-in-One では給紙トレイに現在セットされている用紙が使用されます。 PictBridge を使用してカメラから直接印刷する方法の詳細については、カメラに付属するユーザー ガイドを参照してください。

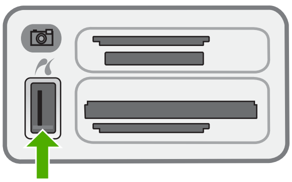
PictBridge 対応のデジタル カメラから写真を印刷するには

1. カメラに付属する USB ケーブルを使用して、HP All-in-One 前面の USB ポートにカメラを接続します。
2. カメラの電源をオンにして、PictBridge モードになっていることを確認します。

注記 USB モードを PictBridge モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 PictBridge モードの説明には、カメラによって異なる用語が用いられています。 例えば、一部のカメラには **デジタル カメラ** の設定と **ディスク ドライブ** 設定があります。 このような場合、**デジタル カメラ** の設定が PictBridge モードの設定になります。

ストレージ デバイスの接続

ストレージ モードに設定したキーチェーン ドライブ、ポータブル ハード ドライブ、デジタル カメラなどのストレージ デバイスは HP All-in-One の USB ポートに接続できます。前面の USB ポートはメモリ カード スロットの横にあります。



注記 ストレージ モードに設定されたデジタル カメラは、前面の USB ポートに接続できます。HP All-in-One はこのモードのカメラを通常のストレージ デバイスとして認識します。このセクションでは、ストレージ モードのデジタル カメラをストレージ デバイスと呼びます。

USB モードをストレージ モードに変更する方法を確認するには、カメラのマニュアルを参照してください。 ストレージ モードを表すには、カメラによってさまざまな用語が用いられています。 例えば、一部のカメラには **デジタル カメラ** 設定と **ディスク ドライブ** 設定がありま

す。 このような場合、**ディスク ドライブ** 設定がストレージ モード設定になります。 カメラのストレージ モードが機能しない場合、カメラのファームウェアをアップグレードする必要があります。詳細については、カメラ付属のマニュアルを参照してください。

ストレージ デバイスを接続したら、ストレージ デバイスに保存されたファイルを使って以下のことが行えます。

- コンピュータにファイルを転送する
- 写真を表示する
- コントロール パネルを使用して写真とビデオを編集する
- HP All-in-One で写真をプリントする
- お友達や家族に写真やビデオを送る

注意 アクセス中はストレージ デバイスの接続を絶対に切断しないでください。 切断してしまうとストレージ デバイスのファイルが損傷するおそれがあります。メモリ カード スロットの横のステータス ランプが点滅していないときだけ、ストレージ デバイスを安全に取り外すことができます。

印刷用に写真とビデオを選択

HP All-in-One のコントロール パネルを使用して、印刷用に写真とビデオを選択できます。

写真とビデオを 1 つずつ選択するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. フォト 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**写真の選択**] を表示します。
3. ▶ を押して [**カスタム**] を選択し、**OK** を押します。
4. ◀ または ▶ を押して、選択したい写真またはビデオ ファイルまで移動します。

   注記 HP All-in-One のコントロール パネルでは、JPEG、TIFF、MPEG-1、AVI、および Quicktime の画像ファイルにしかアクセスできません。その他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリカードまたはストレージ デバイスからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart Software を使用します。

   ヒント ◀ または ▶ を押したままにすると、すべての写真とビデオをすばやく確認することができます。

5. **OK** を押して、ディスプレイに現在表示されている写真またはビデオを選択します。

選択した写真またはビデオの横には、チェック マークがつきます。
6. 上の手順を繰り返して、必要な写真またはビデオをすべて選択します。

写真とビデオを選択解除するには

➔ 次のいずれかの操作を行います。
   – **OK** を押して、ディスプレイに現在選択されている写真またはビデオの選択を解除します。
   – すべての写真とビデオを選択解除して、何もない画面に戻るには、**キャンセル** を押します。

選択した写真とビデオの印刷

フォト シートを使用しないで、コントロール パネルから直接写真やビデオフレームを印刷することができます。

注記　ビデオ ファイルを選択した場合は、ビデオの最初のフレームだけが印刷されます。

選択した写真とビデオを印刷するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. フォト 領域で、**メニュー** を繰り返し押して、[**写真の選択**] を表示します。
3. ▶ を押して [**カスタム**] を選択し、**OK** を押します。
4. ◀ または ▶ を押すと、次の写真を表示するか前の写真に戻ります。写真は 1 枚ずつ表示されます。 ◀ または ▶ を押し続けると、さらに早く写真を表示できます。

   注記　HP All-in-One のコントロール パネルでは、JPEG、TIFF、MPEG-1、AVI、および Quicktime の画像ファイルにしかアクセスできません。その他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリカードまたはストレージ デバイスからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart Software を使用します。

5. 印刷する写真が表示されたら、**OK** を押します。選択した写真の横には、チェック マークがつきます。
6. フォト 領域で **メニュー** を押して、必要な写真の印刷オプションを変更します。
7. フォト 領域で **フォト プリント** を押して、選択した写真を印刷します。

フォト シートを使用した写真の印刷

フォト シートを使うと、コンピュータを使わずに直接メモリ カードやストレージ デバイスから写真を選択して印刷を行うことができて便利です。 フォト シートにはメモリ カードに保存されている写真のサムネイル ビューが表示さ

れ、長さは数ページになることもあります。 各サムネイルにはファイル名、インデックス番号、日付が表示されています。 フォト シートは、写真の簡単なカタログ作成にも利用できます。



注記 1　PictBridge モードではフォト シートを印刷できません。 印刷するには、カメラをストレージ モードに設定しておく必要があります。

注記 2　HP All-in-One のコントロール パネルでは、JPEG、TIFF、MPEG-1、AVI、および Quicktime の画像ファイルにしかアクセスできません。その他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリカードまたはストレージ デバイスからお使いのコンピュータに転送して HP Photosmart Software を使用します。

フォト シートから写真を印刷するためには、以下に詳しく説明する手順で作業する必要があります。

- メモリカードまたはストレージ デバイスの画像のフォト シートを印刷
- フォト シートを記入
- フォト シートをスキャン

フォト シートを印刷するには

1. メモリ カードを HP All-in-One の適切なスロットに挿入するか、またはストレージ デバイスを前面の USB ポートに接続します。
2. フォト 領域で、**フォト シート** を押し、**OK** を押します。
   これで、[**フォトシート メニュー**] と [**フォトシートの印刷**] が続けて選択されます。

注記　メモリ カード内の写真枚数によって、フォト シートの印刷にかかる時間は異なります。

3. 20 枚以上の写真がカードに入っている場合は、[写真の選択] メニューが表示されます。▶ を押し、以下のいずれかの設定を選択します。
   – [すべて]
   – [カスタム]
   ビデオを選択した場合、ビデオの最初のフレームだけがフォト シートに印刷されます。
4. [カスタム] を選択した場合は、最初の写真の番号が表示されるまで ◀ または ▶ を押して、次に **OK** を押します。

   注記　戻る記号の ◀ を押すことで写真の番号を消去できます。

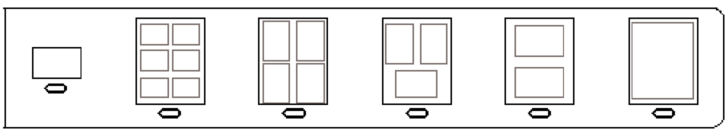
5. 最後の写真の番号が表示されるまで ◀ または ▶ を押し続け、**OK** を押します。
6. フォト シートを終了します。

フォト シートの記入

1. フォト シートのサムネイル画像の下にある円を黒いペンか鉛筆で塗りつぶして、印刷する写真を選択します。

   注記　フォト シートでビデオを選択した場合、ビデオの最初のフレームだけが印刷されます。

2. フォト シートの ステップ 2 から 円を塗りつぶして、レイアウト スタイルを 1 つだけ選択します。

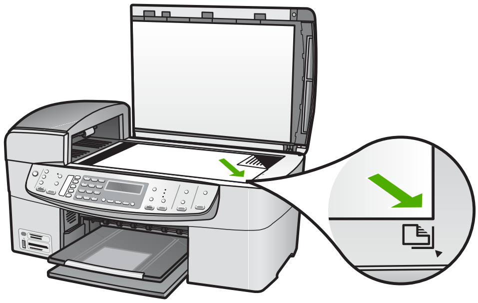


   注記　フォト シートによる印刷設定よりも詳細な設定が必要な場合は、コントロール パネルから写真を直接印刷してください。

3. フォト シートをスキャンします。

フォト シートをスキャンするには

1. フォトシートの印刷面を下にして、ガラス板の右下隅に合わせてセットします。 フォトシートの短辺と長辺が、ガラス板の右端と前端に揃っていることを確認します。 カバーを閉じます。



2. 給紙トレイにフォト用紙をセットします。フォト シートのスキャン中は、そのフォト シートの印刷に使用したメモリ カードまたはストレージ デバイスが HP All-in-One に装着または接続されていることを確認してください。
3. フォト 領域で、**フォト シート** を押します。
   [**フォトシート メニュー**] が表示されます。
4. [**フォトシートのスキャン**] が表示されるまで ▶ を押し続け、**OK** を押します。
   HP All-in-One でフォトシートがスキャンされて、選択した写真が印刷されます。

10 HP All-in-One の保守

HP All-in-One にはメンテナンスがほとんど不要です。時々ガラス板とカバーの裏側に付着したほこりを掃除し、コピーとスキャンがきれいに行えるようにしてください。適宜プリント カートリッジを交換、調整、またはクリーニングする必要があります。このセクションでは、HP All-in-One を最高の状態に保つための方法について説明します。必要に応じて簡単なメンテナンス手順を実行してください。

- HP All-in-One のクリーニング
- セルフテスト レポートの印刷
- プリント カートリッジのメンテナンス

HP All-in-One のクリーニング

きれいにコピーやスキャンをするには、ガラス板とカバーの保護シートをクリーニングしてください。また、HP All-in-One の外側のほこりも拭き取ってください。

- ガラス板のクリーニング
- カバーの保護シートのクリーニング
- 外側のクリーニング

ガラス板のクリーニング

指紋、しみ、髪の毛、ほこりなどがガラス板の表面に付着していると、性能が落ち、[ページに合わせる] などの正確性に悪影響を及ぼす場合があります。

ガラス板の表面だけでなく、自動ドキュメント フィーダの下にある小さい帯状のガラス部分もクリーニングしてください。自動ドキュメント フィーダ内部のガラス部分が汚れていると、筋が入る場合があります。

ガラス板をクリーニングするには

1. HP All-in-Oneの電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジでガラス板を拭きます。

   注意　研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。ま

た、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

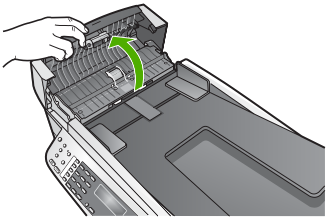
3. しみにならないよう、セーム革かセルロース スポンジでガラス板を拭きます。
4. 電源コードを差し込み、HP All-in-One の電源を入れます。

自動ドキュメント フィーダ内部の帯状のガラス部分をクリーニングするには

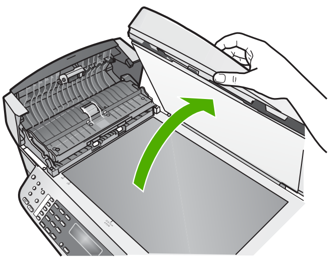
1. HP All-in-One の電源を切り、電源コードを抜きます。

   注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

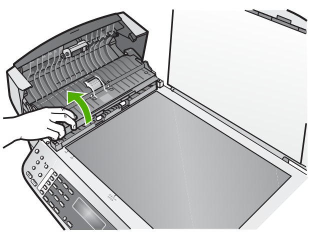
2. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。



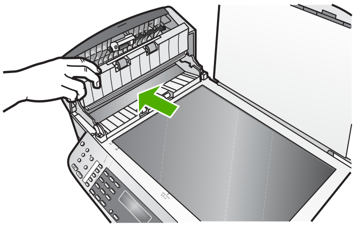
3. ガラス板に原稿をセットするように、カバーを持ち上げます。



4. 自動ドキュメント フィーダ装置を外します。



帯状のガラス部分は自動ドキュメント フィーダの下にあります。



5. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで帯状のガラス部分を拭きます。

   注意 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス板を拭かないでください。ガラス板を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス板にかけないでください。ガラス板の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

6. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
7. カバーを閉じます。
8. 電源コードを差し込み、HP All-in-One の電源を入れます。

カバーの保護シートのクリーニング

HP All-in-One のカバーの裏側にある白い原稿押さえの表面に、微少な塵がたまることがあります。

カバーの保護シートをクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源をオフにし、電源コードを外し、カバーを上げます。

   注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. 刺激性の少ないせっけんとぬるま湯で、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで原稿押さえを拭きます。
   原稿押さえを軽く拭いて汚れを落とします。力を入れてこすらないでください。
3. セーム革あるいは柔らかい布でカバーの裏側を拭いて乾かしてください。

   注意 カバーの裏側を傷つける可能性があるので、紙でできたクロスは使用しないでください。

4. さらにクリーニングが必要な場合には、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用して上記の手順を繰り返してから、湿らせた布でカバーの裏側に残ったアルコールを完全に拭き取ってください。

注意　ガラス板や HP All-in-One の塗装部品にアルコールをこぼさないように注意してください。デバイスに損傷を与える場合があります。

外側のクリーニング

柔らかい布か、または少し湿らせたスポンジで、外側のほこり、しみ、汚れなどを拭き取ります。HP All-in-One の内側はクリーニングの必要はありません。HP All-in-One のコントロール パネルや内側に液体がかからないようにしてください。

注意　アルコールやアルコール系のクリーニング剤は使用しないでください。HP All-in-One の表面を傷める可能性があります。

セルフテスト レポートの印刷

印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジを交換する前に、セルフテスト レポートを印刷してください。このレポートには、プリンタ カートリッジなど、本体に関する役立つ情報があります。

セルフテスト レポートを印刷するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **2** を押し、次に **4** を押します。
   これで、[**レポートの印刷**] と [**セルフテスト レポート**] が続けて選択されます。
   HP All-in-One でセルフテスト レポートが印刷されます。このレポートから印刷時の問題の原因が分かる場合があります。レポートにインク テストのサンプルがある場合は、以下のことを示します。
4. カラーのラインがページ幅いっぱいに印刷されていることを確認します。



黒いラインにかすれ、筋、線がある場合、または黒いラインが消えている場合、右側のスロットに入っている黒プリント カートリッジに問題がある可能性があります。
残りの 3 本のラインが欠けている、かすれている、筋が出ている、または縞模様が現れている状態の場合、左スロットのカラー プリント カートリッジに問題がある可能性があります。



カラー バーに黒、シアン、マゼンタ、イエローのカラーが表示されない場合は、プリント カートリッジをクリーニングしてください。プリント カートリッジをクリーニングしても問題が解決しない場合は、プリント カートリッジの交換が必要になることがあります。

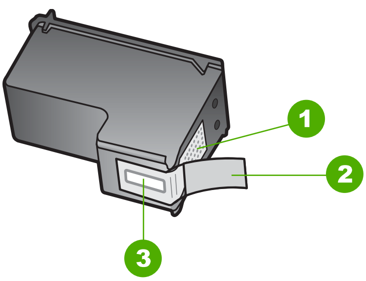
プリント カートリッジのメンテナンス

HP All-in-One の印刷が常に美しく仕上がるようにするには、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。また、ディスプレイにプリント カートリッジの交換のメッセージが表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。

- プリント カートリッジの取り扱い
- プリント カートリッジの交換
- プリント カートリッジの調整
- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの取り扱い

プリント カートリッジを交換したり、クリーニングしたりする前に、プリント カートリッジの部品の名前や取り扱い方を知っておく必要があります。



1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

ラベルを上にして、プリント カートリッジの黒いプラスチックの部分の横を持ちます。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

注記 プリント カートリッジは注意深く取り扱ってください。カートリッジを落としたり振ったりすると、印刷が不調になったり、場合によっては印刷できなくなることもあります。

プリント カートリッジの交換

インク残量が少なくなっている場合は、以下の指示に従ってください。

注記 プリント カートリッジのインクの残量が低下すると、ディスプレイにメッセージが表示されます。インク残量は、HP All-in-One によってインストールされたソフトウェアを使用してコンピュータで確認することもできます。

インク残量の低下を警告するメッセージがディスプレイに表示されたら、プリント カートリッジを交換してください。文字がかすれたり、プリント カートリッジが原因で印刷の品質に問題が生じたりした場合にも、プリント カートリッジを交換してください。

HP All-in-One 用のプリント カートリッジを注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

プリント カートリッジ番号のリストについては、このガイドの裏表紙の情報を参照してください。

ヒント 黒プリント カートリッジをフォト プリント カートリッジに交換して、高品質のカラー写真を印刷する場合も、同じ手順を行います。

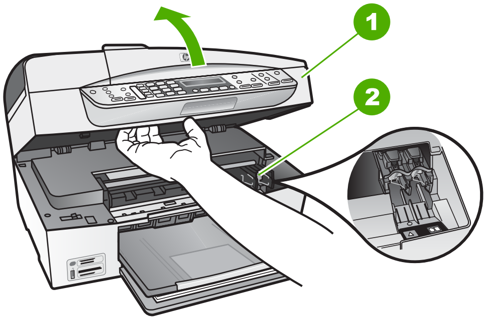
プリント カートリッジを交換するには

1. HP All-in-One の電源がオンになっていることを確認します。

   注意 プリント カートリッジを交換する場合、HP All-in-One がオフのときにプリント カートリッジ ドアを開けても、HP All-in-One ではプリント カートリッジの固定は解除されません。また、プリント カートリッジを取り出す際、カートリッジがきちんと右側にセットされていないと、HP All-in-One に損傷を与えるおそれがあります。

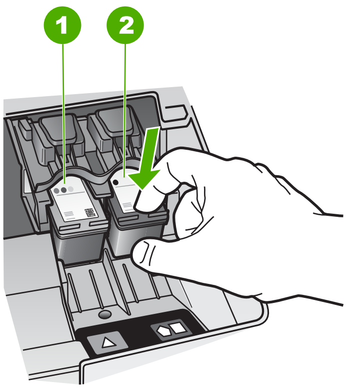
2. プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。

インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。



1	プリント カートリッジ アクセス ドア
2	インクホルダー

3. インクホルダーが停止して静かになってから、プリント カートリッジを静かに押して外します。
   カラー プリント カートリッジを交換する場合は、左側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。
   黒またはフォト プリント カートリッジを交換する場合は、右側のスロットからプリント カートリッジを取り外します。



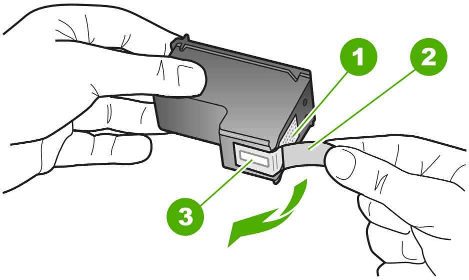
1	カラー プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット
2	黒およびフォト プリント カートリッジのプリント カートリッジ スロット

4. プリント カートリッジを手前に引き、スロットから外します。
5. 黒プリント カートリッジを取り外してフォト プリント カートリッジを取り付ける場合には、取り外した黒プリント カートリッジをプリント カートリッジ ケースまたは密閉プラスチック容器に入れて保存してください。
   インク不足またはインク切れで取り外したプリント カートリッジはリサイクルしてください。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリ

ント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

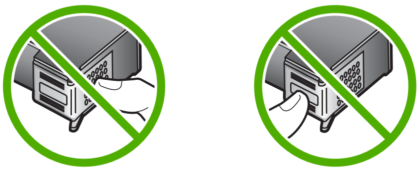
www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

6. 新しいプリント カートリッジをパッケージから出した後、黒いプラスチックの部分以外に触れないように注意して、ピンクのつまみを持って保護テープをゆっくりはがします。

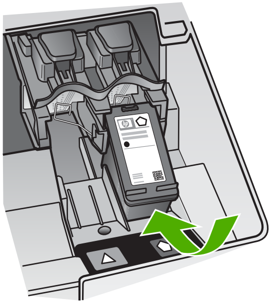


1	銅色の接点
2	ピンクのつまみの付いた保護テープ (本体に取り付ける前に取り外してください)
3	テープの下にあるインク ノズル

△ **注意** 銅色の接点やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目詰まり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。



7. 新しいプリント カートリッジを、空きスロットにスライドさせながら挿入します。プリント カートリッジの上部をそっと押し、カチッと音がするまで中に入れてください。
   カラー プリント カートリッジを装着する場合は、左側のスロットに入れます。
   黒またはフォト プリント カートリッジを装着する場合は、右側のスロットに入れます。



8. プリント カートリッジ アクセスドアを閉じます。



9. 新しいプリント カートリッジを取り付けた場合、プリント カートリッジ調整プロセスが始まります。
10. 給紙トレイに普通紙をセットしていることを確認してから、**OK** を押します。
11. HP All-in-One がプリント カートリッジの位置を調整します。プリント カートリッジ調整シートを再利用するか破棄してください。
12. **OK** を押します。

プリント カートリッジの調整

HP All-in-One では、プリント カートリッジを取り付けたり取り換えたりするたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。コントロール パネルまたは HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアを使用して、いつでもプリント カートリッジを調整できます。プリント カートリッジを調整することで、高品質の印刷に仕上がります。

注記 プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP All-in-One に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP All-in-One にはプリント カートリッジに合わせて

調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

メッセージに従って本体のコントロール パネルからプリント カートリッジを調整するには

1. レターまたは A4 の未使用の白い普通紙が、給紙トレイにセットされていることを確認してから、**OK** ボタンを押します。
2. HP All-in-One がテスト ページの印刷、プリント ヘッドの調整、プリンタの位置調整を行います。この用紙はリサイクルするか捨ててください。

注記　プリント カートリッジを調整するときに、色付きの用紙が給紙トレイにセットされていると、調整に失敗します。給紙トレイに未使用の白い普通紙をセットしてから、調整をやり直してください。

まだ調整に失敗する場合は、センサーかプリント カートリッジが故障している可能性があります。HP サポートにお問い合わせください。www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

任意の時点で本体のコントロール パネルからカートリッジを調整するには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **2** を押します。
   これで、[**ツール**] と [**プリント カートリッジの調整**] が続けて選択されます。
4. HP All-in-One がテスト ページの印刷、プリント ヘッドの調整、プリンタの位置調整を行います。この用紙はリサイクルするか捨ててください。

プリント カートリッジのクリーニング

はじめてプリント カートリッジを装着した後、セルフテスト レポートでインクの筋、カラーの帯に白いラインが表示される場合、またはカラーがにごっている場合は、この機能を使用します。必要以上にプリント カートリッジのクリーニングをしないでください。インクの無駄になり、インク ノズルの寿命を縮めます。

コントロール パネルからプリント カートリッジをクリーニングするには

1. 給紙トレイに、レター、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押します。
3. **6** を押し、次に **1** を押します。
   これで、[ツール] と [プリント カートリッジのクリーニング] が続けて選択されます。
   HP All-in-One で 1 枚の用紙が印刷されます。この用紙は再利用するか捨ててください。
   プリント カートリッジをクリーニングしても、コピーや印刷がきれいに仕上がらない場合は、プリント カートリッジを交換する前に、問題のプリント カートリッジの接点をクリーニングしてください。

プリント カートリッジの接点のクリーニング

プリント カートリッジの接点のクリーニングは、プリント カートリッジのクリーニングと調整をしても、ディスプレイにプリント カートリッジの確認のメッセージが繰り返し表示される場合にのみ実行してください。

プリント カートリッジの接点をクリーニングする前に、プリント カートリッジを取り外し、プリント カートリッジの接点に何も付着していないことを確認してから元に戻してください。プリント カートリッジの確認のメッセージがその後も表示される場合は、プリント カートリッジの接点をクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 乾いたスポンジ棒、糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布。

  ヒント　コーヒー用のフィルタは糸くずが出ないため、プリント カートリッジのクリーニングに適しています。

- 蒸留水、ろ過水、ミネラルウォーターのいずれか (水道水にはプリント カートリッジを傷める汚染物質が含まれている恐れがあります。)

  注意　プリント カートリッジの接点のクリーニングには、プラテン クリーナやアルコールを**使用しないでください**。それらは、プリント カートリッジや HP All-in-One を傷めるおそれがあります。

プリント カートリッジの接点をクリーニングするには

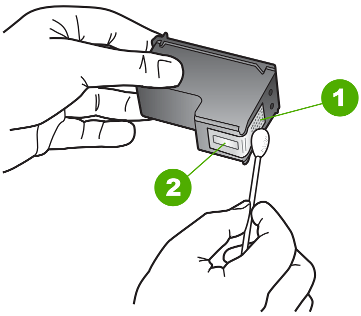
1. HP All-in-One の電源を入れ、プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
   インクホルダーが HP All-in-One の右端に移動します。
2. インクホルダーが停止して静かになってから、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。

注記　HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

3. プリント カートリッジを静かに下げて固定を解除してから、カートリッジを手前に引いてカートリッジ スロットから取り外します。

   注記　両方のプリント カートリッジを同時に取り外さないでください。取り外してクリーニングする作業は、一度に 1 つずつ行ってください。プリント カートリッジを 30 分以上 HP All-in-One から外しておかないでください。

4. プリント カートリッジの接点に、インクや汚れが付着していないか調べます。
5. 汚れていないスポンジ棒または糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、かたく絞ります。
6. プリント カートリッジの側面を持ちます。
7. 銅色の接点のみをクリーニングします。 プリント カートリッジが乾くまで、10分ほど待ちます。



1	銅色の接点
2	インク ノズル (クリーニングしないでください)

8. プリント カートリッジを、スロットにスライドさせながら装着します。きちんとはまるまでプリント カートリッジを押し込んでください。
9. 必要であれば、もう一方のプリンタ カートリッジについても同じ作業をします。
10. プリント カートリッジ アクセスドアを静かに閉め、HP All-in-One の背面に電源コードを差し込みます。

11 トラブルシューティング情報

この章では、HP All-in-One のトラブルシューティング情報について説明します。インストールおよび設定に関する問題や動作時のトピックについて詳しく説明します。詳細については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

HP All-in-One を USB ケーブルで接続してから、HP All-in-One ソフトウェアをコンピュータにインストールすると、いろいろな問題の原因になります。ソフトウェア インストール画面で指示される前に HP All-in-One をコンピュータに接続した場合、次の手順に従ってください。

セットアップ時によく起こる問題を解決するには

1. コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
2. ソフトウェアをアンインストールします (インストール済みの場合)。
3. コンピュータを再起動してください。
4. HP All-in-One の電源をオフにし、1 分間待ってから再起動します。
5. HP All-in-One ソフトウェアを再インストールします。

注意　ソフトウェアのインストール画面で指示されるまで、USB ケーブルをコンピュータに接続しないでください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストールの方法については、ソフトウェアのアンインストールと再インストール を参照してください。

この章で扱うトピックについては、下記の一覧を参照してください。

本書のトラブルシューティング項目

- **セットアップに関するトラブルシューティング**：ハードウェアの設定、ソフトウェアのインストール、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。
- **動作時のトラブルシューティング**：HP All-in-One の機能を使用した通常の作業中に発生する可能性がある問題について説明します。

他にも、HP All-in-One または HP Photosmart Software で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングに役立つ情報があります。詳細を参照してください。

オンスクリーン ヘルプや HP Web サイトで問題を解決できない場合は、お住まいの国または地域の HP サポート サービス電話番号までお問い合わせください。

Readme ファイルの表示

システム要件およびインストール時に発生する問題については、Readme ファイルを参照してください。

- Windows コンピュータで Readme ファイルを開くには、**[スタート]** ボタンをクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[OfficeJet All-In-One 6300 series]** の順に選択して、**[Readme]** をクリックします。
- Mac で HP All-in-One ソフトウェア CD-ROM の最上位のフォルダにあるアイコンをダブルクリックすると、Readme ファイルにアクセスできます。

セットアップに関するトラブルシューティング

このセクションでは、ハードウェア、ソフトウェア、ファクス設定に関連してよく起こる問題のいくつかに対し、インストールおよび設定時のトラブルシューティング方法を説明します。

ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティング

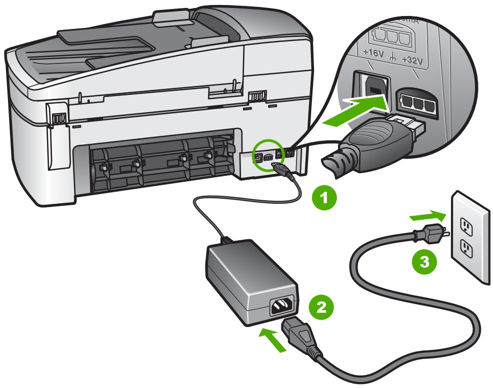
このセクションは、HP All-in-One ハードウェアのセットアップ時に発生する可能性がある問題を解決する際に使用してください。

HP All-in-One の電源が入らない

原因　HP All-in-One が電源に正しく接続されていません。

解決方法

- 電源コードが、HP All-in-One と電源アダプタの両方に正しく接続されていることを確認してください。 電源コードは、アース付き電源コンセントか、サージ保護器か、テーブルタップに差し込んでください。



1	電源コネクタ
2	電源コードと電源アダプタ
3	電源コンセント

- テーブル タップを使用している場合は、テーブル タップがオンになっていることを確認してください。 または、HP All-in-One の電源コードを電源コンセントに直接接続してみてください。
- 電源コンセントをテストして、正しく機能していることを確認してください。 作動することが確認できている電気製品を接続して、電力が供給されているか確認します。 電源が入らない場合は、電源コンセントに問題があります。
- スイッチ付きの電源コンセントに HP All-in-One をつないでいる場合は、そのスイッチが入っていることを確認してください。 スイッチがオンにも関わらず電力が供給されない場合は、電源コンセントに問題があります。

原因 **On** ボタンの押し方が短すぎます。

解決方法 **On** ボタンの押し方が短すぎると HP All-in-One が応答しないことがあります。**On** ボタンを一回押します。HP All-in-One の電源をオンにするにはしばらく時間がかかることがあります。この時間中に **On** ボタンを再度押すと、デバイスの電源がオフになる場合があります。

警告　以上の操作を行ってもまだ HP All-in-One の電源がオンにならないときは、機械的な故障が考えられます。HP All-in-One から電源コードを外し、HP へご連絡ください。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

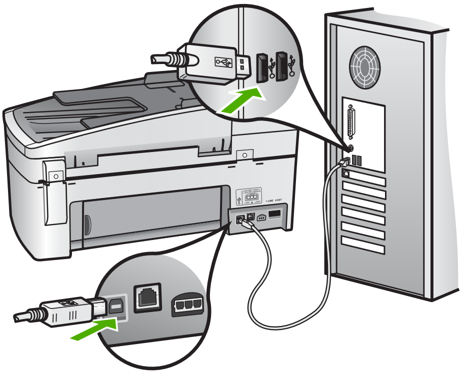
www.hp.com/support

メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

USB ケーブルを接続したが、コンピュータで HP All-in-One を使用するときに問題が発生する

解決方法　初めに、HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしてから、USB ケーブルを接続します。 インストールしている間、画面上で指示されるまで、USB ケーブルは差し込まないでください。 USB を指示される前に接続するとエラーが発生します。

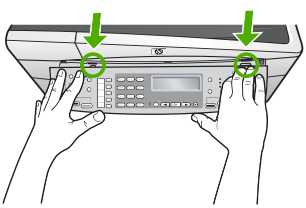
ソフトウェアをインストールしたら、USB ケーブルを使ってコンピュータを HP All-in-One に接続するのは簡単です。 USB ケーブルの一方の端をコンピュータの背後に接続し、他方の端を HP All-in-One の背後に接続するだけで済みます。 コンピュータの背後にある任意の USB ポートに接続できます。



ソフトウェアのインストールと USB ケーブルの接続については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

コントロール パネル カバーを取り付けるようにというメッセージがディスプレイに表示される

解決方法　コントロール パネル カバーが取り付けられていないか、その取り付け方が正しくない可能性があります。 HP All-in-One 上の一連のボタンの上にカバーを合わせ、カチっと音がするまで押し込みます。



コントロール パネル カバーの取り付けについては、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

ディスプレイに間違った言語が表示される

解決方法　言語の設定は [セットアップ メニュー] からいつでも変更できます。 詳細については、言語と国/地域の設定を参照してください。

ディスプレイのメニューに間違った単位が表示される

解決方法　HP All-in-One をセットアップするときに不適切な国/地域を選択した可能性があります。 選択する国/地域で、ディスプレイに表示される用紙サイズが決まります。

国/地域を変更するには、もう一度デフォルトの言語を設定する必要があります。 言語の設定は [セットアップ メニュー] からいつでも変更できます。 詳細については、言語と国/地域の設定を参照してください。

プリント カートリッジの位置を調整するよう示すメッセージがディスプレイに出力される

解決方法　HP All-in-One では、新しいプリント カートリッジを取り付けるたびに、カートリッジの調整を求めるメッセージが表示されます。 詳細については、プリント カートリッジの調整を参照してください。

注記　プリント カートリッジを取り外した後、もう一度 HP All-in-One に取り付けた場合には、プリント カートリッジの調整のメッセージは表示されません。HP All-in-One にはプリント カートリッジに合わせて調整した値が記憶されるので、プリント カートリッジの再調整は必要ありません。

プリント カートリッジの位置調整に失敗したというメッセージがディスプレイに表示される

原因　給紙トレイに、カラー用紙、文字が書かれた用紙、リサイクル用紙など、間違った種類の用紙がセットされています。

解決方法　レターまたは A4 の未使用の白い普通紙を給紙トレイにセットして、カートリッジの調整を再度行ってください。

調整に再度失敗した場合、センサーまたはプリント カートリッジに問題がある可能性があります。 HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 メッセージが表示され

トラブルシューティング

たら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

原因 保護テープがプリント カートリッジをふさいでいます。

解決方法 各プリント カートリッジを確認してください。保護テープを銅色の接点から取り外しても、インク ノズルをふさいでいる可能性があります。テープがインク ノズルをふさいでいる場合は、プリント カートリッジからテープを注意深く取り除いてください。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。

もう一度プリント カートリッジを挿入し、カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

プリント カートリッジの取り付け方については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

原因 プリント カートリッジの接点がインクホルダーの接点に接触していません。

解決方法 プリント カートリッジを取り外し、セットし直します。 プリント カートリッジが所定の位置にしっかりと挿入され、ロックされていることを確認してください。

プリント カートリッジの取り付け方については、プリント カートリッジの交換を参照してください。

原因 プリント カートリッジまたはセンサーに問題があります。

解決方法 HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

HP All-in-One が印刷しない

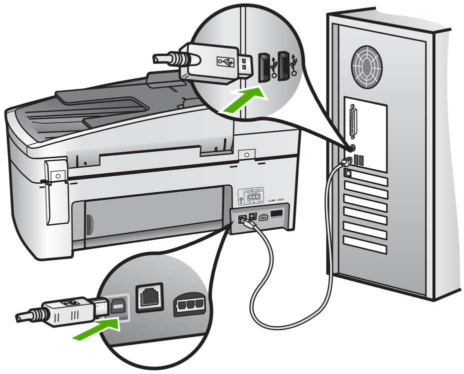
解決方法 HP All-in-One がネットワークに接続されている場合は、ネットワーク通信の問題のトラブルシューティングについてオンスクリーン ヘルプを参照してください。

HP All-in-One とコンピュータが USB 接続されており、互いに通信できない場合は、次のことを行ってください。

- HP All-in-One のディスプレイを見てください。ディスプレイに何も表示されず、**On** ボタンが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。HP All-in-One の電源コードが電源コンセン

トにきちんと差し込まれていることを確認してください。**On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

- プリント カートリッジが装着されていることを確認してください。
- 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
- HP All-in-One に紙詰まりがないことを確認します。
- インクホルダーが紙詰まりになっていないことを確認します。
  インクホルダー領域にアクセスできるように、プリント カートリッジ アクセスドアを開けます。 梱包用材料やオレンジ色の出荷用止め具など、インクホルダーをふさいでいるものを取り除きます。
  HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。
- HP All-in-One 印刷キューが一時停止 (Windows) または停止 (Mac) していないことを確認します。 印刷キューが停止している場合は、印刷を再開するように該当の設定を選択します。 印刷キューのアクセスの詳細については、コンピュータにインストールされたオペレーティング システムに付属するマニュアルを参照してください。
- USB ケーブルを確認します。 古いケーブルの場合、正常に機能しない可能性があります。 別の製品に接続して、そのUSB ケーブルが使用できるかどうか確認してください。 問題が発生した場合、USB ケーブルを交換する必要があります。 また、USB ケーブルの長さが 3 メートル 以下であることを確認してください。
- コンピュータで USB が使用可能であることを確認します。
  Windows 95 や Windows NT など、一部のオペレーティング システムは USB 接続をサポートしていません。 詳細については、お使いのオペレーティング システムに付属しているマニュアルを参照してください。
- HP All-in-One からコンピュータまでの接続状態を確認します。
  USB ケーブルが HP All-in-One の背面にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。 また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認します。 USB ケーブルを正しく接続した後、HP All-in-One の電源を入れ直してください。

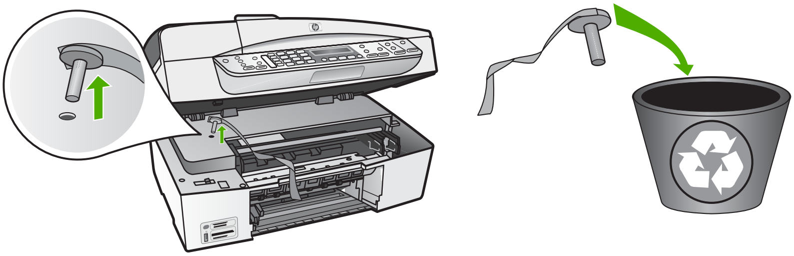


- USB ハブを介して HP All-in-One に接続している場合、ハブの電源が入っていることを確認してください。 ハブの電源が入っている場合、コンピュータに直接接続します。
- 他のプリンタやスキャナを確認します。 コンピュータから古い製品を削除しなければならない場合があります。
- USB ケーブルをコンピュータの別の USB ポートに接続してみてください。 接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。 HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。
- 接続を確認したら、コンピュータを再起動してください。 HP All-in-One の電源をいったんオフにして入れ直します。
- 必要なら、HP All-in-One 用にインストールしたソフトウェアをアンインストールしてから、インストールし直します。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

HP All-in-One のセットアップとコンピュータへの接続方法については、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

紙詰まりが発生した、またはインクホルダーが動かないというメッセージがコンピュータに表示される

解決方法 紙詰まりが発生した、またはカートリッジが動かないというエラー メッセージがディスプレイに表示された場合は、HP All-in-One の内部に梱包用材料が詰まっている可能性があります。 プリント カートリッジ アクセスドアなど、プリンタの中を確認します。 出荷用止め具が HP All-in-One の左側に残っている可能性があります。 オレンジ色の出荷用止め具は、取り除いて再利用するか破棄してください。



オレンジ色の出荷用止め具を取り除いた後、HP All-in-One の電源を入れ直します。

ソフトウェアのインストール時のトラブルシューティング

ソフトウェアのインストール時に問題が検出された場合は、以下のトピックを参照して問題を解決してください。ハードウェアのインストール時に問題が検出された場合は、ハードウェアのセットアップに関するトラブルシューティングを参照してください。

HP All-in-One ソフトウェアの通常のインストール時は、以下の処理が実行されます。

1. HP All-in-One ソフトウェアの CD-ROM が自動的に実行される。
2. ソフトウェアがインストールされる。
3. 一連のファイルがコンピュータにコピーされる。
4. HP All-in-One をコンピュータに接続するように要求される。
5. 緑色の OK とチェックマークがインストール ウィザード画面に表示される。
6. コンピュータを再起動するよう要求される。
7. **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) が実行される。
8. 登録プロセスが実行される。

これらのいずれかの処理が実行されない場合は、インストールに問題がある可能性があります。

Windows コンピュータへのインストールを確認するには、以下の事を確認します。

- **[HP ソリューション センター]** を起動し、次のボタンが表示されることを確認してください。**[画像のスキャン]**、**[ドキュメント スキャン]**、**[ファクス送信]**。アイコンがすぐに表示されない場合は、ご使用のコンピュータに HP All-in-One が接続されるまで数分待たなければならないことも

あります。それ以外の場合は、HP ソリューション センター のボタンのいくつかが表示されない (Windows)を参照してください。

- **[プリンタ]** ダイアログ ボックスを開き、HP All-in-One が一覧に表示されていることを確認します。
- Windows タスクバーの右端にあるシステム トレイで HP All-in-One のアイコンを確認してください。表示されていれば、HP All-in-One が待機中であることを示しています。

コンピュータの CD-ROM ドライブに CD-ROM を挿入したが、何も実行されない

解決方法　インストールが自動的に実行されない場合、手動で実行することができます。

Windows コンピュータからインストールを開始するには

1. Windows の **[スタート]** メニューの **[ファイル名を指定して実行]** をクリックします。
2. **[ファイル名を指定して実行]** ダイアログ ボックスで、**[d:\setup.exe]** を入力して、**[OK]** をクリックします。
   CD-ROM ドライブがドライブ文字 D に割り当てられていない場合は、該当するドライブ文字を入力してください。

Mac からインストールを開始するには

1. デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、CD の中身を確認します。
2. [HP installer] アイコンをダブルクリックします。

最小システム チェック画面が表示される (Windows)

解決方法　ご使用のシステムが、ソフトウェアのインストールに必要な最小の要件を満たしていません。 **[詳細]** をクリックして、具体的な問題点を確認して、ソフトウェアをインストールする前に問題を解決してください。

代わりに Express インストールで HP Photosmart Essential をインストールしてみてください。HP Photosmart Essential は HP Photosmart Premier よりも機能は少ないものの、ハードディスクのスペースとメモリの使用量が少なくて済みます。

HP Photosmart Essential ソフトウェアのインストール方法の詳細については、HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。

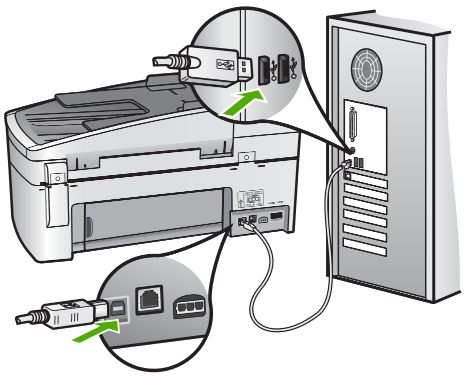
トラブルシューティング

赤の X が USB 接続プロンプトに表示される

解決方法　通常は、プラグ アンド プレイが成功したことを示す緑のチェック記号が表示されます。 赤の X は、プラグ アンド プレイ が失敗したことを示します。

以下の作業を行ってください。

1. コントロール パネル カバーがしっかりと取り付けられていることを確認した後、HP All-in-One の電源ケーブルをいったん抜き、もう一度差し込みます。
2. USB ケーブルと電源ケーブルが接続されていることを確認します。



3. **[再試行]** をクリックして、プラグ アンド プレイの設定をやり直します。解決しなければ、次の手順に進みます。
4. USB ケーブルが正しくセットアップされていることを以下のようにして確認します。
   – USB ケーブルを、いったん抜き、再度差し込みます。
   – USB ケーブルを、キーボードや給電されないハブに接続してはいけません。
   – USB ケーブルは、3 m 以下の長さとしてください。
   – お使いのコンピュータに USB デバイスが複数個接続されている場合は、インストール中、ほかのデバイスの接続を解除した方がよい場合もあります。
5. インストール処理を継続し、指示されたらコンピュータを再起動します。
6. Windows コンピュータをご使用の場合は、**[HP ソリューション センター]** を起動して、必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメント スキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されていることを確認します。必須アイコンが表示されない場合は、本ソフトウェアを削除した後、再インストールしてください。詳しくは、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

不明なエラーが発生したことを示すメッセージが出力される

解決方法 インストールを引き続き実行してください。 解決しない場合、中止してインストールをやり直し、画面の指示に従います。 エラーが発生した場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。 HP All-in-One のアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

[HP ソリューション センター] のボタンのいくつかが表示されない (Windows)

必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメントスキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されない場合は、インストールが完了していない可能性があります。

解決方法 インストールが完了していない場合は、該当ソフトウェアをアンインストールした後、再インストールする必要があります。 HP All-in-One のアプリケーション ファイルをハード ドライブから単に削除するだけでは不十分です。 HP All-in-One プログラム グループに入っているアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。 詳細については、ソフトウェアのアンインストールと再インストールを参照してください。

[ファクス セットアップ ウィザード] (Windows) または [ファクス セットアップ ユーティリティ] (Mac) が起動しない。

解決方法 **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac) を手動で起動し、HP All-in-One のセットアップを完了させてください。

[ファクス セットアップ ウィザード] を開始するには (Windows)

→ **[HP ソリューション センター]** で、**[設定]** をクリックし、**[ファクス設定とセットアップ]** を選択して、次に **[ファクス セットアップ ウィザード]** をクリックします。

[ファクス セットアップ ユーティリティ] を開始するには (Mac)

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。

[HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]**ポップアップ メニューから HP All-in-One を選択します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューで、**[ファクス設定]**を選択します。

登録画面が表示されない (Windows)

解決方法　Windows のタスク バーで **[スタート]** ボタンをクリックした後、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[OfficeJet All-In-One 6300 series]** の順に選択して、**[製品登録]** をクリックし、登録 (今すぐサインアップ) 画面を開きます。

システム トレイに [HP Digital Imaging Monitor] が表示されない (Windows)

解決方法　システム トレイ (通常はデスクトップの右下隅にあります) に **[HP Digital Imaging Monitor]** が表示されない場合は、**[HP ソリューション センター]** を起動して、必須アイコンがそこに表示されるかどうかを確認します。

[HP ソリューション センター] に必須アイコンが表示されない場合の詳細については、HP ソリューション センター のボタンのいくつかが表示されない (Windows) を参照してください。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。 HP All-in-One のアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 HP All-in-One 付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

再インストールには、20 ～ 40 分かかります。 ソフトウェアのアンインストール方法は、Windows コンピュータの場合は 3 種類、Mac の場合は 1 種類あります。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。ソフトウェアの再インストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。
2. **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオフにしてください。

3. Windows タスクバーで、**[スタート]**、**[プログラムの開始]** または **[すべてのプログラム]** (XP)、**[HP]**、**[OfficeJet All-In-One 6300 series]**、**[アンインストール]** の順にクリックします。
4. 画面の指示に従ってください。
5. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
6. コンピュータを再起動してください。

   注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One とコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

7. ソフトウェアを再インストールするには、HP All-in-One の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入し、画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。
8. ソフトウェアのインストールが完了したら、HP All-in-One をコンピュータに接続します。
9. **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。
   HP All-in-One を接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
10. 画面の指示に従ってください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

ソフトウェアが正しくインストールされているかどうかを確認するには、デスクトップで **[HP ソリューション センター]** アイコンをダブルクリックしてください。 **[HP ソリューション センター]** に必須アイコン (**[画像のスキャン]**、**[ドキュメント スキャン]**、**[ファクス送信]**) が表示されている場合、ソフトウェアは正しくインストールされています。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. Windows のタスクバーで、**[スタート]**、 **[設定]**、 **[コントロール パネル]** の順にクリックします。
2. **[プログラムの追加と削除]**をダブルクリックします。
3. **[HP PSC & OfficeJet 6.0]** を選択して、 **[変更と削除]** をクリックします。
   画面の指示に従ってください。

4. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
5. コンピュータを再起動してください。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One とコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

6. コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

注記　この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One の CD-ROM を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
3. お使いのコンピュータから HP All-in-One の接続を解除します。
4. コンピュータを再起動してください。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One とコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. HP All-in-One のセットアップ プログラムをもう一度起動します。
6. **[再インストール]** を選択します。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

Mac からアンインストールするには

1. Mac から HP All-in-One の接続を解除します。
2. **[アプリケーション]**:**[Hewlett-Packard]** フォルダをダブルクリックします。
3. **[HP Uninstaller]** をダブルクリックします。
画面の指示に従ってください。
4. ソフトウェアのアンインストールが終了したら、HP All-in-One の接続をはずし、コンピュータを再起動します。

注記　コンピュータを再起動する前に HP All-in-One とコンピュータとの接続を解除することが重要です。ソフトウェアのアンインストール

ストールが完了するまで、HP All-in-One をコンピュータに接続しないでください。

5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブに HP All-in-One CD-ROM を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面の指示および HP All-in-One に付属の『セットアップ ガイド』の指示に従ってください。

ネットワーク設定に関するトラブルシューティング

このセクションでは、ネットワークを接続したときや CD を挿入し、ソフトウェアのインストールを開始したときに発生する、ネットワーク設定関連の問題とその対処方法について説明します。

「システム要件エラー : TCP/IP がありません」というメッセージが表示された

原因 ローカル エリア ネットワーク (LAN) カード (NIC) が正しく取り付けられていません。

解決方法 LAN カードが正しく装着され、TCP/IP 用に設定されていることを確認します。 LAN カードに付属しているマニュアルを参照してください。

インストール中に [プリンタが検出されませんでした] という画面が表示される

原因 ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムにより HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法 ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムを一時的に無効にし、HP All-in-One ソフトウェアをいったんアンインストールしてから、再インストールします。 ファイヤーウォール、アンチウィルス、アンチスパイウェア プログラムはインストール完了後に有効に設定してください。 ファイアウォールのポップアップ メッセージが表示されたら、そのメッセージを承認または許可してください。

詳細は、ファイヤーウォール ソフトウェアに付属のマニュアルを参照してください。

原因 仮想プライベート ネットワーク (VPN) により HP All-in-One がコンピュータにアクセスできません。

解決方法 VPN を一時的に無効にしてから、インストールを続けてください。

注記　HP All-in-One の機能は、VPN セッションの間制限されます。

原因　Ethernet ケーブルがルーター、スイッチ、ハブに接続されていないか、ケーブルに障害があります。

解決方法　ケーブルを再度取り付けます。 必要に応じて、別のケーブルを使用します。

原因　HP All-in-One は DHCP ではなく AutoIP アドレスを割り当てられています。

解決方法　HP All-in-One がネットワークに適切に接続されていません。

次の点を確認してください。

- すべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていることを確認します。
- ケーブルが正しく接続されている場合、アクセス ポイント、ルーター、ゲートウェイがアドレスを送信していない可能性があります。この場合は、HP All-in-One をリセットする必要があります。
- HP All-in-One が正しいネットワーク上にインストールされていることを確認します。

原因　HP All-in-One が間違ったサブネットまたはゲートウェイに設定されています。

解決方法　ネットワーク構成ページを印刷し、ルーターと HP All-in-One が同一のサブネットとゲートウェイ上にあることを確認します。 詳細については、HP All-in-One に付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

原因　HP All-in-One の電源が入っていません。

解決方法　HP All-in-One の電源をオンにします。

ファクス セットアップ時のトラブルシューティング

このセクションでは、HP All-in-One のファクス セットアップに関するトラブルシューティング情報について説明します。HP All-in-One でファクスが正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、HP All-in-One の状態を確認できます。HP All-in-One で正しくファクスがセットアップされていない場合、テストは失敗します。このテストは、HP All-in-One

のファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。詳しくは、ファクス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。詳細については、次のセクションファクス テストに失敗したも参照してください。

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した
- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した
- 「ファクス回線状態」テストが失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法

- コントロール パネルの **On** ボタンを使用して、HP All-in-One の電源をオフにし、HP All-in-One の背面から電源コードを抜きます。 数秒経ってから、電源コードを差し直して、電源をオンにします。 もう一度テストを実行します。 またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[ファクス セットアップユーティリティ]** (Mac) からテストを実行している場合、HP All-in-One が、ファクスの受信やコピー作成など別なタスクを完了しようとしてビジーになっていないことを確認します。 コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、HP All-in-One がビジー状態であるか確認してください。 ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、

トラブルシューティング

HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。 [ファクス ハードウェア テスト] の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。 HP All-in-One をファックス用に設定する詳細については、ファクス設定を参照してください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

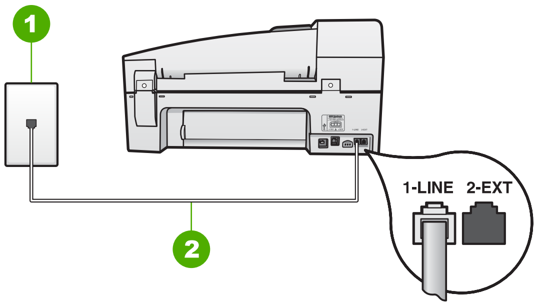
問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法 電話コードを正しいポートに接続します。

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。2-EXT ポートは、留守番電話や電話機などの機器接続専用です。



HP All-in-One の背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポートに接続した HP All-in-One 付属の電話コードを使用する

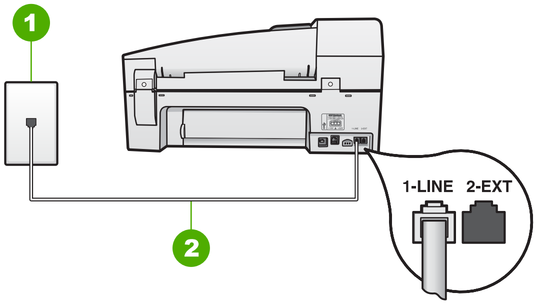
2. 1-LINE と書かれたラベルのポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。
3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

付属電話コードでは不足な場合、延長可能です。 詳細については、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ダイヤルトーン検出」テストが失敗した

解決方法

- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器がないときに [ダイヤルトーン検出テスト] に合格した場合、1つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。 どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に1つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
- HP All-in-Oneをアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One 付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。 [ダイヤル トーン検出] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストが失敗した

解決方法

- HP All-in-Oneをアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 HP All-in-One をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- HP All-in-One が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端を HP All-in-One の背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。
- HP All-in-One と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  - 他の機器がないときに [ファクス回線状態テスト] に合格した場合、1つ以上の機器が問題の原因である可能性があります。 どの機器が問題の原因であるかわかるまで、機器を一度に1つずつ戻し、そのつどテストを再実行します。
  - 他の機器が無くても、[ファクス回線状態テスト] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に HP All-in-One を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと HP All-in-One を接続しないと、正常にファクスの送受信ができないことがあります。 HP All-in-One

付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

問題が見つかったら解決してからもう一度ファクス テストを実行して、テストが成功したら、HP All-in-One でファクスを利用する準備ができています。 [**ファクス回線状態**] テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法　間違った種類の電話コードを使用しています。 デバイスを電話回線に接続する際は、必ず HP All-in-One 付属の電話コードを使用してください。 詳細については、「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗したを参照してください。

解決方法　HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、HP All-in-One に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP All-in-One のファクス機能は使用できません。

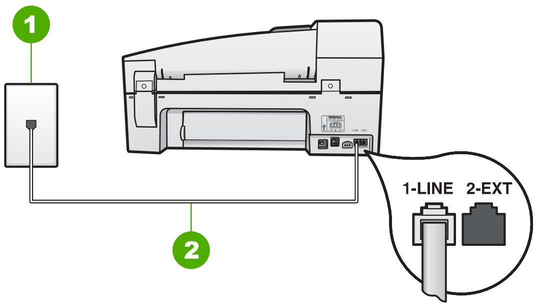
HP All-in-One でファクスの送受信がうまくできない

解決方法　HP All-in-One の電源がオンになっていることを確認します。 HP All-in-One のディスプレイを見てください。 ディスプレイに何も表示されず、**On** ランプが点灯していない場合は、HP All-in-One の電源が入っていません。 HP All-in-One の電源コードが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。 **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオンにしてください。

HP All-in-One の電源をオンにしたら、5分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。 電源をオンにしても、HP All-in-One の初期化中は送受信できません。

解決方法

- HP All-in-One に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を HP All-in-One の後部にある 1-LINE と書かれたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

付属電話コードでは不足な場合、延長可能です。 詳細については、HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でないを参照してください。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、HP All-in-One に使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- HP All-in-One と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して E メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、HP All-in-One のファクス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、HP All-in-One はファクスの送受信をすることができません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[エラー補正モード] (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。 詳細については、ケース B : DSL の環境で HP All-in-One をセットアップを参照してください。
- HP All-in-One が、デジタル電話用にセットアップされた壁側のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音

が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。

- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、HP All-in-One が正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C : PBX システムまたは ISDN 回線の環境で HP All-in-One をセットアップを参照してください。
- HP All-in-One が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。 ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。 DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。HP All-in-One でファクスの送受信ができない場合は、この手順を繰り返してください。

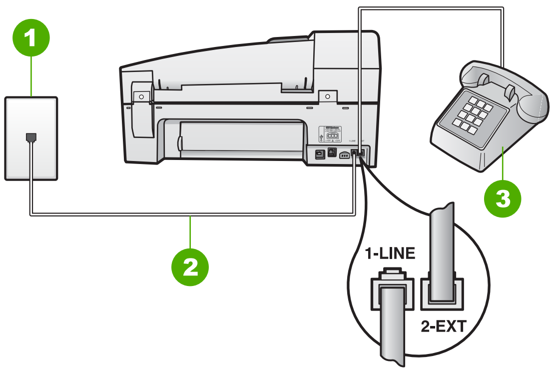
  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、HP All-in-One を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

HP All-in-One で手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法

注記　この解決策は、2 線式電話コードが HP All-in-One に同梱されている次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、ギリシャ、インド、インドネシア、アイルランド、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ロシア、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

- ファクスを実行するために使用する電話機が、直接 HP All-in-One に接続されていることを確認してください。 ファクスを手動で送信するには、下図のように、HP All-in-One の後部にある 2-EXT と書かれたポートに電話機を直接接続してください。



1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。
3	電話

- HP All-in-One に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。 HP All-in-One のコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

注記　シリアル方式の電話を使用している場合、壁のプラグが接続された HP All-in-One ケーブルの一番先に電話を直接接続します。

HP All-in-One でファクスを受信できないが、送信はできる

解決方法

- 着信識別サービスを使用していない場合は、HP All-in-One の [応答呼出し音のパターン] 機能が [全タイプ] になっていることを確認します。 詳細については、着信識別応答呼出し音のパターンの変更を参照してください。
- [自動応答] が [オフ] に設定される場合、ファクスを手動で受信する必要があります。それ以外の場合、HP All-in-One でファクスは受信しません。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合に HP All-in-One でファクスをセットアップする方法については、ファクス設定 を参照してください。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- HP All-in-One と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信するような設定になっていないことを確認してください。 ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、すべての受信ファクスを受け取るため、自動的に電話回線を引き継ぐので、HP All-in-One がファクス呼び出しを受信できなくなります。
- HP All-in-One と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
  – 留守番電話が HP All-in-One に対して適切にセットアップされていない可能性があります。
  – 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために HP All-in-One がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断されています。
  – HP All-in-One がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。 この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

  以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。
  – ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクス設定 の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。
  – 必ず、HP All-in-One がファクスを自動受信するように設定してください。 HP All-in-One でファクスを自動受信するように設定する方法については、応答モードの設定 を参照してください。

– [応答呼出し回数] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数を設定を参照してください。
– 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信します。 この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
– 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記　デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。外出メッセージを再生して確認してください。

- HP All-in-One が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが減衰することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。
ほかの機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、HP All-in-One 以外のすべてのものを電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。 他の機器を接続しないでファクスを正常に受信できた場合は、機器のいずれかが問題の原因になっています。 機器を 1 つずつ追加し、問題の原因となっている機器を識別してください。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、HP All-in-One の [応答呼出し音のパターン] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。 詳細については、着信識別応答呼出し音のパターンの変更を参照してください。

HP All-in-One でファクスを送信できないが、受信はできる

解決方法

- HP All-in-One のダイヤルする速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番

号である場合、9-555-5555のように間隔を挿入します。 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 ([**-**]) が表示されるまで、**スペース (#)** ボタンを繰り返し押します。

ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信を参照してください。

- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音されている

解決方法

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ファクス設定 の説明のとおり、留守番電話を HP All-in-One に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- HP All-in-One のファクス機能が自動受信に設定されていることと [**応答呼出し回数**] 設定が適切であることを確認してください。 HP All-in-One の応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話と HP All-in-One の応答するまでの呼出し回数が同じ回数に設定されていると、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼出し回数を少なくし、HP All-in-One の呼出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、HP All-in-One が電話回線を監視します。 HP All-in-One がファクス受信音を検出した場合は、HP All-in-One はファクスを受信します。 音声の場合には、留守番電話が着信メッセージを録音します。 詳細については、応答までの呼び出し回数を設定を参照してください。

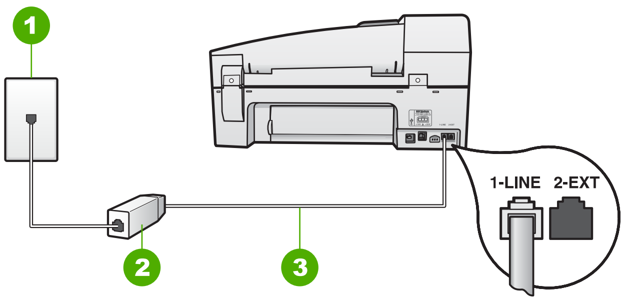
HP All-in-One に付属の電源コードの長さが十分でない

解決方法　HP All-in-One 付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。 カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　HP All-in-One に 2 線式電話コード アダプタが付属していたら、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。 2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください(日本では付属しておりません）　。

電話コードを延長するには

1. HP All-in-One に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を HP All-in-One の背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、下図のとおりに、空いているカプラーのポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。



1	壁側のモジュラージャック
2	カプラー
3	"1-LINE"ポート接続用に HP All-in-One 付属の電話コードを使用します。

動作時のトラブルシューティング

ここでは、用紙およびプリント カートリッジに関するトラブルシューティングについて説明します。

オンスクリーン ヘルプのトラブルシューティングの章には、HP All-in-One に関連するいくつかの一般的な問題に対するトラブルシューティングのヒントが記述されています。詳しくは、オンスクリーン ヘルプを使うを参照してください。

インターネットにアクセス可能な場合は、HP Web サイト (www.hp.com/support) からヘルプ情報を入手することができます。この Web サイトには、よく寄せられる質問に対する回答も掲載されています。

用紙のトラブルシューティング

紙詰まりを防止するために、ご使用の HP All-in-One で推奨している用紙の種類をお使いください。推奨する用紙の一覧については、www.hp.com/supportを参照してください。

波打ったり、しわが寄ったりしている用紙や端が折れたり破れたりしている用紙は、給紙トレイにセットしないでください。

デバイスの中で紙が詰まった場合、次の指示に従い、紙詰まりを取り除いてください。

紙詰まりの解消

給紙トレイに用紙をセットした場合は、後部ドアを開けて、詰まった用紙を取り除いてください。

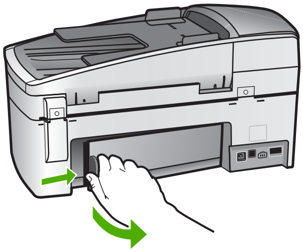
自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

- ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。自動ドキュメント フィーダ トレイには、最大 35 枚の普通紙をセットできます。
- HP All-in-One で厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用している。
- HP All-in-One が給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加した。

後部アクセスドアから詰まった紙を取り除くには

1. 後部アクセスドアの左側にあるタブを押して、ドアの固定を解除します。 HP All-in-One からドアを引いて取り外します。

   注意 HP All-in-One の正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず後部アクセスドアを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。



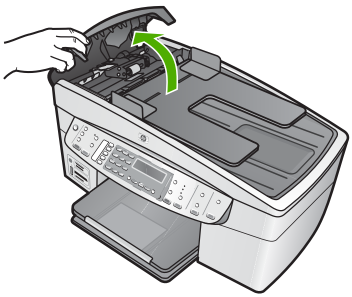
2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

   注意　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 後部アクセスドアを元に戻します。 カチッと音がするまで、ドアをゆっくり押し込みます。
4. 現在のジョブを続行するには、**OK** をクリックします。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

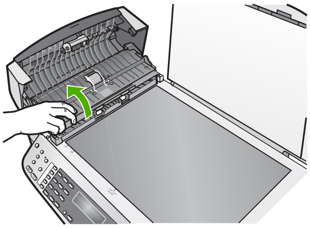
1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。



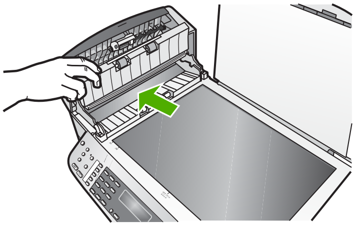
2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

   注意　ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。HP All-in-One に紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. ローラーに紙詰まりが確認されない場合は、自動ドキュメント フィーダ装置を外します。



4. 自動ドキュメント フィーダ装置に紙詰まりがないことを確認します。



5. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダが一度にたくさんのページを給紙してしまう、またはまったく給紙しない

原因　自動ドキュメント フィーダ内部のセパレータ パッドやローラーをクリーニングする必要があります。 手書き原稿やインクを多量に使用した原稿をコピーする場合、あるいは長期間の使用後には、鉛筆の芯、ロウ、インクがローラーやセパレータ パッドに蓄積する場合があります。

- 自動ドキュメント フィーダがまったく給紙しない場合、自動ドキュメント フィーダ内のローラーをクリーニングする必要があります。
- 自動ドキュメント フィーダが、1 枚ずつではなく何枚も給紙する場合、自動ドキュメント フィーダ内のセパレータ パッドをクリーニングする必要があります。

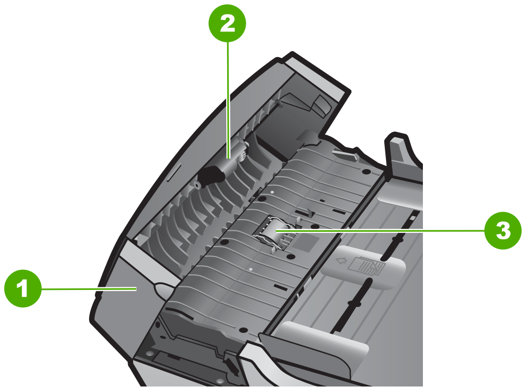
解決方法　未使用のフルサイズ普通紙を 1、2 枚ドキュメント フィーダ トレイにセットし、**コピー スタート - モノクロ** を押します。 普通紙が自動ドキュメント フィーダを通過するときに、ローラーとセパレータ パッドに付いたカスを吸着します。

ヒント　自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合は、前面ローラーをクリーニングしてみてください。柔らかく、糸くずの出ない布を蒸留水で湿らせてローラーを拭きます。

問題が解決しない場合や、自動ドキュメント フィーダが普通紙を給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドを手動でクリーニングしてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
   このようにするとローラー (2) と セパレータ パッド (3) に簡単にアクセスできます。



1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

   注記 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

プリント カートリッジのトラブルシューティング

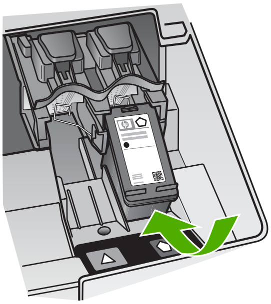
印刷時に問題が発生した場合は、プリント カートリッジのいずれかに問題がある可能性があります。

プリント カートリッジのトラブルシューティングを行うには

1. 右側のスロットから黒プリント カートリッジを取り外します。銅色の接点やインク ノズルには触れないでください。銅色の接点やインク ノズルに損傷がないか確認します。

保護テープがはがされていることを確認します。インク ノズルがテープで固定されている場合は、ピンクのつまみを持ってテープを慎重にはがしてください。

2. プリント カートリッジを、再度スロットにスライドさせながら取り付けます。カチッと音がするまで、プリント カートリッジを押し込んでください。



3. 左側のカラー プリント カートリッジに対しても、手順 1 と 2 を繰り返します。
4. 問題が続く場合は、セルフテスト レポートを印刷して、プリント カートリッジに問題がないか確認します。
このレポートには、ステータス情報など、プリント カートリッジに関する役立つ情報が表示されます。
5. セルフテスト レポートで問題が確認された場合、プリント カートリッジのクリーニングを行ってください。
6. 問題が続く場合は、プリント カートリッジの銅色の接点をクリーニングしてください。
7. 以上の操作を行っても印刷の問題が解決しない場合は、どのプリント カートリッジに問題があるか確認してそのカートリッジを交換します。

詳細については、次を参照してください。

- プリント カートリッジの交換
- セルフテスト レポートの印刷
- プリント カートリッジのクリーニング
- プリント カートリッジの接点のクリーニング

トラブルシューティング

12 サプライ品の注文

HP 推奨の印刷用紙、プリント カートリッジなどの HP 製品は、HP Web サイトでオンライン注文できます。

用紙、その他のメディアの注文

HP プレミアム フォト用紙 や HP オールインワン対応用紙など、HP 用紙やその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

プリント カートリッジの注文

プリント カートリッジ番号のリストについては、このガイドの裏表紙の情報を参照してください。HP All-in-One 付属のソフトウェアで、プリント カートリッジの注文番号を確認することができます。プリント カートリッジは HP Web サイトからオンラインで注文することができます。また、最寄りの HP 販売代理店にお尋ねいただければ、お使いのデバイスの正しいプリント カートリッジの注文番号をご確認の上、プリント カートリッジをご注文いただけます。

HP 用紙とその他のサプライ品を注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。

注記　プリント カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。お住まいの国/地域での取扱いがない場合は、最寄りの HP 販売代理店にプリント カートリッジの購入方法についてお問い合わせください。

HP Photosmart ソフトウェアからプリント カートリッジを注文するには

1. **[HP ソリューション センター]** で、**[設定]** をクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。

   注記　また、**[印刷のプロパティ]** ダイアログ ボックスから **[プリンタ ツールボックス]** を開くこともできます。**[印刷のプロパティ]** ダ

イアログ ボックスで、**[サービス]** タブをクリックし、**[プリンタのメンテナンス]** をクリックします。

2. **[推定インクレベル]** タブをクリックします。
3. **[プリント カートリッジ情報]** をクリックします。
   プリント カートリッジの注文番号が表示されます。
4. **[オンライン注文]** をクリックします。
   HP では、正規オンライン販売代理店に、モデル番号、シリアル番号、インク供給レベルなどを含むプリンタの詳細情報を送信しています。 必要なサプライ品は選択済みです。 数量の変更、アイテムの追加または削除を実行した後で、チェック アウトできます。

HP Photosmart Mac ソフトウェアから注文番号を探すには

1. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。
2. **[デバイス]** ポップアップ メニューで HP All-in-One が選択されていることを確認します。
3. **[情報と設定]** ポップアップ メニューから、**[プリンタの保守]**を選択します。
   [プリンタの選択] ウィンドウが表示されます。
4. **[出力プリンタ]** ダイアログ ボックスが表示されたら、ご使用の HP All-in-One を選択して **[ユーティリティを起動]** をクリックします。
   [HP プリンタユーティリティ] ウィンドウが表示されます。
5. **[コンフィギュレーション設定]** リストで、**[サプライ製品情報]** をクリックします。
   プリント カートリッジの注文番号が表示されます。
6. プリント カートリッジを注文する場合は、**[コンフィギュレーション設定]** 領域で、**[サプライ用品のステータス]** をクリックし、続けて **[HP サプライ用品を注文]** をクリックします。

アクセサリの注文

HP All-in-One 用のアクセサリを注文するには、www.hp.com/learn/suresupply にアクセスしてください。 メッセージが表示されたら、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピング リンクの 1 つをクリックします。 国/地域により、HP All-in-One は、次のアクセサリをサポートしています。

アクセサリと HP モデル番号	説明
HP bt450 Bluetooth® ワイヤレス プリンタ/PC アダプタ	Bluetooth デバイスから、ご使用の HP All-in-One へ印刷できます。 このワイヤレス アダプタを HP All-in-One の前面の USB ポートに取り付けると、HP All-in-One はカメラ付き携

アクセサリと HP モデル番号	説明
	帯電話、PDA (携帯端末)、Bluetooth 対応 Windows または Mac コンピュータなど、対応する Bluetooth デバイスからの印刷ジョブを受け付けます。

その他のサプライ品の注文

HP All-in-One 用ソフトウェア、『ユーザー ガイド』、『セットアップ ガイド』、ユーザー交換部品など、その他のサプライ品を注文するときは、お住まいの国/地域に該当する次の電話番号へお問い合わせください。

国/地域	注文用電話番号
アジア太平洋 (日本以外)	65 272 5300
オーストラリア	1300 721 147
ヨーロッパ	+49 180 5 290220 (ドイツ) +44 870 606 9081 (イギリス)
ニュージーランド	0800 441 147
南アフリカ	+27 (0)11 8061030
米国およびカナダ	1-800-HP-INVENT (1-800-474-6836)

一覧にないその他の国/地域からは、www.hp.com/support にアクセスしてください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

13 HP 保証およびサポート

この章では、保証に関する情報ならびにインターネットからのサポートの入手、シリアル番号とサービス ID の確認、HP カスタマ サポートへの問い合わせ、HP All-in-One の発送準備について説明します。

製品に付属する印刷マニュアルまたはオンライン マニュアルで必要な答えが見つからない場合は、以下のページに記載されている HPサポート サービスに問い合わせることができます。一部のサポート サービスは米国とカナダでしか利用できませんが、その他のサポート サービスは世界中の多くの国または地域で利用できます。お住まいの国または地域のサポート サービスの電話番号が記載されていない場合は、最寄りの HP 正規代理店までお問い合わせください。

保証

HP リペア サービスを利用するには、まず HP サービス オフィスに連絡するか、HP カスタマ サポート センターに連絡して、基本的なトラブルシューティングを行っていただく必要があります。また、カスタマ サポートに連絡する前に実行する手順については、HP カスタマ サポートに連絡する前にを参照してください。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service を参照してください。

保証のアップグレード

お住まいの国/地域によっては、HP は標準の製品保証を延長または拡張する保証アップグレード オプション (有償) を提供してます。ご利用可能なオプションには、優先的電話サポート、返却サービス、または営業日における翌日交換などがあります。一般的に、サービス範囲は製品購入日から始まります。保証アップグレード オプションは、製品購入の一定期間内に購入する必要があります。

詳細については、次を参照してください。

- 米国では、1-866-234-1377 にダイヤルしてHPアドバイザーにお問合せください。
- 米国以外の場合は、最寄りの HP カスタマ サポートまでお問い合わせください。各国のカスタマ サポートの電話番号一覧については、他国のサポートへの問い合わせを参照してください。
- HP Web サイト www.hp.com/support を参照してください。メッセージに従って、お住まいの国/地域を選択し、保証に関する情報を確認してください。

保証に関する情報

HP 保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア	90 日
プリント カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
アクセサリ	90 日
プリンタ周辺ハードウェア (詳細については下記を参照)	1 年

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

B. 保証の限定
国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

インターネットからのサポートの利用およびその他の情報の入手

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

- オンライン サポートのページにアクセスする。
- 質問を E メールで HP に送信する。
- ソフトウェアのアップデートを確認する。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

HP カスタマ サポートに連絡する前に

HP All-in-One には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

注記　この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Serviceを参照してください。

HP カスタマ サポートに問い合わせる必要がある場合は、連絡する前に以下の作業を行ってください。

1. 確認事項:
   a. HP All-in-One が接続され、電源がオンになっていること。
   b. 指定のプリント カートリッジが正しく取り付けられていること。
   c. 推奨されている用紙が給紙トレイに正しくセットされていること。
2. HP All-in-One をリセットします。
   a. **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。
   b. 電源コードを HP All-in-One の後部から取り外します。
   c. 電源コードを HP All-in-One に再度差し込みます。
   d. **On** ボタンを押して HP All-in-One の電源を入れます。
3. サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。メッセージが表示されたら、お住まいの国または地域を選択し、**[お問い合わせ]** をクリックして、テクニカル サポートまでお問い合わせください。
   HP Web サイトで、HP All-in-One の最新情報とトラブルシューティングのヒントを確認します。
4. 上記の作業を行っても問題が解決されず、HP カスタマ サポート担当に問い合わせる必要がある場合は、以下の作業を行います。
   a. コントロール パネルに表示される HP All-in-One のモデル名をメモします。
   b. セルフテスト レポートを印刷します。
   c. サンプル出力として利用できるカラー コピーを作成します。
   d. 発生した問題を詳しく説明できるように準備します。
   e. シリアル番号とサービス ID をメモします。
5. HP カスタマ サポートに電話します。電話は、HP All-in-One の近くで行ってください。

詳細については、次を参照してください。

- セルフテスト レポートの印刷
- シリアル番号とサービス ID の確認

シリアル番号とサービス ID の確認

HP All-in-One の [情報メニュー] を使用すると、重要な情報を確認できます。

注記　HP All-in-One の電源がオンになっていない場合は、後部に付いているラベルでシリアル番号を確認できます。シリアル番号は、ラベルの左上隅にある 10 桁のコードです。

シリアル番号とサービス ID を確認するには

1. **OK** を押したままにします。**OK** を押しながら **4** を押してください。[情報メニュー] が表示されます。
2. [モデル番号] が表示されるまで ▶ を押し続け、**OK** を押します。サービスID が表示されます。
   表示されたサービス ID を正確にメモしてください。
3. **キャンセル** を押してから、[シリアル番号] が表示されるまで ▶ を押します。
4. **OK** を押します。シリアル番号が表示されます。
   表示されたシリアル番号を正確にメモしてください。
5. [情報メニュー] が終了するまで、**キャンセル** を押します。

保証期間中の北アメリカ サポートへの問い合わせ

1-800-474-6836 (1-800-HP invent) へお電話ください。米国の電話サポートは、英語とスペイン語の両方で、年中無休、1 日 24 時間ご利用いただけます (サポートの営業日および営業時間は予告なしに変更されることがあります)。このサービスは保証期間内に限り、無償で承ります。保証期間外は有償となります。

他国のサポートへの問い合わせ

以下に記載されている電話番号は、このガイドの発行日の時点での番号です。各国向け HP サポート サービスの最新の電話番号一覧を参照するには、www.hp.com/support にアクセスし、お住まいの国または地域か、言語を選択してください。

保証期間中のサポート サービスは無料でご利用いただけますが、電話の場合、標準の長距離通話料金がかかります。場合によって、追加料金が適用されることもあります。

ヨーロッパについては、国または地域によって電話でのサポート内容や条件が異なりますので、HPの Web サイト www.hp.com/support でご確認ください。

代理店への問い合わせ、またはこのガイドに記載されている電話番号の HP に連絡することもできます。

当社では、電話サポート サービスを向上させるために絶えず努力しています。定期的に当社の Web サイトを確認して、サービスの機能や提供方法に関する新しい情報を入手することをお勧めします。

www.hp.com/support

61 56 45 43	الجزائر
Argentina (Buenos Aires) Argentina	54-11-4708-1600 0-800-555-5000
Australia Australia (out-of-warranty)	1300 721 147 1902 910 910
Österreich	+ 43 1 86332 1000 0810-0010000 (in country)
17212049	البحرين
België Belgique	070 300 005 070 300 004
Brasil (Sao Paulo) Brasil	55-11-4004-7751 0-800-709-7751
Canada (Mississauga Area) Canada	(905) 206-4663 1-800-474-6836
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	86-10-68687980 800-810-3888
Colombia (Bogota) Colombia	571-606-9191 01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	+ 45 70 202 845
Ecuador (Andinatel) Ecuador (Pacifitel)	1-999-119 800-711-2884 1-800-225-528 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	902 010 059
France	+33 (0) 892 69 60 22 (0,34 € / min)
Deutschland	+49 (0) 180 5652 180
Ελλάδα (από το εξωτερικό) Ελλάδα (εντός Ελλάδας) Ελλάδα (από Κύπρο)	+ 30 210 6073603 801 11 75400 800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1600 425 7737
Indonesia	+62 (21) 350 3408
Ireland	1 890 923 902
1-700-503-048	ישראל
Italia	848 800 871
Jamaica	1-800-711-2884
日本	0570-000511

日本 (携帯電話の場合)	03-3335-9800
한국	1588-3003
Luxembourg Luxemburg	900 40 006 900 40 007 (0,16 € / min)
Malaysia	1800 88 8588
Mexico (Mexico City) Mexico	55-5258-9922 01-800-472-68368
22 404747	المغرب
Nederland	0900 2020 165 (0,20 € / min)
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	1 3204 999
Norge	+46 (0) 77 120 4765
Panama	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	(63) 2 867 3551 1800 1441 0094
Polska	0 801 800 235
Portugal	808 201 492
Puerto Rico	1-877-232-0589
República Dominicana	1-800-711-2884
România	0801 033 390
Россия (Москва) Россия (Санкт-Петербург)	095 777 3284 812 332 4240
800 897 1415	السعودية
Singapore	6 272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (international) South Africa (RSA)	+ 27 11 2589301 086 0001030
Rest of West Africa	+ 351 213 17 63 80
Suomi	+358 (0) 203 66 767
Sverige	+46 (0) 77 120 4765
Switzerland	0848 672 672
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
71 89 12 22	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye	90 212 444 71 71
Україна	(044) 230 51 06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	+44 (0) 870 010 4320
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas)	58-212-278-8666
Venezuela	0-800-474-68368
Viêt Nam	+84 88234530

HP Quick Exchange Service

製品に問題がある場合は以下に記載されている電話番号に連絡してください。製品が故障している、または欠陥があると判断された場合、HP Quick Exchange Serviceがこの製品を正常品と交換し、故障した製品を回収します。保証期間中は、修理代と配送料は無料です。また、お住まいの地域にもよりますが、プリンタを次の日までに交換することも可能です。

電話番号： 0570-000511 （自動応答）
:03-3335-9800（自動応答システムが使用できない場合）
サポート時間: 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで。
祝祭日および 1 月 1 日から 3 日は除きます。

サービスの条件

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意: ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保証期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限

- 運送の時間はお住まいの地域によって異なります。　詳しくは、カスタマケアターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告なしに変更することがあります。

交換時のデバイスの梱包方法については、HP All-in-One の梱包 を参照してください。

HP 日本サポートへの問い合わせ

カスタマー･ケア･センター
http://japan.support.hp.com

TEL : 0570-000-511（ナビダイヤル）

03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）

FAX : 03-3335-8338

月～金 **9:00 ～ 17:00**

土･日　　**10:00 ～ 17:00**（祝祭日、**1/1**～**3** を除く）

FAX によるお問い合わせは、ご質問内容とともに、ご連絡先、

弊社製品名、接続コンピュータ名をご記入ください。

HP All-in-One の発送準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で HP All-in-One をサービス担当に返送するよう求められた場合は、機器を返送する前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- プリント カートリッジ
- コントロール パネル カバー
- 電源コード、USB ケーブル、その他の HP All-in-One 接続ケーブル
- 給紙トレイにセットされている用紙
- HP All-in-One にセットしたすべての原稿
- 発送前のプリント カートリッジの取り外し
- コントロール パネル カバーの取り外し

発送前のプリント カートリッジの取り外し

HP All-in-One を返送する前に、プリント カートリッジが取り外されていることを確認してください。

注記　この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Serviceを参照してください。

発送前にプリント カートリッジを取り外すには

1. HP All-in-One の電源を入れ、インクホルダーが停止して静かになるまでしばらく待ちます。 HP All-in-One の電源がオンにならない場合は、この手順を省略してステップ 2 に進みます。
2. プリント カートリッジ アクセスドアを開きます。
3. 発送前にプリント カートリッジを取り外します。

   注記　HP All-in-One の電源がオンにならない場合は、電源コードを抜いて、手動でインク ホルダーを右端まで動かすと、プリント カートリッジを取り外すことができます。

4. プリント カートリッジの内部が乾燥しないようにカートリッジを密閉プラスチック容器に入れて保管します。 HP カスタマ サポートの電話担当者から指示された場合を除き、プリント カートリッジは HP All-in-One と一緒に発送しないでください。
5. プリント カートリッジ アクセスドアを閉め、インクホルダーがホーム ポジション (左側) に戻るまでしばらく待ちます。

   注記　HP All-in-One の電源をオフにする前に、スキャナが停止し、所定の位置に戻っていることを確認してください。

6. **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオフにします。

コントロール パネル カバーの取り外し

インク カートリッジの交換が済んだら、以下の手順を実行します。

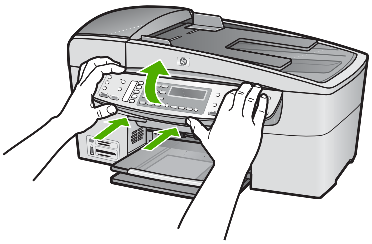
注記　この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Serviceを参照してください。

注意 1　必ず HP All-in-One のプラグを抜いてから以下の手順にしたがってください。

注意 2　交換用に配送される HP All-in-One に電源コードは付属しません。HP All-in-One の交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. **On** ボタンを押して、HP All-in-One の電源をオフにします。
2. 電源から電源コードを抜いて、HP All-in-One からも外します。電源コードは HP All-in-One と一緒に返送しないでください。
3. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。
   a. コントロール パネル カバーの両側に手をそえてください。
   b. 指先を使ってコントロール パネル カバーを取り外します。



4. コントロール パネル カバーを保管します。コントロール パネル カバーは HP All-in-One と一緒に送り返さないでください。

注意　交換用の HP All-in-One には、コントロール パネル カバーが付属していません。カバーは安全な場所に保管しておき、HP All-in-One がお手元に届いたら取り付けてください。交換後に HP All-in-One のコントロール パネル機能を使用するには、コントロール パネル カバーを取り付ける必要があります。

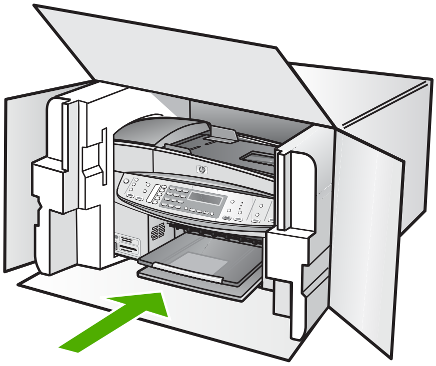
注記　コントロール パネル カバーの取り付け方法については、HP All-in-One 付属の『セットアップ ガイド』を参照してください。HP All-in-One の交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

HP All-in-One の梱包

プリント カートリッジを外し、コントロール パネル カバーを外し、HP All-in-One の電源を切ってプラグを抜いたら、以下の手順を実行します。

HP All-in-One を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使って、または代替製品に使用されていた梱包材を使って、HP All-in-One を梱包して発送します。



元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   – サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます。)
   – 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー
   – 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号

14 技術情報

このセクションでは、HP All-in-One の技術仕様および国際的な規制について説明します。

システム要件

ソフトウェアのシステム要件は、Readme ファイルに収録されています。

用紙の仕様

このセクションでは、用紙トレイの収容枚数、用紙サイズ、印刷余白の仕様について説明します。

用紙トレイの収容枚数

種類	用紙の重量	給紙トレイ*	排紙トレイ*	ドキュメント フィーダトレイ
普通紙	16 〜 24 lb. (60 〜 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	最大 50 (20 lb. の用紙)	最大 35
リーガル	20 〜 24 lb. (75 〜 90 gsm)	最大 100 (20 lb. の用紙)	最大 50 (20 lb. の用紙)	最大 20
カード	最大 110 lb. インデックス (200 gsm)	40	10	なし
封筒	20 〜 24 lb. (75 〜 90 gsm)	15	10	なし
OHP フィルム	なし	25	25 以下	なし
ラベル	なし	20	20	なし
10 x 15 cmのフォト用紙	最大 145 lb. (236 gsm)	30	10	なし
8.5 x 11 インチのフォト用紙	なし	40	20	なし

* 最大収容枚数。

* 排紙トレイの収容枚数は、用紙の種類および使用するインクの量によって異なります。 排紙トレイは、頻繁に空にしてください。

用紙サイズ

種類	サイズ
用紙	レター: 216 x 280 mm A4： 210 x 297 mm リーガル: 216 x 356 mm
封筒	US No.10： 105 x 241 mm US No.9： 98 x 225 mm A2: 111 x 146 mm DL: 110 x 220 mm C6: 114 x 162 mm
OHP フィルム	レター: 216 x 279 mm A4： 210 x 297 mm
プレミアム フォト用紙	102 x 152 mm レター: 216 x 280 mm A4： 210 x 297 mm
カード	A6: 105 x 148.5 mm インデックス カード： 76 x 127 mm インデックス カード： 101 x 152 mm
ラベル	レター: 216 x 279 mm A4： 210 x 297 mm
カスタム	102 x 152 mm ～ 216 x 356 mm

印刷余白の仕様

	上 (先端)	下 (下端)	左右マージン
US (レター サイズ、リーガル サイズ、エグゼクティブ サイズ)	3 mm	3 mm	7.1 mm
ISO (A4、A5) および JIS (B5)	3 mm	3 mm	7.1 mm
封筒	3 mm	3 mm	7.1 mm
カード	3 mm	3 mm	7.1 mm

印刷の仕様

- 解像度: 1200 x 1200 dpi 白黒、4800 最適化 dpi カラーまたは 6 色インク
- 方式: オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語： Lightweight Imaging Device Interface Language (LIDIL)
- 印刷速度: 最大 30 ページ/分 (黒)、 最大 24 ページ/分 (カラー、モデルによって異なります)
- 印刷速度はドキュメントの複雑さによって異なります
- 動作周期： 3000 ページ/月

モード	種類	普通紙の印刷速度 (ppm)	10 x 15 cm (4 x 6 インチ) のフチ無し写真での印刷速度 (秒)
最大 dpi	白黒	最大 .4	約 140 秒
高画質	白黒	最大 2.3	約 74 秒
きれい	モノクロ	最大 8.5	約 54 秒
	カラー	最大 5.3	約 54 秒
はやい (標準)	モノクロ	最大 11	約 30 秒
	カラー	最大 8	約 30 秒
はやい (最速)	モノクロ	最大 30	約 30 秒
	カラー	最大 24	約 30 秒

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 100 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25～400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、プレスキャン
- コピー速度: 最大コピー 30 枚/分 (黒)、 コピー 24枚/分(カラー)(モデルによって異なります)
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

モード	種類	速度 (ppm)	スキャンの解像度 (dpi)*
高画質	モノクロ	最大 0.8	最高 600 x 1200
	カラー	最大 0.8	最高 600 x 1200
きれい	モノクロ	最大 8.5	最高 300 x 300
	カラー	最大 5.1	最高 300 x 300

(続き)

モード	種類	速度 (ppm)	スキャンの解像度 (dpi)*
はやい	モノクロ	最大 30	最高 300 x 300
	カラー	最大 24	最高 300 x 300

* 400% の倍率時の最大値

メモリ カードの仕様

- メモリ カード上のファイル数 (最大推奨値) : 1,000
- 各ファイルのサイズ (最大推奨値) : 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- メモリ カードのサイズ (最大推奨値) : 1 GB (半導体メモリのみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、HP All-in-One のパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- CompactFlash
- Memory Stick
- Memory Stick Duo
- Memory Stick Pro
- Secure Digital
- MultiMediaCard (MMC)
- xD-Picture カード

Memory Stick Magic Gate Duo、Memory Stick Duo および Secure Multimedia Card を使用するにはアダプタが必要です。詳細については、メモリカードに付属する説明を参照してください。

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります
- 手動ファックス送受信
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換(Windowsのみ)
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 光学解像度 2400 x 4800 ppi、最大補間解像度 19200 ppi
- カラー： RGB カラーによる16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 297 mm

物理的仕様

- 高さ： 236 mm
- 幅： 456 mm
- 奥行き： 326 mm
- 重さ： 7.66 kg

電気的仕様

- 最大消費電力: 60 W
- アイドル時の消費電力： 8.5 W
- 入力電圧： AC 100～240 VAC、1A、50/60 Hz、アース済み
- 出力電圧： 32 Vdc 900 mA、16Vdc 600 mA

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲： 15º ～ 32℃
- 許容される動作時の温度範囲： 5º ～ 40 ℃
- 湿度： 15% ～ 80% RH (結露しないこと)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲： -40º～ 60℃

強い電磁気が発生している場所では、HP All-in-One の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。

高磁場が原因で発生する放出ノイズを最小限に抑えるため、Ethernet ケーブルまたは USB ケーブルは長さが 3 m 以下のものをご使用ください。

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を HP Web サイトから入手することができます。 www.hp.com/support にアクセスしてください。

メモリ仕様

メモリ仕様: 最大 10 MB ROM、64 MB DDR

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

ここでは、環境の保護、オゾン発生、エネルギー消費、リサイクル紙の使用、プラスチック、化学物質安全データシート、およびリサイクル プログラムに関する情報を示します。

このセクションでは、環境基準について説明しています。

環境保護

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品は、環境への影響を最も少なくする特性を備えるように設計されています。

詳細については、以下の「HP の環境への取り組み」に関する Web サイトをご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

オゾンガスの発生

この製品では、検出可能なオゾン ガス (O3) は生成されません。

Energy consumption

Energy usage drops significantly while in ENERGY STAR® mode, which saves natural resources, and saves money without affecting the high performance of this product. This product qualifies for ENERGY STAR, which is a voluntary program established to encourage the development of energy-efficient office products.

ENERGY STAR is a U.S. registered service mark of the U.S. EPA. As an ENERGY STAR partner, HP has determined that this product meets ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

For more information on ENERGY STAR guidelines, go to the following website:

www.energystar.gov

リサイクル紙の使用

この製品は、DIN 19309 に準拠したリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラムを超えるプラスチック部品は、製品が役目を終えたときにリサイクルするため、プラスチックを識別しやすくする国際規格に従って記号が付けられています。

化学物質安全性データ シート

化学物質安全性データ シート(MSDS) は、次の HP Web サイトから入手することができます。

www.hp.com/go/msds

インターネットにアクセスできないユーザーは、最寄りの HP カスタマ ケア センターにお問い合わせください。

ハードウェア リサイクル プログラム

HP では、より多くの製品を返却してもらえるよう、リサイクル プログラムを多くの国で展開しているほか、世界で最大の電子機器リサイクル センターのいくつかと協力しています。また、HP では最も広く使用されている製品のいくつかを再生し、再度販売することによって、資源を保護しています。

HP製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。www.hp.com/recycle

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/recycle

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

製品またはそのパッケージ上にあるこの記号は、本製品を家庭の廃棄物と共に廃棄するべきではないことを示します。廃棄機器は、お客様の責任で廃棄電気および電子機器のリサイクル用に指定された収集地に持ち込んで、処理してください。廃棄に際して廃棄機器の分別収集とリサイクルを行うことにより、天然資源を大切にするとともに、人の健康と環境を保護する形でリサイクルを確実に行うことができます。廃棄機器をリサイクルに出す場所に関する詳細については、市役所、家庭廃棄物処理サービス、または製品を購入したショップにお問い合わせください。



規制に関する告知

HP All-in-One は、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

規制モデルの ID 番号

規制上の識別を行うために、本製品には規制モデル番号が指定されています。 本製品の規制モデル番号は、SDGOB-0506 です。この規制番号は、商品名 (HP Officejet 6300 All-in-One series) とはまったく別のものです。

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment.If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment.This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant.This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack:USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called.Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call.In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5).To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company may discontinue your service temporarily.If possible, they will notify you in advance.If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible.You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC.Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment.If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service.

If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information.Your telephone company may ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.Connection to party lines is subject to state tariffs.Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability.When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual.(The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

Declaration of Conformity:This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.Operation is subject to the following two conditions:(1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including

interference that might cause undesired operation.Class B limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy, and, if not installed and used in accordance with the instructions, might cause harmful interference to radio communications.However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For more information, contact the Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

The user may find the following booklet prepared by the Federal Communications Commission helpful:How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems.This booklet is available from the U.S. Government Printing Office, Washington DC, 20402. Stock No. 004-000-00345-4.

⚠ Caution Pursuant to Part 15.21 of the FCC Rules, any changes or modifications to this equipment not expressly approved by the Hewlett-Packard Company might cause harmful interference and void the FCC authorization to operate this equipment.

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.1B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The REN assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface.The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.1B, based on FCC Part 68 test results.

日本のユーザーに対する告知

VCCI-2

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

Notice to users of the German telephone network

This HP fax product is designed to connect only to the analogue public-switched telephone network (PSTN). Please connect the TAE N telephone connector plug, provided with the HP All-in-One into the wall socket (TAE 6) code N. This HP fax product can be used as a single device and/or in combination (in serial connection) with other approved terminal equipment.

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

Notice to users in Korea

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서,
주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Declaration of conformity (European Economic Area)

The Declaration of Conformity in this document complies with ISO/IEC Guide 22 and EN 45014. It identifies the product, manufacturer’s name and address, and applicable specifications recognized in the European community.

HP Officejet 6300 All-in-One series declaration of conformity

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014

Manufacturer's Name:	Hewlett-Packard Company
Manufacturer's Address:	16399 West Bernardo Drive San Diego CA 92127, USA
Regulatory Model Number:	SDGOB-0506
Declares, that the product: Product Name:	HP Officejet 6300 series
Power Adapters HP part#:	0957-2175 & 0957-2176

Conforms to the following Product Specifications:

Safety:	IEC 60950-1: 2001 EN60950-1: 2001 IEC 60825-1 Edition 1.2: 2001 / EN 60825-1:1994+A1:2002+A2: 2001 Class 1(Laser/Led) UL 60950-1: 2003 / CAN/CSA-22.2 No. 60950-1-03 NOM 019-SFCI-1993, AS/NZS 60950: 2000, GB4943: 2001
EMC:	CISPR 22:1997+A1+A2 / EN 55022:1998+A1:2000+A2:2003 Class B CISPR 24:1997+A1+A2 / EN 55024:1998+A1:2001+A2:2003 IEC 61000-3-2: 2000 / EN 61000-3-2: 2000 IEC 61000-3-3:1995 + A1:2001 / EN 61000-3-3:1995+A1:2001 CNS13438:1998 FCC Part 15-Class B/ICES-003, Issue 4 GB9254: 1998, VCC1-2
Telecom:	TBR21:1998, EG 201 121:1998, FCC Title 47 CFR Part 68

Supplementary Information:
The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EC, the EMC Directive 89/336/EC, and with the R&TTE Directive 1999/5/EC (Annex II) and carries the CE-marking accordingly. The product was tested in a typical configuration.

This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

For regulatory purpose, this product is assigned a Regulatory Model Number (RMN). This number should not be confused with the product marketing name or number.

San Diego, California USA
August 2005

For Regulatory Topics only, contact:

Australia Contact:	Product Regulations Manager, Hewlett-Packard Australia Ltd., 31-41 Joseph Street, Blackbum, Victoria 3130, Australia.
European Contact:	Hewlett Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140,D-71034 Böblingen Germany. (FAX +49-7031-14-3143)
USA Contact:	Product Regulations Manager, Hewlett Packard Company, San Diego, (858) 655-4100.

技術情報

索引

と

ね

は

ひ

ふ



HP インクサプライ品



黒	129 / 132
3色カラー	135 / 136
フォトカラー	138
フォトグレー	100

Electronic Edition

www.hp.com

invent

Q8061-90138